bernette
sublime

my
city

my
bernette

シカゴ5
シカゴ7

取扱説明書 ソーイング

安全にお使いいただくために 3

無断転載・複製を一切禁じます 4

ミシンの各部名称 5

主要部分の名称 5
アクセサリー 6
– オプションアクセサリー 6

ミシンの準備 7

ミシンを接続する 7
– 接続プラグについて 7
フットコントローラー 7
ソーイングテーブル 8
下糸を巻く 9
糸をミシンにセットする 11
上糸をかける 12
糸通し 14
針を取り替える 15
糸カッター 15
糸調子 16
押え圧を調節する 17
送り歯を上げる／下げる 17
押え金を交換する 18
二段階押え上げレバー 18

ソーイングについての重要事項 19

針、布地、糸の選択 19
押え金の用途一覧 21

画面の説明 と機能の操作方法 22

操作ボタンについて 22
液晶ディスプレイについて 23
– 通常モード 23
– メモリーモード 24
機能ボタン 25
– スタート／ストップボタン 25
– 返し縫い／終了ボタン 25
– オートロック 25
– 針上／下位置停止ボタン 26
– スピード調節つまみ 26
– 矢印キー 27
– OK ボタン 27
– ステッチパターン直接入力ボタン 27
– 数字キー 27
– 反転ボタン 28
– ステッチを引き伸ばす 28
– 二本針 28
– 送り長さ調節 29
– 振り幅調節 29
– 保存 30
– 消去／戻る 30
– ステッチパターングループの選択／色設定 30
ステッチの選択方法 31

ステッチパターン一覧 32

ステッチパターン 32

基本的なソーイングの手順 35

返し縫い 35
フリーアーム 35
コーナーを縫う 35
厚地を縫う 36
直線縫いと針基線 37
– 針基線を変更する 37
– 送り長さを変更する 37
ジグザグ縫い 37
– 振り幅を変更する 37
– 送り長さを変更する 37
伸縮直線縫い 38
オーバーロック縫い 39
ジグザグ縫い押えを使用する 39
まつり縫い 40
ボタンを縫い付ける 41
ボタンホールを縫う 42
– ストレッチ素材のボタンホール 46
– バータックステッチ 47
アイレットステッチ 48
ダーニング（つくろい縫い） 49
ファスナーを縫い付ける* 51
– ファスナーを中央に縫い付ける 51
– ファスナーを脇に縫い付ける 52
– コンシールファスナーを縫い付ける 53
幅の狭いヘム縫い 54
芯糸をつけて縫う 55
– 一本の芯糸 55
– 三本の芯糸 55
サテンステッチを縫う 56
キルティング 57
– パッチワークを縫う 57
– 手縫い風キルト 58
– ブランケットステッチ （キルトアップリケ） 58
– パッチワークを縫う 58
ファゴティング 59
スカラップステッチ（布地の端） 59
ギャザリング 60
– ギャザーを寄せた布地 60
– 布地にギャザーを寄せ、ギャザー部分をワンステップで縫い付ける 60
– スモッキング 61
フリーモーションダーニング（つくろい縫い）、 刺しゅう、モノグラミング 62
– ダーニング（つくろい縫い） 62
– 刺しゅうをする 63
– モノグラミング 63
ウォーキング押え 64

特殊な機能 65
ステッチパターンの反転 65
ステッチを引き伸ばす 66
二本針を使用して縫う 67
メモリー 69
メモリーモードについて 70
– 連続したステッチパターンをメモリーモードにプログラムする 70
メモリー確認／編集モードについて 73
– プログラムされたステッチパターンについて 73
メモリーモードから通常モードに切り替える 75
– プログラムされたステッチパターンを縫う 75
メモリー編集機能ー連続したステッチパターンを追加する 76
メモリー編集機能ープログラムされたステッチパターンを縫うまたはその設定値を変更する 78
メモリー編集機能ーステッチパターンを追加する 79
メモリー編集機能ープログラムされたステッチを消去する 81
メモリー編集機能ー全消去 82

警告 83
警告機能 83
– 警告音 85

メンテナンス 86
ディスプレイを掃除する 86
ミシンの表面を拭く 86
釜を掃除する 86
環境保護 87

トラブル対策 88
故障かなと思ったら 88

ステッチパターン一覧 92
ステッチパターン グループA 92
ステッチパターン グループB 95

重要

当製品のご使用にあたっては、電化製品を使用する際の一般的な順守事項に加えて、以下の注意事項を必ずお守りください。
ご使用の前には必ず取扱説明書をご一読の上、操作方法を十分理解してからお使いください。取扱説明書はいつでもご覧になれるところに保存してください。また、ミシンを譲渡される際には、必ず説明書も一緒にお渡しください。
当製品をご使用にならないときは、 電源プラグをコンセントから外しておいてください。

危険!

1. 電源プラグをコンセントに接続したままで、ミシンから離れないでください。
2. ご使用後、またはミシンの掃除をする際には、必ずコンセントから電源プラグを外してください。
3. LEDライトの光について。光学機器などを使って、ライトを直接見ないようご注意ください。LED クラス1M

警告!

1. 経験の少ない方および知識に欠ける方(お子様を含む)、身体の不自由な方、意思疎通が上手にできない方が当製品をお使いになる際には、保護者または責任者の方が指導してください。
2. 当製品をおもちゃとして使用しないでください。当製品を小さなお子様等の近くで使用すると大変危険です。
3. 当製品は取扱説明書に記載内容に従ってお使いいただき、その他の用途には使用しないでください。アクセサリーは当社がお勧めする製品のみをお使いください。
4. お子様がおもちゃとして使用しないように、十分ご注意ください。
5. コードや電源プラグに傷があるとき、正常に作動しないとき、落としたり損傷したとき、水の中に落としたときには、当製品をお使いにならないでください。修理や調整の際には、お近くのベルニナミシン専門店へお持ちください。
6. ご使用の際に、通気孔が塞がれていないか確認してください。ミシンやフットコントローラーに糸くずやほこり、布切れがついたままにしないでください。
7. 操作中は動く部品に指などを近づけないでください。特に針の周りでは、細心の注意を払ってください。
8. 常に当製品専用の針板をお使いください。間違った針板のご使用は、針折れの原因になります。
9. 曲がった針は使用しないでください。
10. 裁縫中に布地を引っ張ったり押し込んだりすると、. 針折れの原因になります。
11. 針に糸を通す、針を交換する、下糸を通す、押え金を交換するなど、針の周りで作業する場合には、ミシンの電源をお切りください。
12. 掃除や調整は取扱説明書に従って行い、 ミシンの電源プラグは必ずコンセントから外してください。
13. ミシンを落としたり、隙間からものを入れたり差し込んだりしないでください。
14. 本製品は戸外では使用しないでください。
15. 酸素ガス等の引火性のあるスプレーを使用している場所では使用しないでください。
16. 電源プラグをコンセントから外す前に、必ずミシン本体の電源をお切りください。
17. 電源プラグを外す際には、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って外してください。
18. フットコントローラーのコードが損傷した場合には、危険ですので、必ず製造者または資格のある専門の方が交換してください。

19. フットコントローラーの上に物を置かないでください。
20. このミシンは、二重絶縁構造を採用して製造しています。ベルニナ純正部品のみをお使いください。「二重絶縁構造の製品のメンテナンスについて」をご覧ください。

二重絶縁構造の製品のメンテナンスについて

二重絶縁構造の製品には、アースをとる方法の変わりに、二種類の絶縁方法が採用されています。二重絶縁構造の製品にはアースはなく、また取り付ける必要もありません。二重絶縁構造の製品のメンテナンスには細心の注意と豊富な知識が必要です。資格のある専門の方のみが行ってください。メンテナンス・修理の際には純正部品のみを使用してください。
二重絶縁構造の製品にはこの表示がされています：«Double Insulation» または «Double Insulated».
このシンボル⧈ も、二重絶縁を示します。

取扱説明書は大切に保管してください。

注意!

この製品は家庭でのご使用を対象として製造されています。この製品を頻繁に、もしくは商用に使用される場合には、定期的な掃除と細やかなお手入れをしてください。

頻繁もしくは商用に使用したことによって生じた製品の消耗は、保証期間内であっても対象とならない場合がございます。この場合、保証の対象となるかはお買い上げいただいた販売店、ベルニナ販売代理店にご相談ください。

ご注意ください。

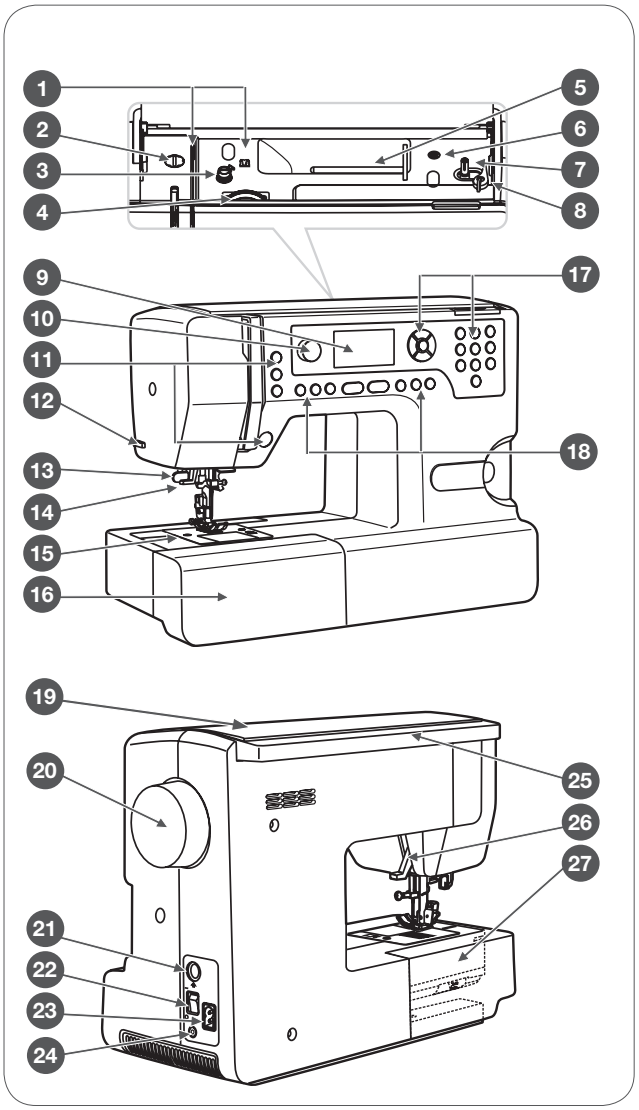
ミシンを寒い場所で保管していた場合、お使いになる一時間ぐらい前に暖かい部屋に移動させてから使用してください。

無断転載・複製をを一切禁じます

技術的な理由や製品改良のため、ミシンの機能、部品、アクセサリー等が予告なく変更されることがあります。アクセサリーの仕様は国により異なります。

主要部分の名称

1 糸ガイド
2 押え圧調節ネジ
3 下糸巻き用糸ガイド／プリテンション
4 糸調子調節つまみ
5 糸立て棒
6 糸立て棒取り付け穴
7 下糸巻き
8 下糸巻きストッパー
9 液晶ディスプレイ
10 スピード調節つまみ
11 機能ボタン
12 糸カッター
13 ワンステップボタンホールレバー
14 糸通し
15 針板カバー
16 ソーイングテーブルおよびアクセサリーボックス
17 ダイレクト選択ボタン
18 機能ボタン
19 トップカバー
20 はずみ車
21 刺しゅう機用ソケット
22 電源スイッチ
23 電源コード
24 フットコントローラー用ソケット
25 キャリングハンドル
26 押さえ上げ
27 ドロップレバー

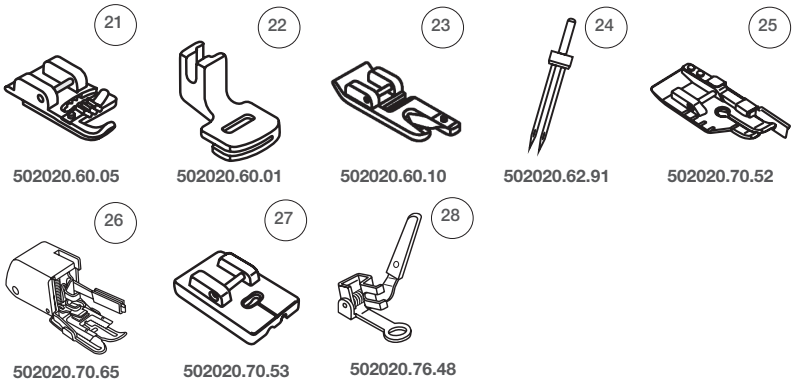


アクセサリー

1 ジグザグ縫い押え(T)
2 ボタンホール押え (D)
3 まつり縫い押え (F)
4 ボタン付け押え (H)
5 オーバーロック押え (E)
6 刺しゅう押え (A)
7 ファスナー押え (I)
8 ブラシ 付きシームリッパー
9 針セット (3x)
10 ボビン (3x)
11 ドライバー
12 布ガイド
13 ドライバー(L)
14 糸立て棒 長(V)
15 フォームパッド
16 糸こまホルダー(大)
17 糸こまホルダー(小)
18 ミシンカバー
19 糸こまネット (2x)
20 はさみ

オプションアクセサリー

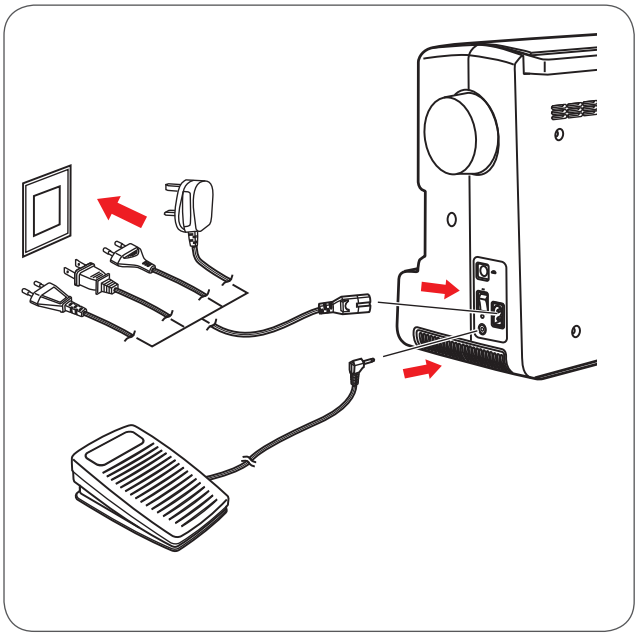
21 コーディング押え (M)
22 ギャザー押え
23 三つ巻き押え (K)
24 二本針(セット)
25 キルティング押え ¼“ (P)
26 ウォーキング押え
27 コンシールファスナー押え
28 標準刺しゅう用押え



ミシンを接続する

当製品をご使用になる前には、表示されている電圧、周波数がお使いになる電源と合っていることをご確認ください。

- ミシンは安定した作業台の上に置いてください。
- 電源コードの二つ穴プラグをミシンのソケットに差し込みます。
- 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ミシンの電源を入れます。
  - ミシンの電源ががオンになると、ソーイングライトが点きます。

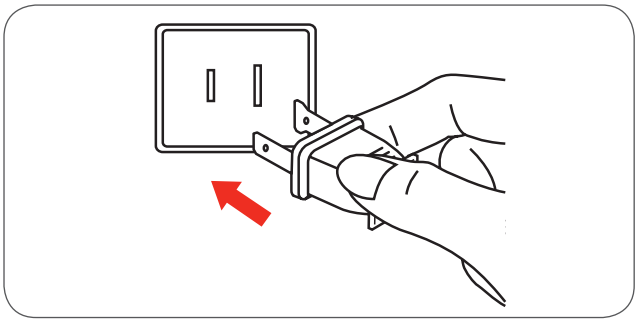


注意!

ミシンをお使いにならないときまたは部品を取り外しする際には、電源を切り、電源プラグをコンセントから外してください。

接続プラグについて

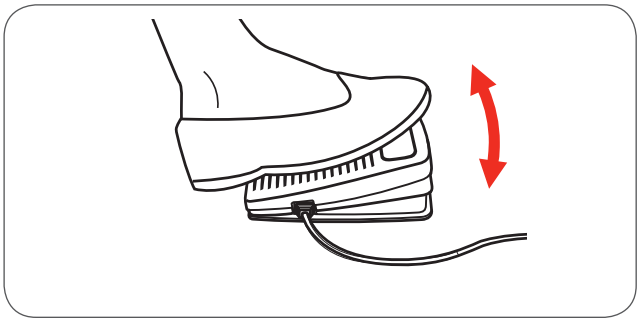
この製品は、漏電事故防止の為、接地極付きの電源プラグを採用しています。電源プラグは、接地極付きのコンセントに差し込んでください。電源プラグが差し込めない場合には、プラグを回して向きを変えてください。お使いの電源が接地極付きでない場合は、資格を持った専門の方にコンセントの設置を依頼してください。接続プラグの取替えは絶対にしないでください。



フットコントローラー

フットコントローラーの接続プラグを、ミシンの電源を切った状態で、専用のソケットに差し込みます。

- ミシンの電源を入れ、フットコントローラーをゆっくりと踏んで縫い始めます。
- フットコントローラーから足を離すと、ミシンは縫うのをやめます。

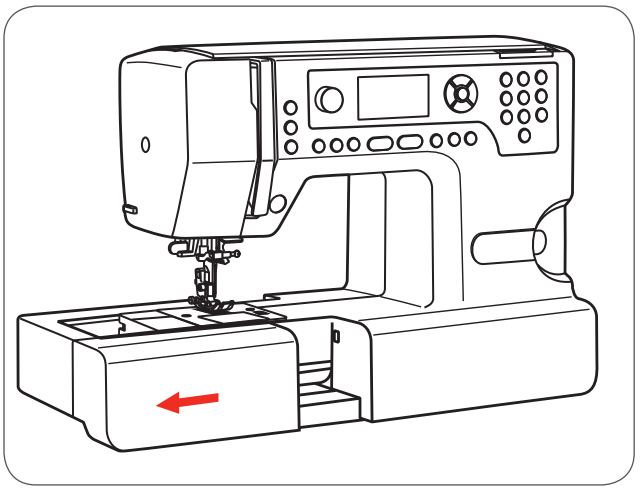


注意!

ミシンの接続方法がわからない場合には、資格を持った専門の方にお尋ねください。ミシンをお使いにならないときは、接続プラグをコンセントから外しておいてください。当モデルにはCHIEN HUNG TAIWAN LTD.社製のフットコントローラー タイプC-9000のみをお使いください。

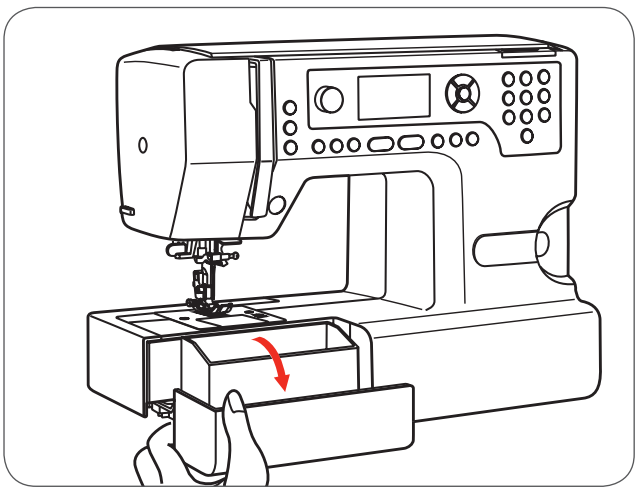
ソーイングテーブル

- 固定式のソーイングテーブルは常に平行に持ち、矢印の方向にスライドさせてください。

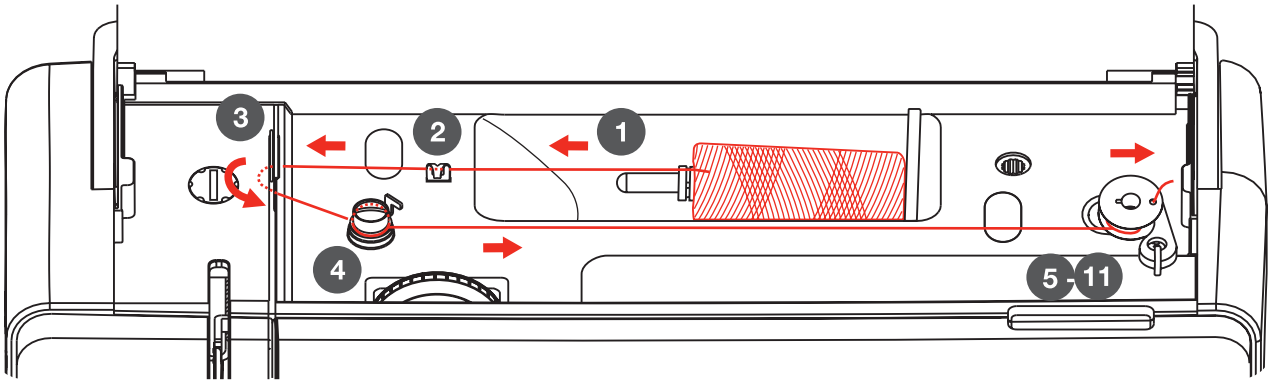


ソーイングテーブルの中は、アクセサリーボックスになっています。

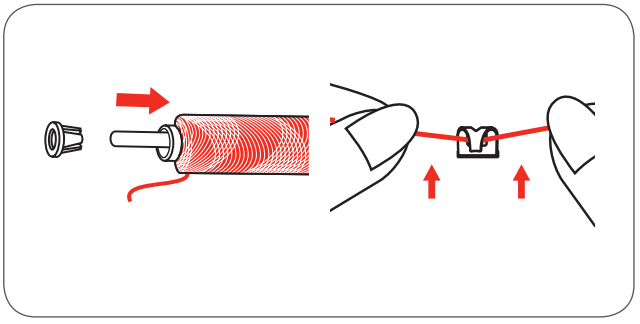
- アクセサリーボックスのふたは、手前側に開けてください。



下糸を巻く



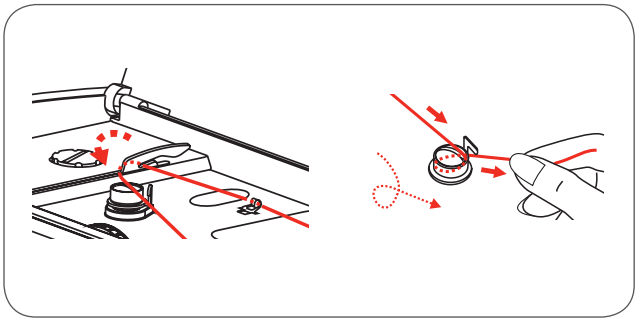
- 糸こまを糸立て棒にセットします。小さい糸こまには、糸立て棒（小）を使用してください。
- 糸を上糸糸ガイドへ通してください。



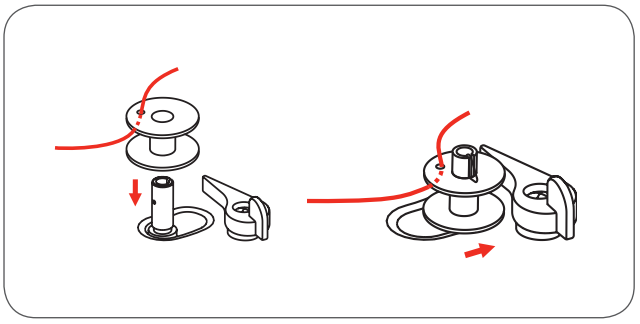
ご注意ください。

糸こまから取れやすい特殊な糸を使用する場合には、縫い始める前に糸こまネットをつけ、糸立て棒(大)を使用してください。さらに、糸調子を弱めてください。

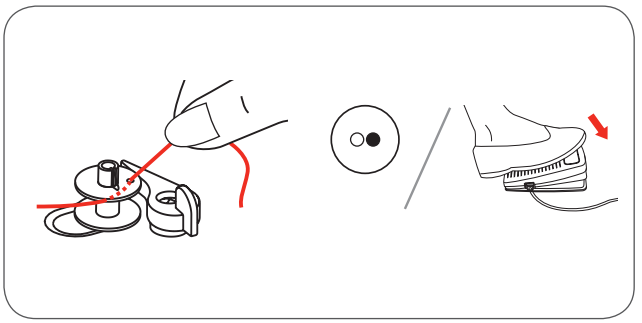
- 糸を下糸巻き用のテンションディスクに時計回りにかけます。



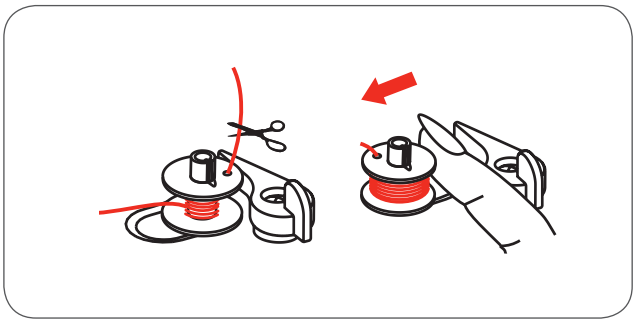
- 糸の端を図のようにボビンの穴に通し、ボビンを糸巻き軸にセットします。
- ボビンを持って右側にスライドさせます。



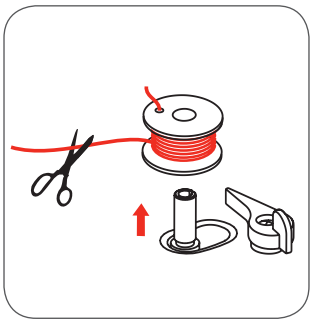
- 糸の端を片方の手でしっかりと押えます。.
- フットコントローラーを踏むか、スタート/ストップボタンを押して、下糸の巻き取りを始めます。
  - ボビンが数回回ったら、一度ミシンを止めます。



- ボビンの穴に通した糸の端を切り落とします。
- ボビンがいっぱいになるまで巻き続けます。
  - ボビンがいっぱいになると、モーターが自動的に停止します。
- スタート/ストップボタンを押すか、フットコントローラーから足を離すと、ミシンが停止します。
- 糸巻き軸を左側へ戻します。

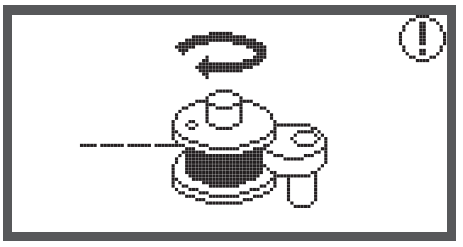


- 糸を切って、ボビンを取り外します。



ご注意ください。

糸巻き軸が右側へ押される(糸巻き位置)と、画面にお知らせが表示されます。糸巻き軸を再び左側へ戻す(ソーイング位置)と、お知らせは消えます。

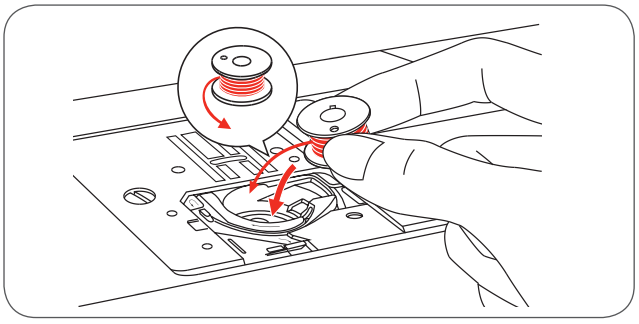


糸をミシンにセットする

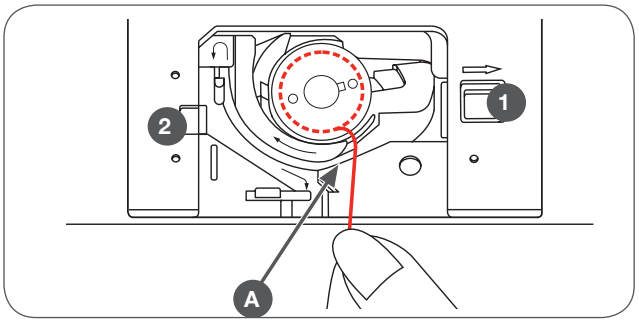
注意!

ミシンの糸をかける、および外す前には必ず電源スイッチをオフ«O» にしてください。

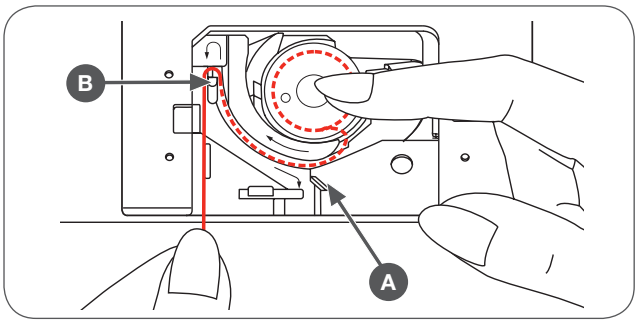
糸をかける際に天秤が一番高い位置にあることをご確認ください。糸のかけ方を間違うと、ミシンを損傷する場合があります。



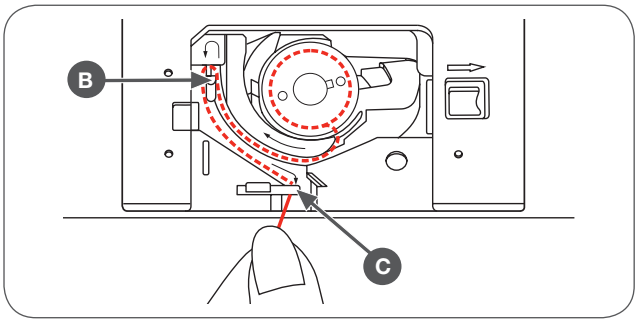
- 釜カバーを開けます。(1)
- 釜カバーを取り外します。(2)
- 糸が反時計周りに出てくるように、ボビンをボビンホルダーにセットします。



- 糸を図の矢印に沿って、つの(A)の下の溝を通し(B)の位置まで持っていきます。

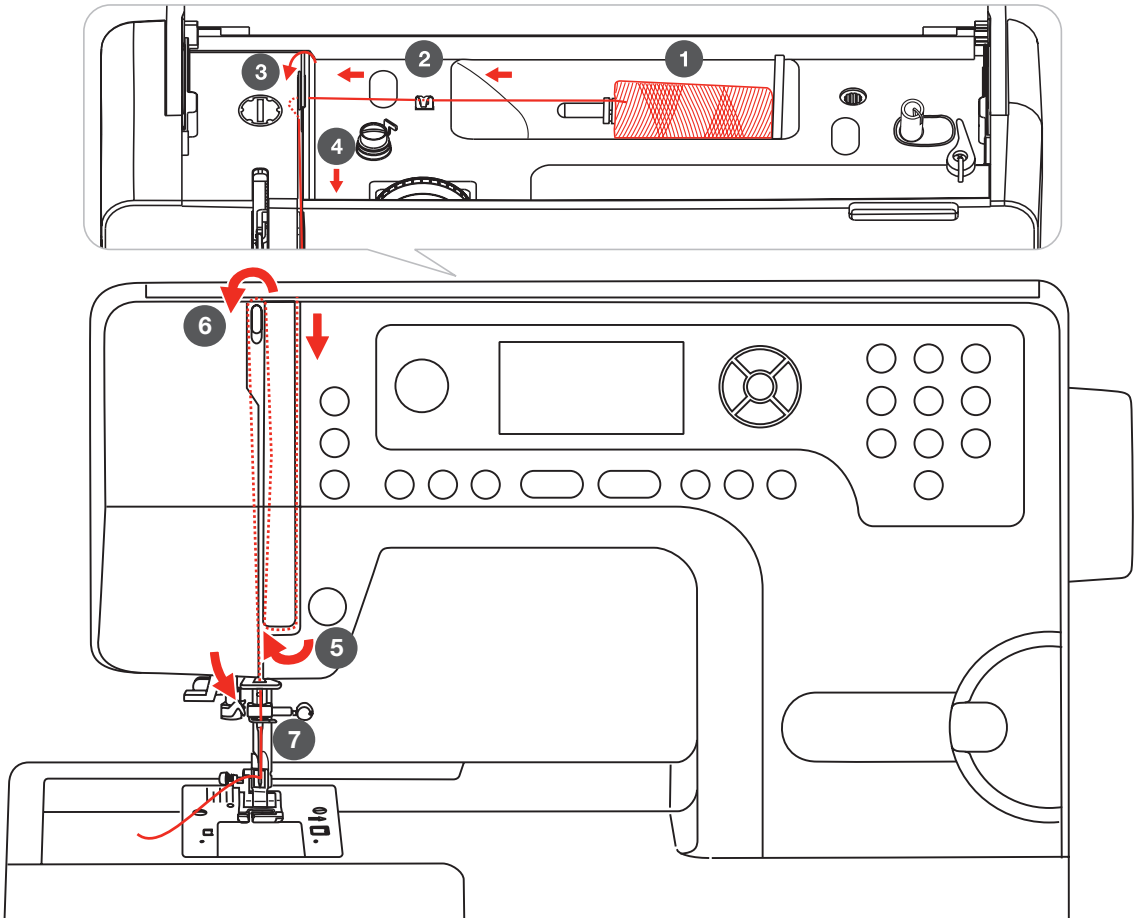


- 糸がボビンホルダーのテンションバネにちゃんと通っているか確認するため、糸を引っ張りながら指でボビンを軽く押えてください。糸が正しく通っていれば、糸を引っ張るときに軽い抵抗が感じられます。



- 糸を矢印に沿って(B)から(C)へ引き、針板の糸ガイドに通します。
  - 余分な糸は糸カッター(C)へ引いて、切ります。
  - 釜カバーを閉じるには、まず最初に左側をはめます。(2) カバーの右側をしっかりはめ込まれるまで下に押します。

上糸をかける



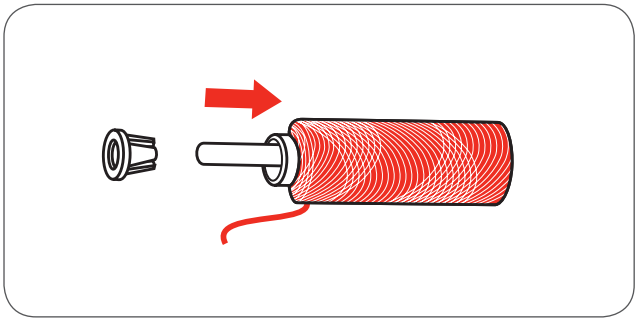
ご注意ください。

糸は正確にミシンにかけてください。糸がミシンに正確にかかっていない状態で縫い始めた場合、様々な問題が生じることがあります。

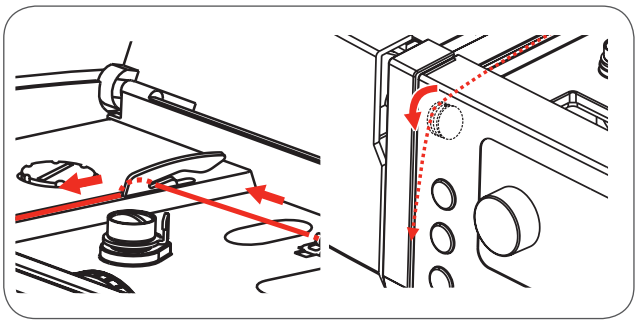
注意!

針を一番上の位置まで上げます。また、上糸テンションディスクを緩めるために、押え金も上げます。

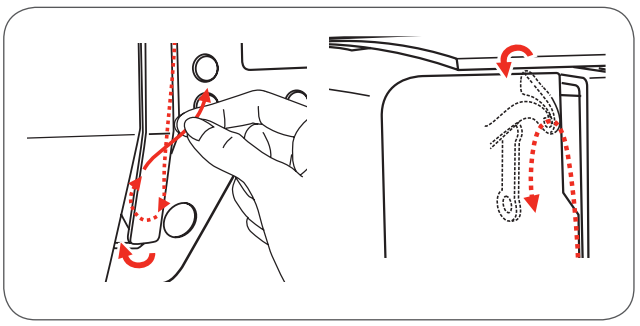
- 糸が時計回りに出てくるように、糸こまを糸立て棒にセットし、糸こまホルダーを取り付けます。



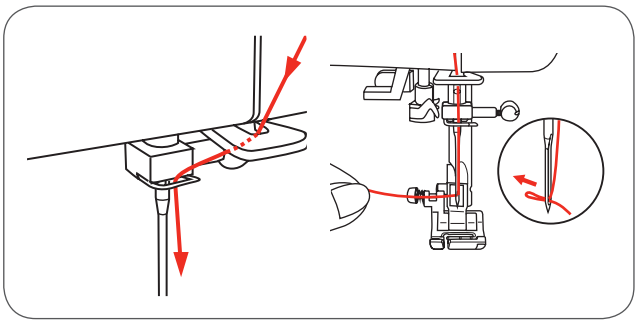
- 糸を上糸ガイドに通します。.
- 図のように、糸を糸ガイドに沿ってテンションスプリングに通します。



- 糸を天秤カバーの下部にかけます。
- 糸を上に持ち上げ、天秤の穴へ右から左にかけて通し、再び糸を下へ持っていきます。.



- 糸を針元糸案内に通します。
- 糸を針穴に前から後ろに通し、10センチほど引き出します。
- 余分な糸を、糸カッターで切ります。
- 糸通しを使って、針に糸を通すことができます。(次ページをご覧ください。)



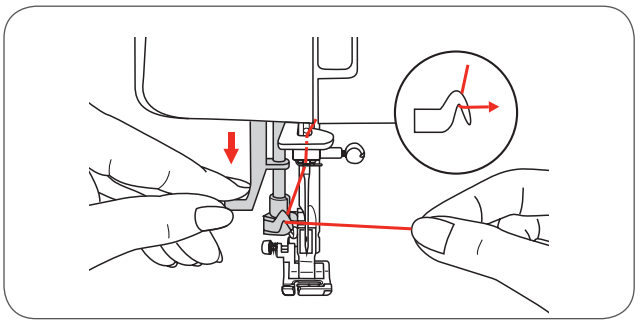
糸通し

注意!

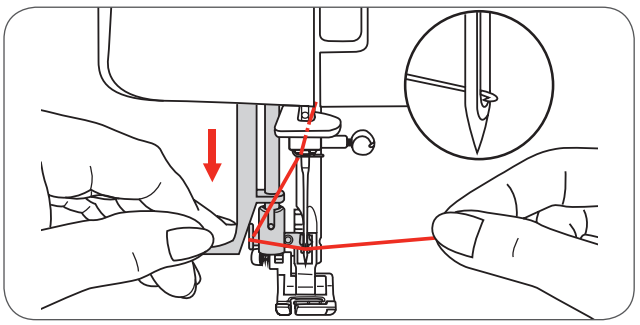
針と押え金を一番上まで上げます。.

針の交換をする前に、電源スイッチをオフ«O» にしてください。

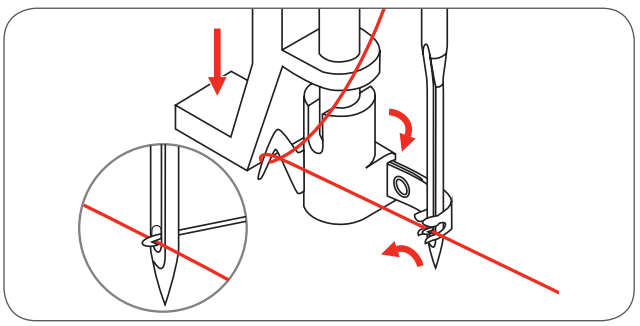
- 糸通しのレバーをゆっくりと下ろし、図のように糸を糸ガイドに通したら、糸を右に引っ張ります。.
- 糸通しが自動的に糸通し位置へ動き、かぎ針が針穴に通



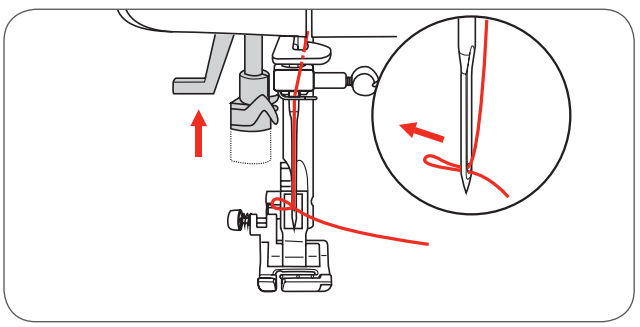
ります。



- 糸を針の手前を通って右側へ引っ張ります。



- 糸を軽く押え、レバーをゆっくりと放します。
  - かぎ針が回って糸を針穴に通し、糸はループ状になります。
  - 糸を引っ張り、完全に針穴に通します。



針の交換

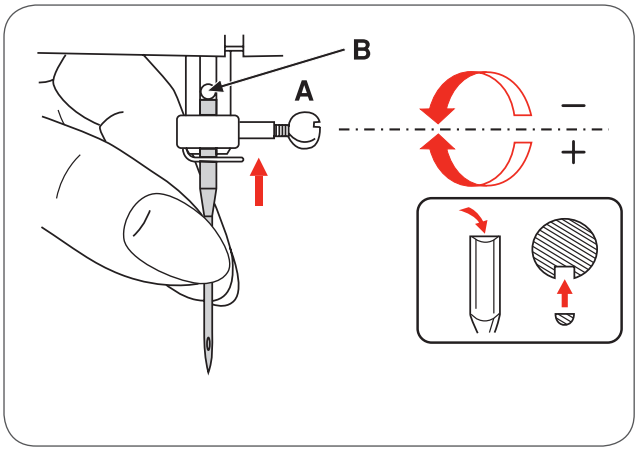
注意!

針の交換をする前に、電源スイッチをオフ«O» にしてください。

針は定期的に交換するようにしましょう。特に針が傷ついていたり、うまく縫えない場合には、すぐに針を交換してください。

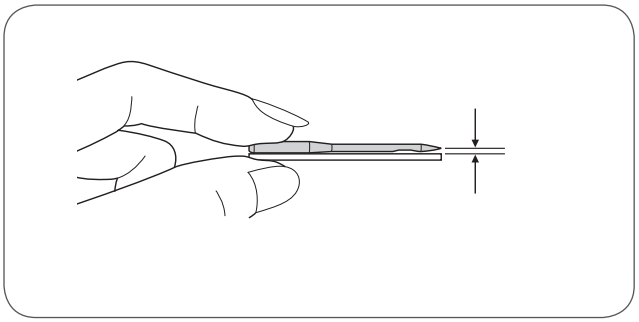
針の取り付けは、以下の手順で行ってください。

A　針止めねじをゆるめます。新しい針を取り付け、再びねじをしめます。針シャンクの平らな部分が後ろ側になるように差し込みます。
B　針は上までしっかりと差し込んでください。



針は完全なものをご使用ください。
次のような針をご使用になると、うまく縫えないことがあります。

- 曲がった針
- 針先の鈍った針
- 針先に損傷のある針

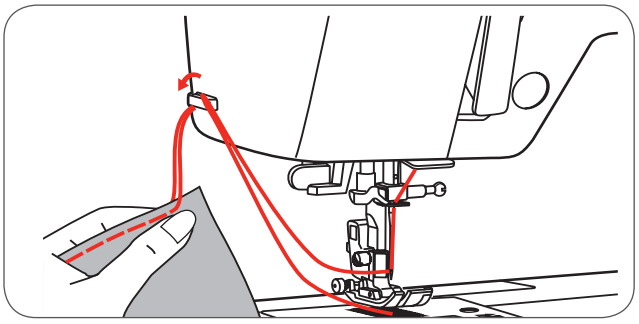


糸カッター

糸カッターには次の二つの役割があります。

1. 針に糸を通した後、余分な糸を切る。
2. 縫い終わった後の糸を切る。

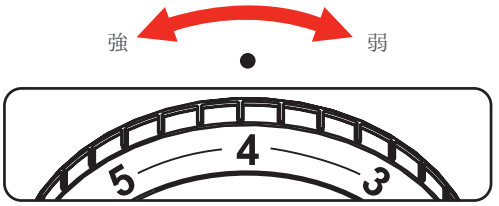
- 縫い終わった後の糸を切る前に、押え金を上げます。.
- 布地をはずし、糸を左上の糸カッターで切ります。
- 糸カッターを使用すると、糸を次に縫い始める時にちょうどよい長さに切ることができます。



糸調子

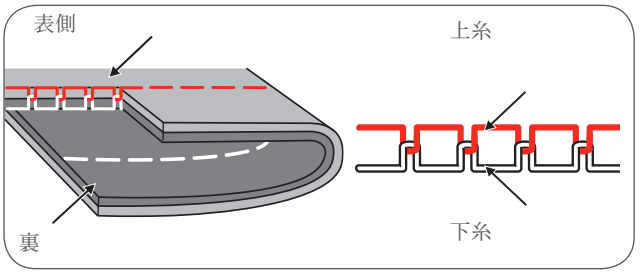
糸調子の基本設定：«4»

- 糸調子を強くするには、調節つまみを大きい番号へ回します。
- 糸調子を弱くするには、調節つまみを小さい番号へ回します。



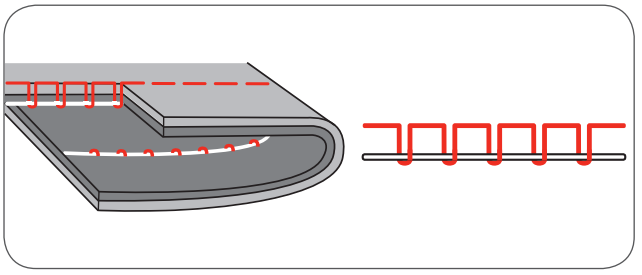
きれいに縫うためには、糸調子の適切な設定が重要です。
飾りステッチでは布地の裏側に上糸が出るくらいに調節すると、布地がよれることなく、きれいなステッチができます。

直線縫いの通常の糸調子です。



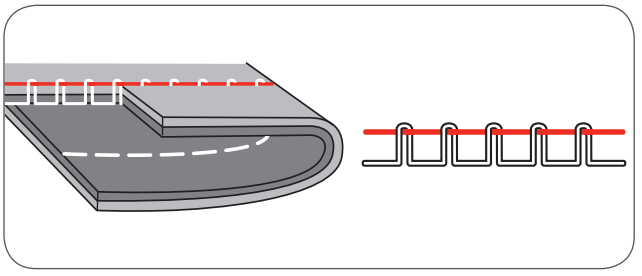
直線縫いで糸調子が弱すぎると、このようになります。

- 調節つまみをひとつ大きい番号へ回します。

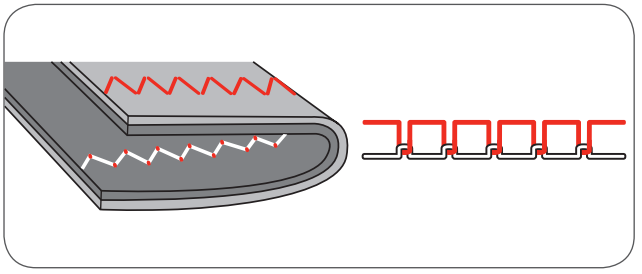


直線縫いで糸調子が強すぎると、このようになります。

- 調節つまみをひとつ小さい番号へ回します。



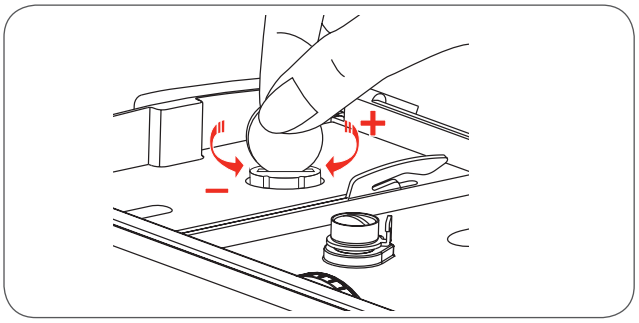
ジグザグ縫いおよび飾り縫いの通常の糸調子。



押え圧を変更する

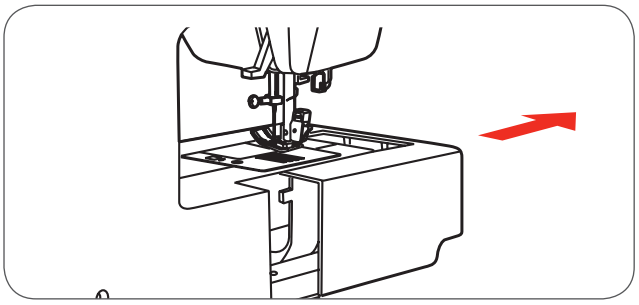
ミシンの押え圧は製造の段階でセットされており、布地の種類に関わらず、押え圧を変更する必要はありません。(薄地または厚地)
押え圧を変更したい場合は、押え圧調節ねじをコインなどで回してください。

- 超薄手の布地を縫う場合には、調節ねじを反時計周りに回し、圧力を弱めます。厚手の布地を縫う場合には、調節ねじを時計回りに回し、圧力を強めます。
- 押え圧を初期設定に戻すには、ねじを外装カバーと同じ高さなるように回します。



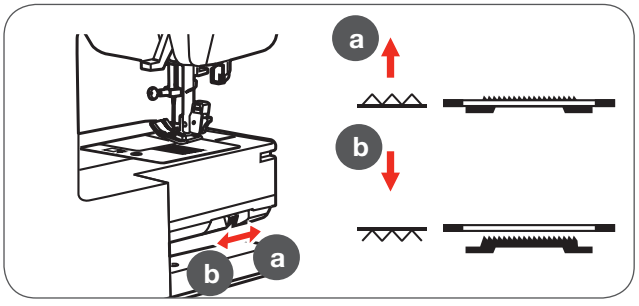
送り歯を上下させる

送り歯のドロップレバーは、フリーアームの後部にあります。ソーイングテーブルは外してください。



ドロップレバーを(a)の位置へ動かすと、送り歯が上がります。
ドロップレバーを(b)の位置へ動かすと、送り歯が下がります。使用例) ボタンの縫い付け、フリーハンド刺しゅう

- 続けて通常のソーイングに移る場合は、ドロップレバーを(a)の位置へ動かし、送り歯を上げます。
- ドロップレバーが右側にある場合でも、はずみ車を回すまで送り歯はあがりません。
- はずみ車を一回転させて、送り歯を最後部まで上げます。



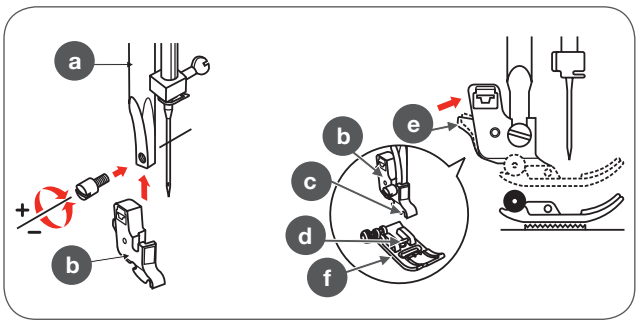
押え金の交換

注意!

針の交換をする前に、電源スイッチをオフ«O» にしてください。

押え金ホルダーを取り付ける

- 押え棒を上げます。(a)
- 押え金ホルダー(b) を、図のように取り付けます。

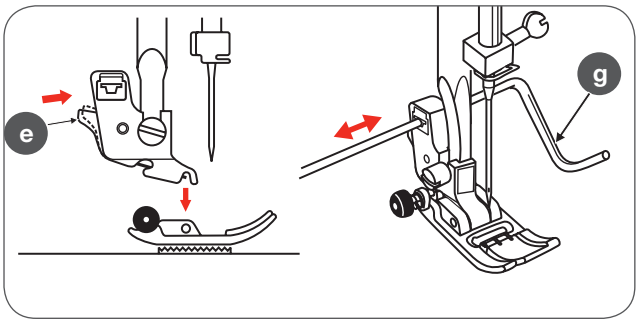


押え金を取り付ける

- 押え金ホルダー(b)　を下げ、ピン(d)が切り込み部分(c)の真下にくるようにします。
- 黒いレバー(e)を押し込みます。
- 押え金ホルダー(b)を下げると、押え金(f) が自動的に取り付けられます。

押え金を取り外す

- 押え金を上げます。
- 黒いレバー(e) を押すと、押え金が外れます。

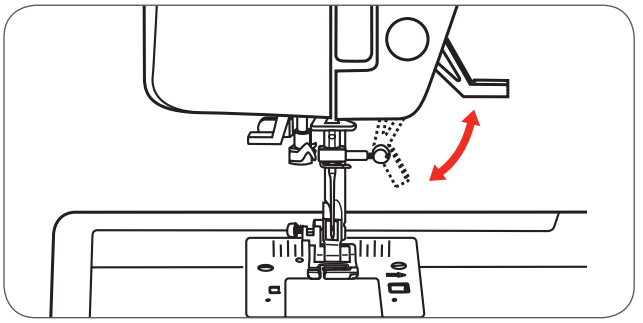


シームガイド/キルティングガイドを取り付ける

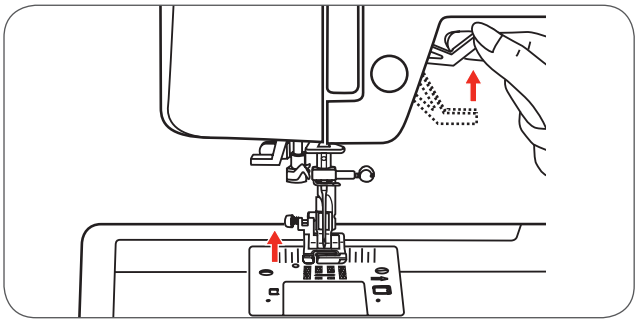
- シームガイド/キルティングガイド(g)　図のように取り付けます。
- ヘム縫い、プリーツ縫い等、用途に合わせて長さを調節します。

二段式押え金

押え金は二段階の高さ調節することができます。通常ソーイングの布地を押え金の下にセットする場合は、押え上げを一段目に上げます。



二段目は刺しゅうをする時のみに使用します。押え金の下に刺しゅう枠を入れることができます。



ご注意ください。

針は常に一番高い位置にしておいてください。

針、布地、糸の選び方

ご注意ください。

糸は用途に合ったものを使用してください。よい作品を仕上げるには、糸と布地の質が重要になります。品質のよい製品を使用されることをおすすめします。糸は針に合ったものを使用してください。針は使用する糸と布地によって決まります。糸の強さや針の太さ、針先の形などは、布地のタイプによって決まります。

針の太さ	布地	糸
9-11/65-75		
12/80		
14/90		
16/100		
18/110		

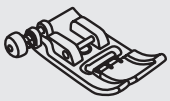
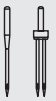
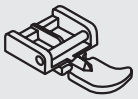
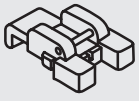
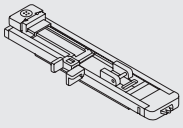
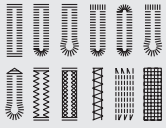
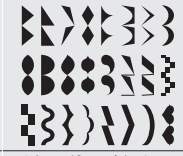
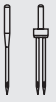
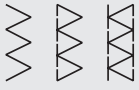
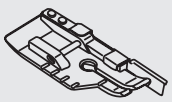
ご注意ください。

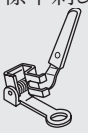
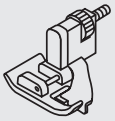
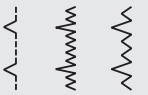
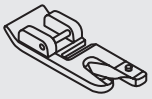
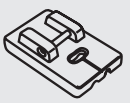
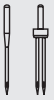
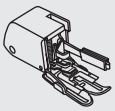
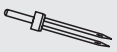
二本針は、実用、飾り用の両方に使用できます。ヨーロッパの針番号は、65番、70番、80番のようになっています。アメリカおよび日本では、9番、11番、12番となります。針は定期的に交換するようにしてください。（衣類などの大きな作品を二つが目安）糸が切れたり、針目が飛ぶようであれば、すぐに交換してください。

針	説明	布のタイプ
HA x 1 15 x 1	家庭用の標準ミシン針。 細い針から太い針まで。 9（65）番から18（110）番まで。	ウール、綿、絹などの天然繊維、キアナ。ダブルニットには おすすめできません。
15 x 1/130/705H	セミボールポイント針、大きい針穴。 9（65）番から18（110）番まで。	天然繊維、合成繊維、ポリエステル混紡、ポリエステル、トリコット、シングルおよびダブルニット。 15 x 1 の代わりに、すべての布地に使用することができます。
15 x 1/130/705H（SUK）	ボールポイント針 9（65）番から18（110）番まで。	ジャージー、トリコット、ライクラ、水着用布地、伸縮性のある布地。
130PCL/705H-LR/LL	レザー針。 12（80）番から18（110）番まで。	皮、ビニール、インテリア用布地。（太い標準針を使用したときよりも、布地に残る穴が小さくなります。）

押え金チャート

二本針を使用すると、よりクリエイティブな仕上がりになるステッチもあります。

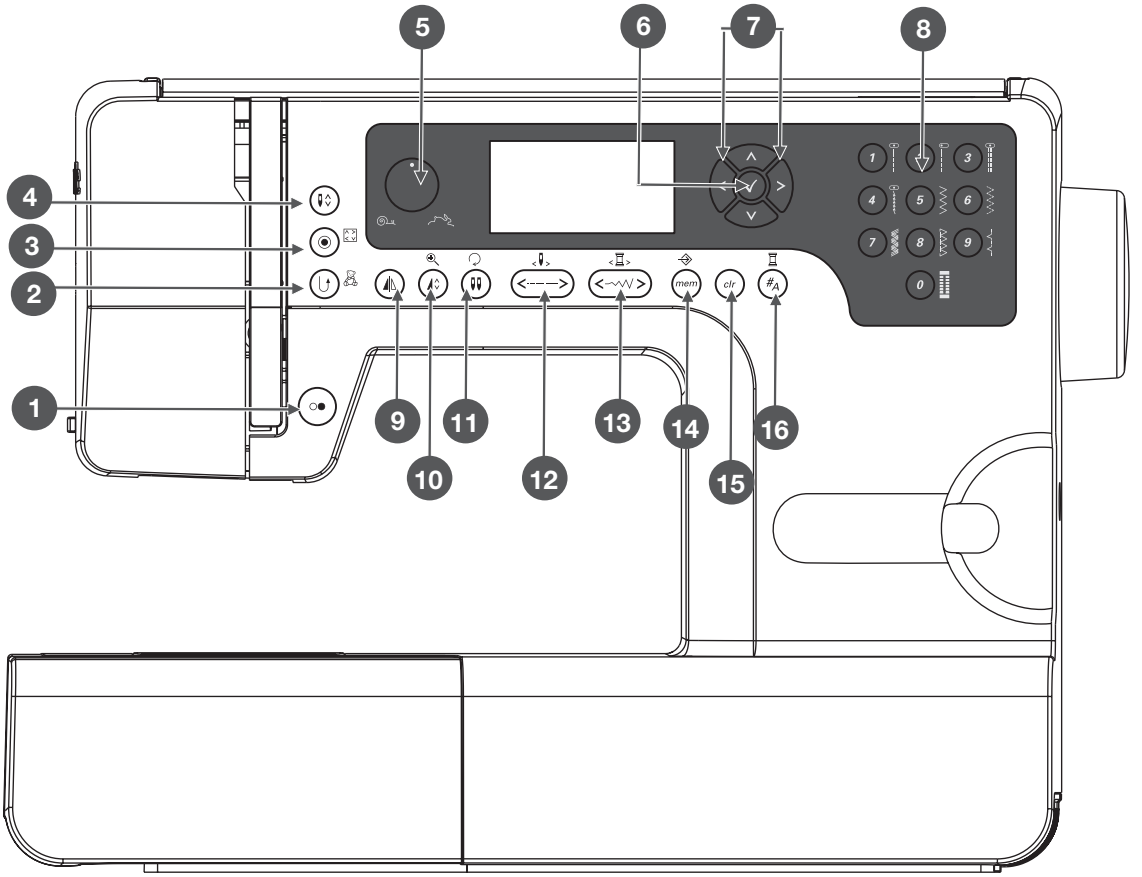
押え金	用途:	針
ジグザグ縫い押え (T) 	通常のソーイング、パッチワークステッチ、刺しゅうステッチ、スモッキング、ファゴティング等	
ファスナー押え (I) 	ファスナーの縫い付け	
ボタン付け押え (H) 	ボタンの縫い付け	
ボタンホール押え (D) 	ボタンホール 	
刺しゅう押え(A)	サテンステッチ 	
オーバーロック押え (E)	縫い代の始末に 	
キルティング押え 1/4“ * 	キルティング、パッチワーク	

押え金	用途:	針
標準刺しゅう用押え 	ダーニング(つくろい縫い)、フリー刺しゅう、モノグラミング	
まつり縫い押え (F) 	まつり縫い 	
三つ巻き押え (K)* 	幅の狭い巻き縫い	
コーディング押え (M)*	コーディング	
コンシールファスナー押え* 	コンシールファスナーの縫い付け	
ギャザリング押え*	ギャザリング	
ウォーキング押え* 	デリケートな布地を縫う際に、送りにばらつきがおきないように縫うことができます。	
二本針* 		

ご注意ください。

*印のついたものは、別売りのアクセサリーです。

操作ボタンについて



1 スタート／ストップボタン
2 返し縫い／終了ボタン
3 オートロック／一模様縫いボタン
4 針上／下位置停止ボタン
5 スピード調節つまみ
6 OKボタン
7 矢印キー
8 ステッチパターンおよび数値直接入力ボタン
9 反転
10 引き伸ばし／大きさ変更ボタン
11 二本針／パターン回転ボタン
12 送り長さ調節／ステッチ選択ボタン
13 振り幅調節／色選択ボタン
14 保存／セットアップボタン
15 消去／戻るボタン
16 パターングループ選択／色設定ボタン

ご注意ください。

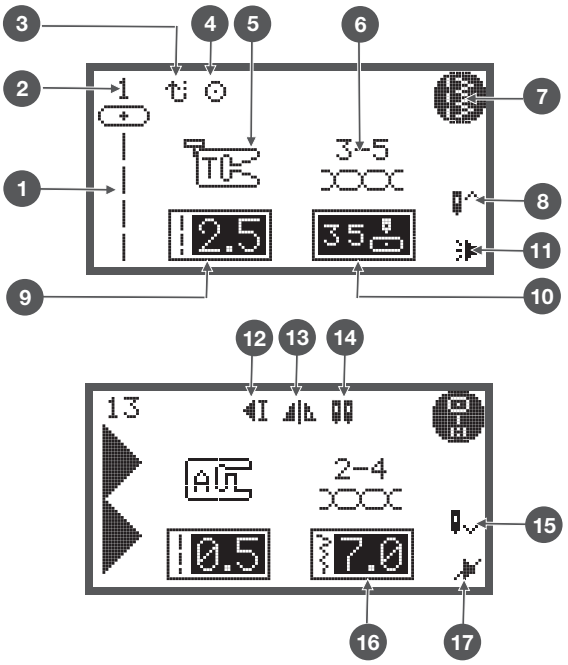
ボタン上にある記号はソーイングモードに、ボタン横にある記号は刺しゅうモードに適応しています。

液晶ディスプレイについて

通常モード

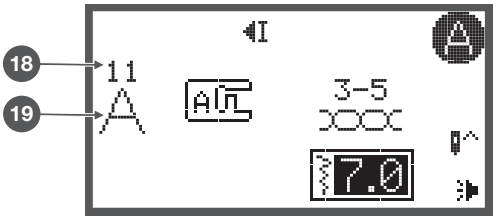
通常モード画面

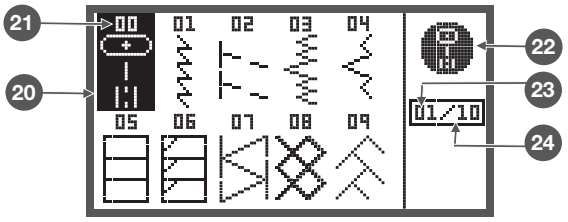
1 ステッチパターン
2 ステッチパターン番号
3 返し縫い
4 オートロック
5 推奨する押え金
6 推奨する糸調子
7 ステッチパターングループ
8 針位置 上
9 送り長さ
10 針基線
11 お知らせ音ON
12 自動停止
13 反転
14 二本針
15 針位置 下
16 振り幅
17 お知らせ音OFF
18 アルファベット番号
19 アルファベット



通常モード画面－ステッチパターン検索プログラム画面

20 ステッチパターン
21 ステッチパターン番号
22 ステッチパターングループ
23 現在のページ
24 全てのページ

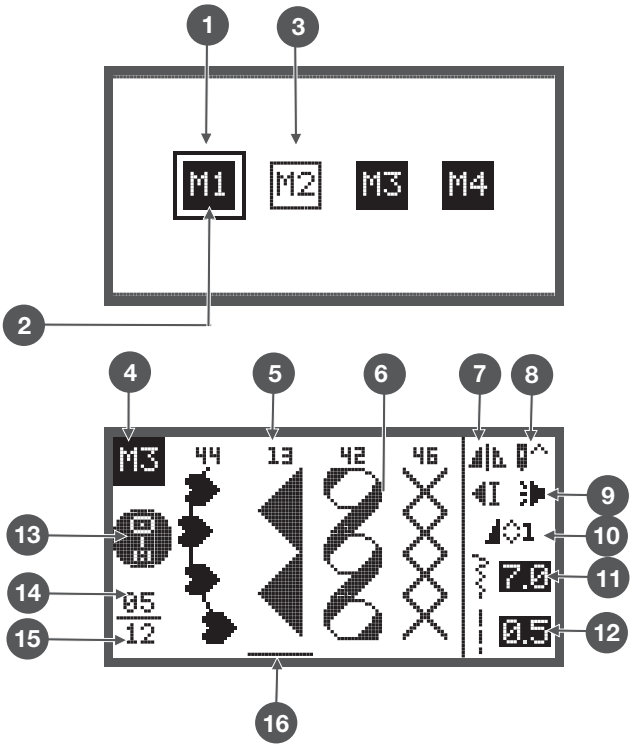




メモリーモード

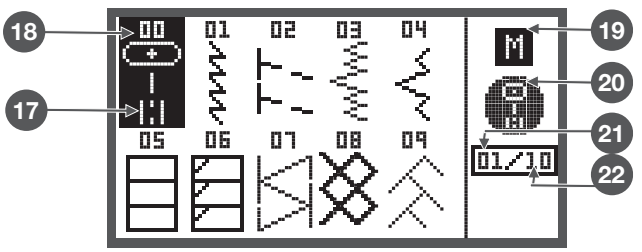
メモリーモード画面

1 選択されたメモリー（枠で囲まれています）
2 ステッチが保存されたメモリー
3 空のメモリーフォルダー
4 現在のメモリーフォルダー
5 ステッチパターン番号とステッチパターン
6 自動停止
7 反転
8 針位置 上
9 お知らせ音ON
10 引き伸ばし
11 振り幅
12 送り長さ
13 ステッチパターングループ
14 現在のメモリー
15 すべてのメモリー
16 カーソルメモリー



メモリーモード画面－ステッチパターン検索画面

17 ステッチパターン
18 ステッチパターン番号
19 メモリーモデル
20 ステッチパターングループ
21 現在のページ
22 全てのページ



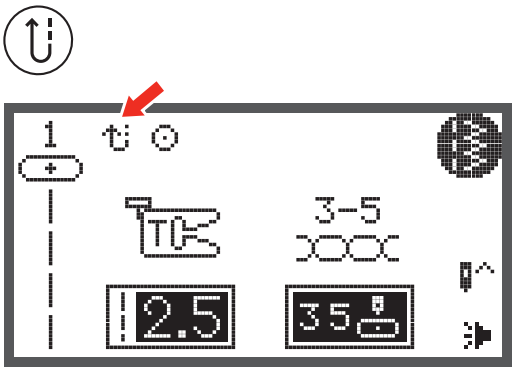
機能ボタン

スタート／ストップボタン

- スタート／ストップボタンを押して、縫い始めます。もう一度押すと、停止します。縫い始めはゆっくりと進みます。
  - このボタンを使用すると、フットコントローラーを使わずにミシンを操作することができます。

返し縫い／終了ボタン

返し縫いをするときにこのボタンを押します。
画面に«返し縫い»の表示がされます。
ダイレクトグループ1−5番およびグループAの00番のステッチパターンのみ、返し縫いすることができます。

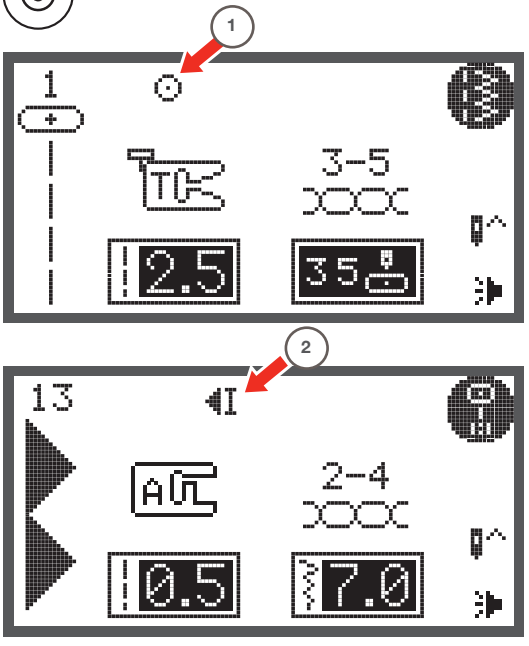


- 縫い始める前に返し縫いボタンを押すと、
  - ミシンはずっと返し縫いを続けます。返し縫いボタンをもう一度押すと、ミシンが前進します。
- 縫っている途中で返し縫いボタンを押すと、
  - ボタンから手を離すまで返し縫いを続けます。

オートロック

オートロックボタンが押されている場合、ダイレクトグループ1−4およびグループAからステッチパターンを選択すると、ミシンは最初に3針留め縫いをしてから自動的に停止します。

1　画面にはミシンが止まるまで«オートロック» のアイコンが表示されます。



オートロックボタンが押されている場合、ダイレクトグループ0−4およびグループA　の00、86−99のステッチパターン以外では、ミシンは現在のステッチパターンを縫った後に3針留め縫いをしてから自動的に停止します。

2　画面にはミシンが止まるまで«オートロックホールド» の表示がされます。

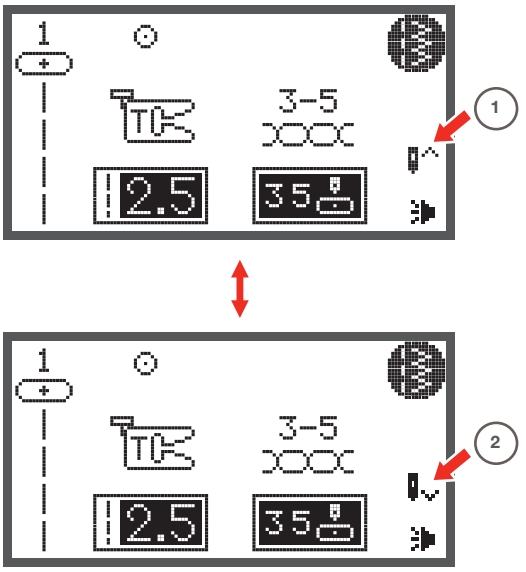
この機能は、ボタンをもう一度押すか、その他のステッチパターンを選択することによって終了します。

針上／下位置停止ボタン

- 針上／下位置停止ボタンを押すと、
  - 縫い終わった後に針が上または下の布地に刺さった状態で止まります。

1 画面に上向きの矢印が表示されるまでボタンを押します。
  - 針は縫い終わった後に一番上の位置で止まります。

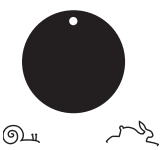
2 画面に下向きの矢印が表示されるまでボタンを押します。
  - 針は縫い終わった後に一番下の位置で止まります。



ご注意ください。

縫っている途中で針上／下位置停止ボタンを押すと、ミシンは自動的に止まります。

スピード調節つまみ



- スピード調節つまみを回すと、
  - 最大ソーイングスピードを設定することができます。

スピード調節つまみの位置によって、フットコントローラーをいっぱいに踏み込んだときの最高速度が決定します。

- スピードを速くするには：つまみを時計回りに回します。
- スピードを遅くするには：つまみを反時計回りに回します。

スタート／ストップボタンで操作する場合には、設定した速度がソーイングスピードとなります。

ご注意ください。

スピード調節は、ソーイングモードでのみ設定可能です。

矢印キー

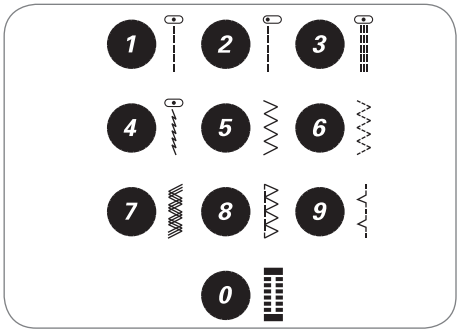
このキーを使用して、パターンや機能等を選択します。

OKボタン

- このボタンを押して、選択した内容を決定します。
  - 通常モードでOKボタンを押すと、ステッチパターン検索プログラムが開きます。
  - メモリーモードでOKボタンを押すと、ステッチパターン検索プログラムが開きます。

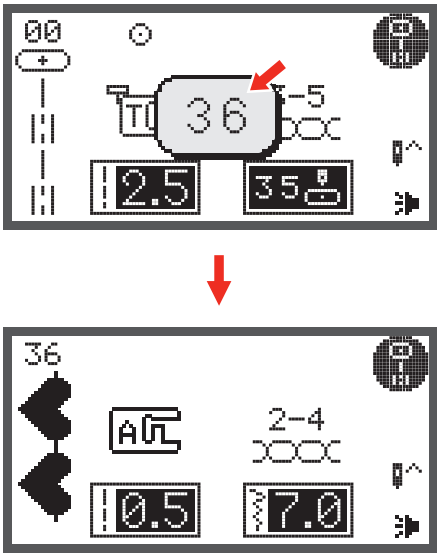
ステッチパターンを直接入力する。

- 直接入力モードになっているときは、番号の横に表示される実用縫いのパターンをボタンを押して直接選択することができます。



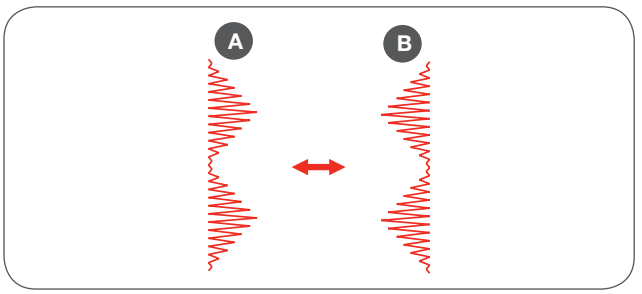
数字キー

- 選択したステッチパターングループから、数字キーでステッチ番号を入力して直接選ぶことができます。



反転ボタン

- このボタンを押すと、ダイレクトグループの0番、グループAの86−99番を除いた全てのステッチパターンを反転することができます。
  - ミシンは反転ボタンをもう一度押すまで、選択されたステッチパターンを反転させて縫います。
  - また、他のステッチパターンが選択された場合にも、反転は終了します。



A　通常のステッチパターン
B　反転されたステッチパターン

引き伸ばし

- このボタンを押すと、グループAの13−36番のステッチパターンを最大5倍の長さに引き伸ばすことができます。

振り幅または送り長さを変更することによって、多彩なステッチパターンを縫うことができます。

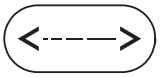
二本針

二本針を使用すると、ダイレクトグループの0番と、グループAの86−99番を除いた全てのステッチパターンを2本同時に平行に縫うことができます。

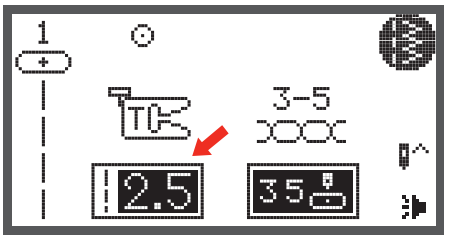
- 二本針ボタンを押すと、ミシンは自動的に最大振り幅を二本針用に縮めます。
- 再び一本の針で縫う場合には、二本針ボタンを新たに押してください。

送り長さ調節

ステッチパターンを選択すると、ミシンは自動的に推奨される送り長さを設定します。設定された送り長さは数値で画面に表示されます。

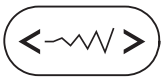


- 送り長さ調節ボタンを押すと、送り長さを変更することができます。
- 送り長さを短くするには«-» ボタン（左）を押します。送り長さを長くするには«+» ボタン（右） を押します。送り長さは«0.0 ～ 4.5» の間で変更することができます。送り長さに制限のあるステッチもあります。

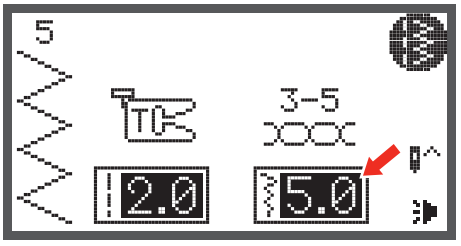


振り幅調節

ステッチパターンを選択すると、ミシンは自動的に推奨される振り幅を設定します。設定された振り幅は数値で画面に表示されます。

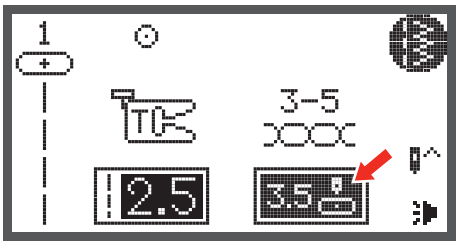


- 振り幅調節ボタンを押すと、振り幅を変更することができます。
- より目の詰まったステッチを縫うには、左のボタンを押します。
- より幅の広いステッチを縫うには、右のボタンを押します。
  - 振り幅は«0.0 ～ 7.0» の間で変更することができます。振り幅に制限のあるステッチもあります。



ダイレクトグループの1－4番またはグループAの00番のステッチパターンが選択されている場合、振り幅を調節することで針基線を調整することができます。

- 左のボタンを押すと、針は左に動きます。
- 右のボタンを押すと、針は右に動きます。
  - 振り幅の数値は、左«0.0» から、一番右«7.0»の間で変更されます。
  - 中央の標準基線は«3.5» と表示されます。



保存

- 保存ボタンを押すと、メモリーモードが開き、文字や飾りステッチのコンビネーションをプログラムすることができます。
  - ダイレクトグループとグループAの86−99番のステッチパターンをプログラムすることはできません。

- 刺しゅうモードでこのボタンを押すと、セットアッププログラムが開きます。

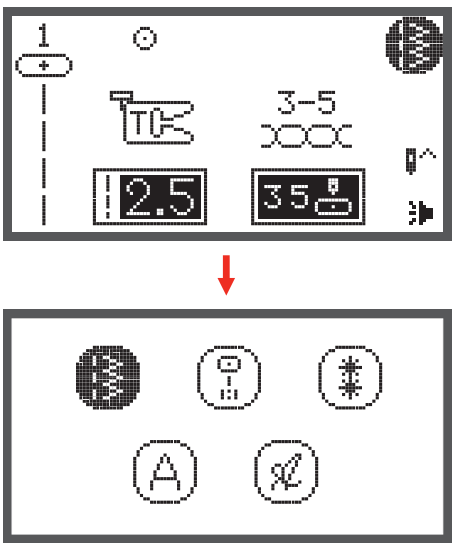
消去／戻るボタン

- 間違ったステッチパターンや保存ファイルを選択してしまった場合に、このボタンを押します。ステッチパターンが消去される、または前の画面に戻ります。

ステッチパターングループ選択／色設定

ミシンの電源を入れると、画面にはダイレクトグループのステッチパターンが表示されます。

- ステッチパターングループ選択ボタンを押すと、ステッチパターン選択画面が自動的に開きます。矢印キーを押して、使用したいステッチパターングループを選択します。

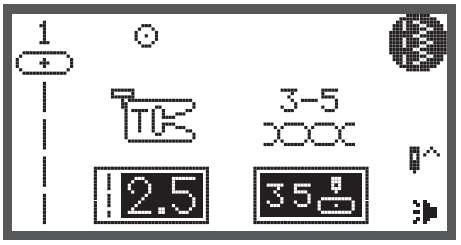


- ステッチパターン ダイレクトグループ
- Aグループのステッチパターン
- ステッチパターン グループB
- ブロック体アルファベット グループC1
- 筆記体アルファベット グループC2

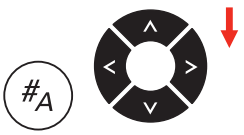
ステッチの選択方法

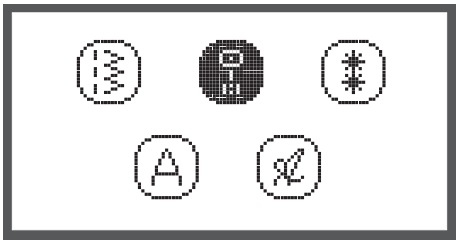
ミシンの電源を入れると、画面にはダイレクトグループのステッチパターンが表示されます。.

- 数字キーを押して、数字キーの横に表示されているステッチパターンを選択するか、ステッチパターングループボタンを押して、使用したいパターングループを選択します。

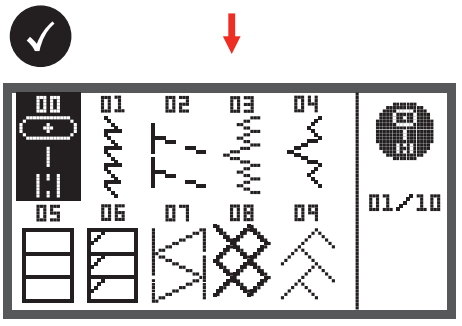


- 矢印キーを押してステッチパターングループを選択し、OKボタンを押します。

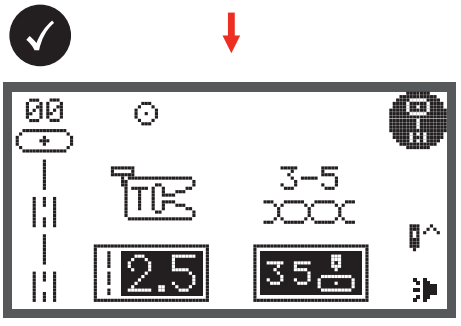




- 使用したいステッチパターンは矢印キーまたは数字キーを押して選択します。

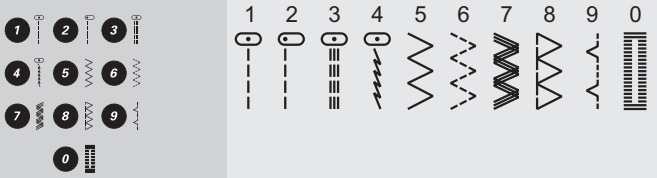


- 矢印キーでステッチパターンを選択しOKボタンを押すと、ソーイングモードに戻ります。
- 数字キーでステッチパターンを選択すると、ミシンは自動的にソーイングモードに戻ります。



ステッチパターン

ダイレクトステッチパターン



Aグループのステッチパターン

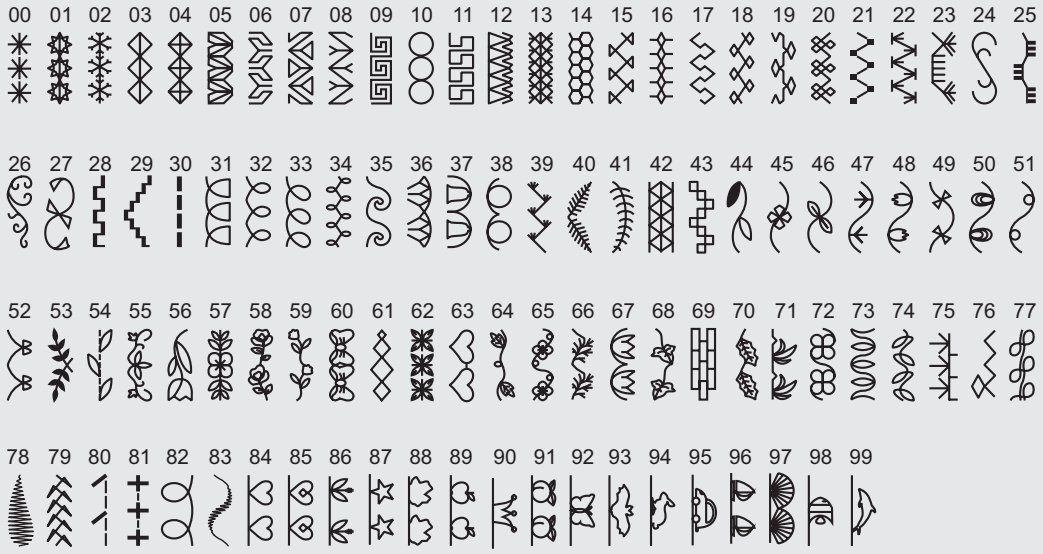
実用縫い	00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12
サテンステッチ	13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36
飾り用サテンステッチ	37 38 39 40 41 42 43 44 45
クロスステッチ	46 47 48 49 50 51 52 53 54 55
キルトステッチ	56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75
飾り縫い	76 77 78 79 80 81 82 83 84 85
ボタンホールステッチ	86 87 88 89 90 91 92 93
バータックステッチ	94

Aグループのステッチパターン

アイレットステッチ	95 96
ボタン付け縫い	97
ダーニングステッチ（つくろい縫い）	98 99

ステッチパターン グループB

飾り縫い



ステッチパターン グループC

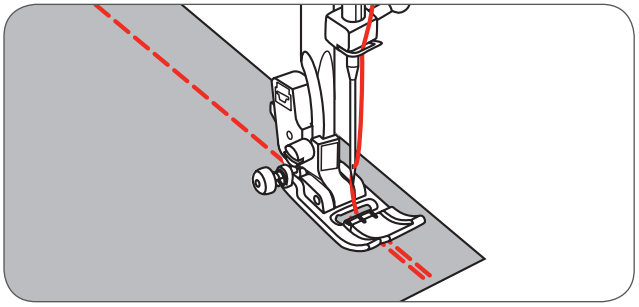
アルファベット ブロック体−C1

アルファベット 筆記体−C2

返し縫い

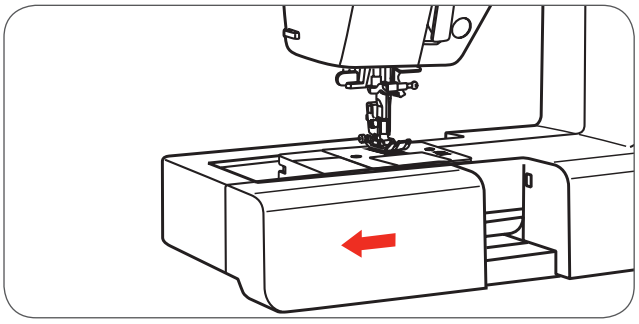
縫い始めと縫い終わりの糸をしっかり止めるために、返し縫いをします。

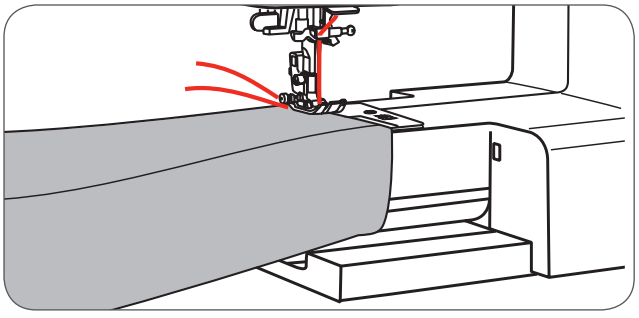
- 返し縫いボタンを押して4–5針縫います。
  – 返し縫いボタンを離すと、ミシンは再び前進します。



フリーアーム

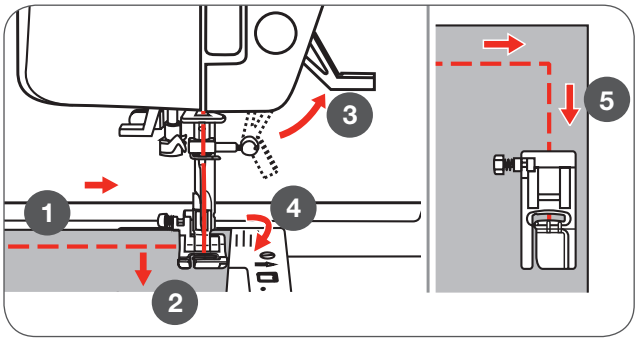
フリーアームは、ズボンの裾や袖口などの筒状の部分を縫うときに使用します。



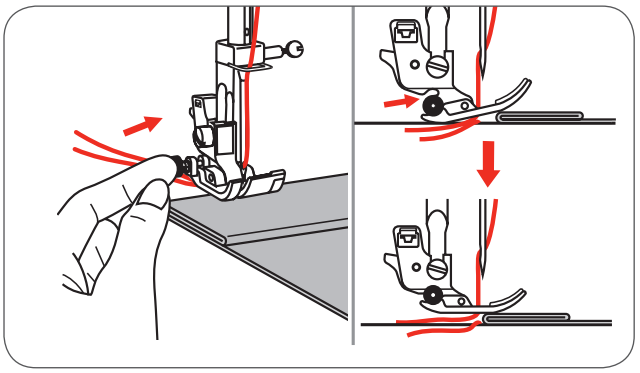


コーナー部分を縫う

1 コーナー部分に差し掛かったところで、ミシンを一旦止めます。
2 手動、または針上／下停止ボタンで、針を布地に刺した状態にします。
3 押え金を上げます。
4 針を中心に、布地を回転させます。
5 押え金を下げて、縫い続けます。



厚い布地を縫う

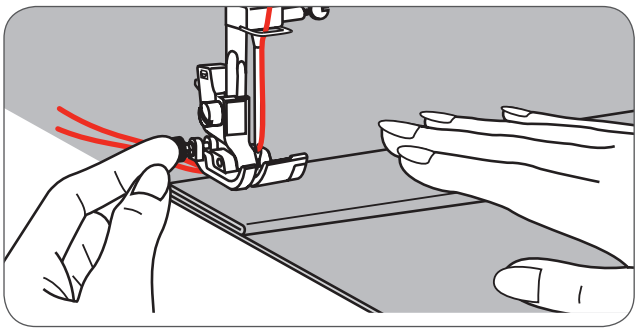


押え金を下げる前に、左側の黒いボタンを押すと、押え金を水平に固定することができます。これで縫い始めの送りを均等に保つことができ、ジーンズの裾など布地が重なって厚くなった部分が縫いやすくなります。

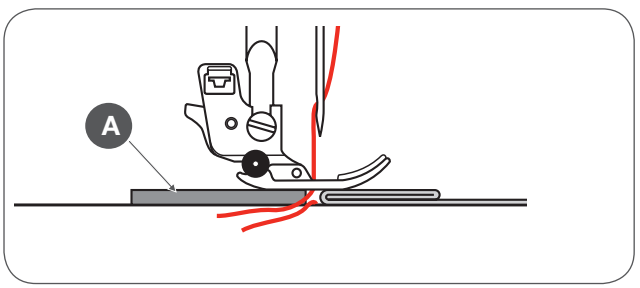
布地の厚くなった部分まで来たら、針を布地に刺した状態で、押え金を上げます。

- 押え金の先を軽く押し水平にしたら、黒いボタンを押し、再び押え金を下げて縫い続けます。

黒いボタンは数針縫った後、自動的に元に戻ります。



また、同じ厚さの布地を置いて厚さの違いを補ったり、手動で布地を送って押え金を支えることで、布地が重なった厚い部分を縫うことができます。

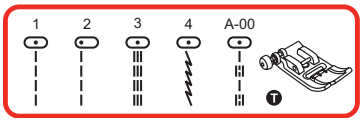


A　厚紙または厚い布地

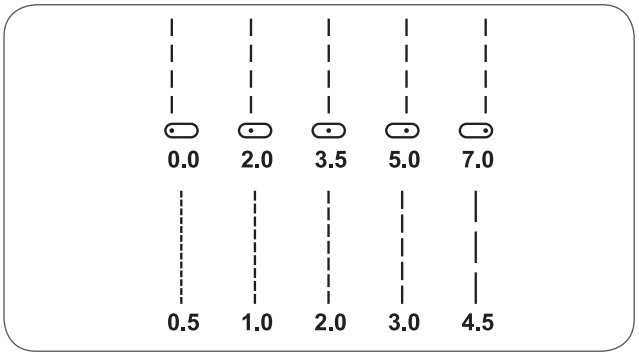
直線縫いと針基線について

針基線を変更する

この設定は、ダイレクトグループ1−4番、グループA00番のステッチパターンにのみ有効です。
針基線の初期設定は、中央« 3.5» です。



- 振り幅調節ボタンを押して、振り幅調節モードを開きます。
  - 選択ホイールを反時計回りに回すと、針基線は左側に移動します。
  - 選択ホイールを時計回りに回すと、針基線は右側に移動します。



送り長さの調節

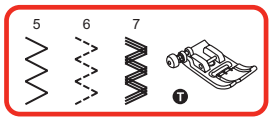
- 送り長さ調節ボタンを押して、送り長さ調節モードを開きます。
  - 選択ホイールを反時計回りに回すと、送り長さは短くなります。
  - 選択ホイールを時計回りに回すと、送り長さは長くなります。

一般的に、厚手の布地、太い糸と針を使用する場合には送り長さも長くします。

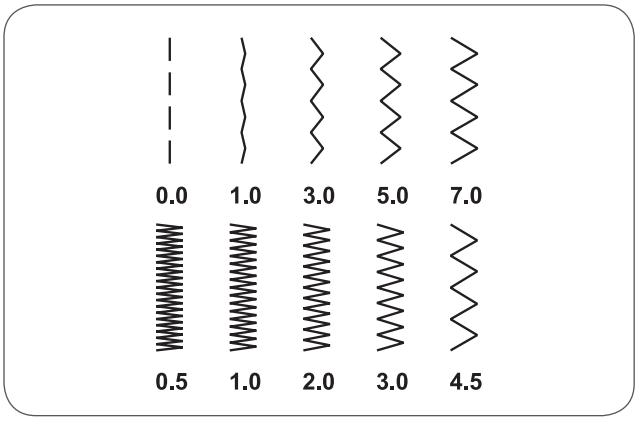
ジグザグステッチ

振り幅の調節

ジグザグ縫いの最大振り幅は«7.0»です；すべてのステッチパターンで振り幅を調節することができます。



- 振り幅調節ボタンを押して、振り幅調節モードを開きます。
  - 振り幅は«0.0 ～7.0 mm» の間で調節ができます。

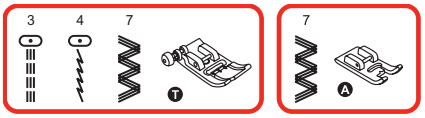


送り長さの調節

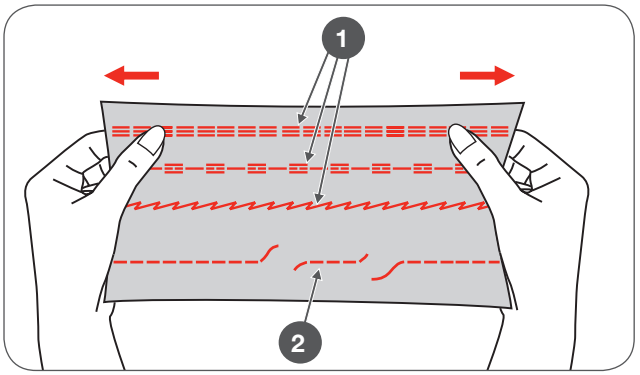
ジグザグ縫いのステッチは、送り長さ«0.3» で一番目が詰まった状態になります。
送り長さを«1.0 ～ 2.5»の間で設定すると、きれいなジグザグ縫いをすることができます。目の詰まったジグザグ縫いはサテンステッチのようになります。

伸縮直線縫い

伸縮直線縫いは丈夫で伸縮性があり、持久性のあるステッチです。
伸縮性のある布地や、ニット地、またデニム地等の厚い布地にも適しています。
このステッチは飾り用のトップステッチにも適しています。

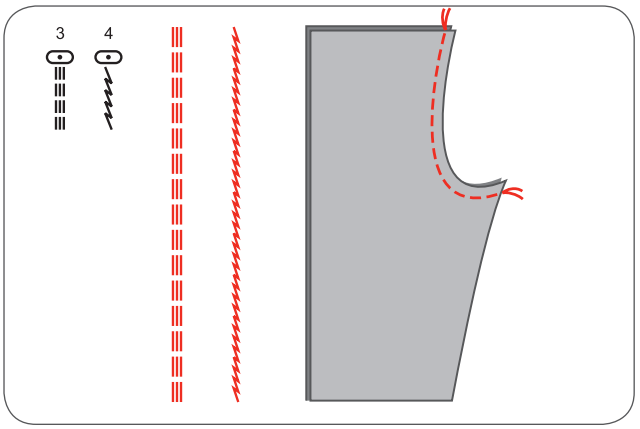


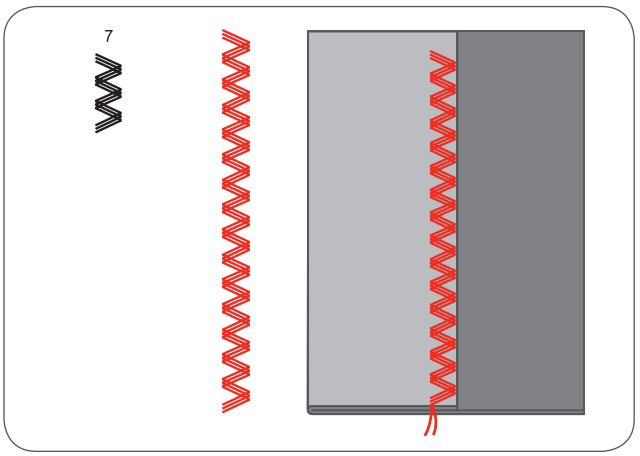
この伸縮直線縫いは、伸縮したり、強い負荷のかかる部分を三重に縫うことで補強します。



1　伸縮直線縫い
2　直線縫い

三重ジグザグ縫いは、デニム地、ポプリン、キャンバス地などに適しています。

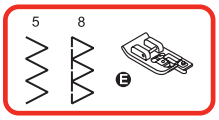




オーバーロックステッチ

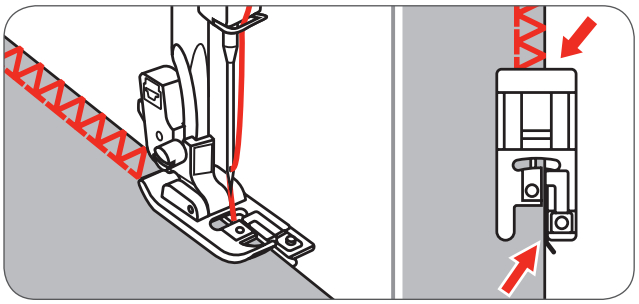
オーバーロック押え(E) を取り付けます。

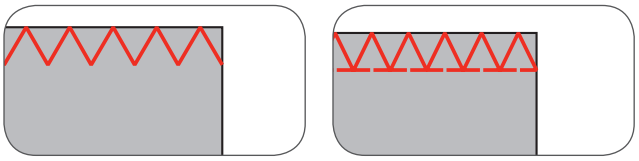
オーバーロック押えのガイドに沿って布端が縫われます。



注意!

オーバーロック押えはダイレクトグループ5および8のステッチパターンのみに使用してください。その際振り幅を«5.0» 以下にはしないようにしてください。その他のステッチパターンを縫ったり、振り幅を小さくしすぎると、針が押え金に当たって折れてしまう恐れがあります。

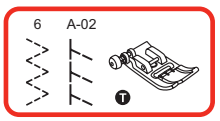


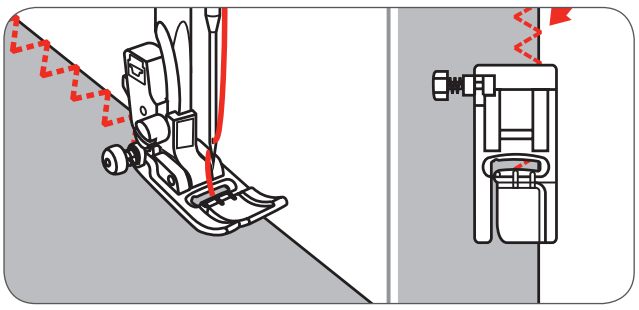


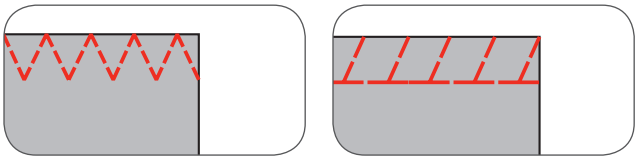
ジグザグ縫い押えの使い方

ジグザグ縫い押え(T)を取り付けます。

ジグザグ縫いでオーバーロックをする場合、針が布端の右端に刺さるように縫ってください。

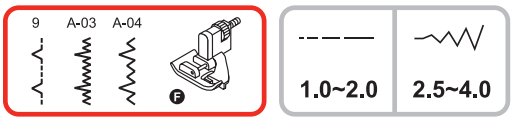






まつり縫い

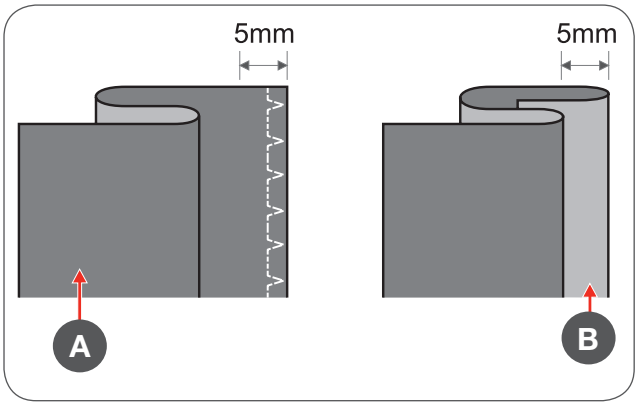
9　　：硬い布地のまつり縫い／ランジェリー等に
A-03　：伸縮性のある布地のまつり縫いに
A-04　：伸縮性のある布地のまつり縫いに



布地を図のように裏側が上を向くように折ります。
左図のように、まず最初にオーバーロックステッチをかけます。

ご注意ください。

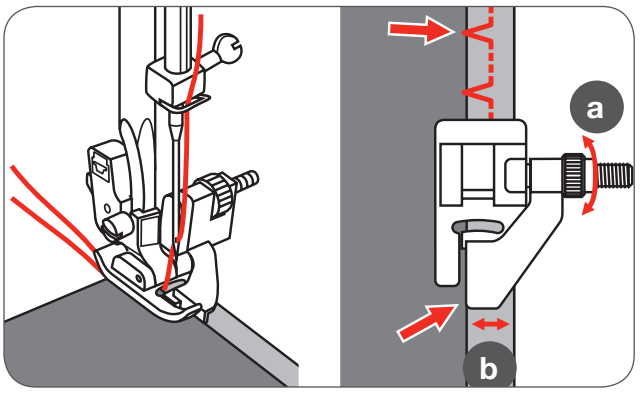
まつり縫いには慣れが必要です。必ず最初に試し縫いをしてください。



- 布地を押え金の下にセットします。
- はずみ車を手で回し、針を一番左へ動かします。
  - 針がちょうど布地の折れ目部分に刺さるように調節します。
- 針が布地に刺さらない場合は振り幅を調節してください。

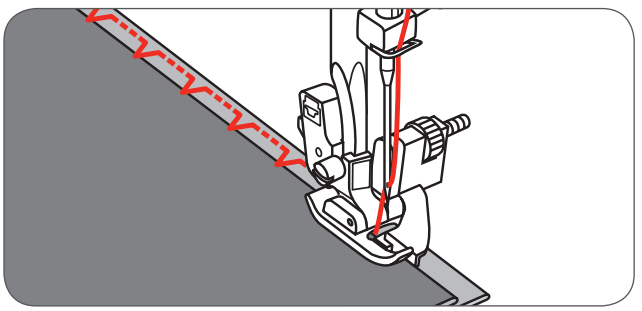
- つまみ(a)を回して、ガイド　(b)を調節し、ガイドが折り目に沿うようにします。

- 布地をガイドに沿わせるようにして、ゆっくりと縫います。

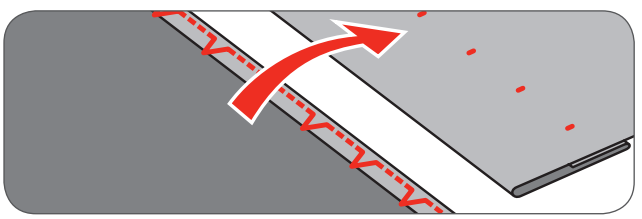


A　裏
B　表側

- 布地をガイドに沿わせるようにして、ゆっくりと縫います。

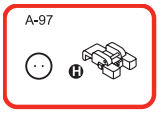


- 布地を返します。



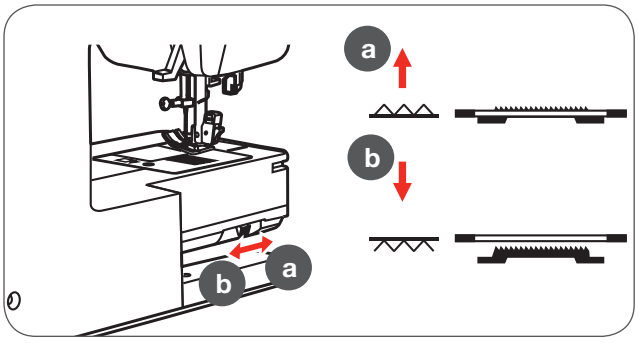
ボタンの縫い付け

ボタン付け押えをセットします。



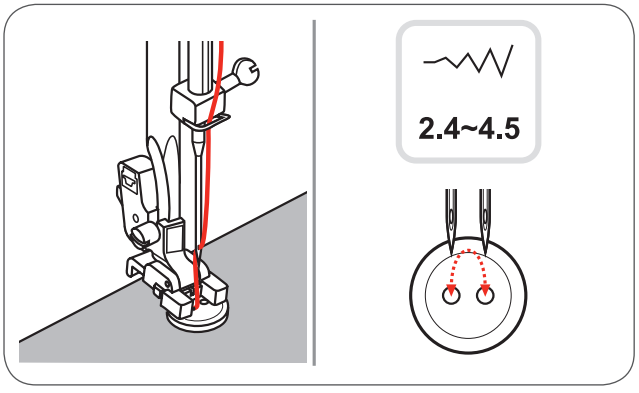
- ドロップレバーを動かし、送り歯を下げます。

- 布地を押え金の下にセットします。
- ボタンを縫い付けたい場所において、押え金を下げます。

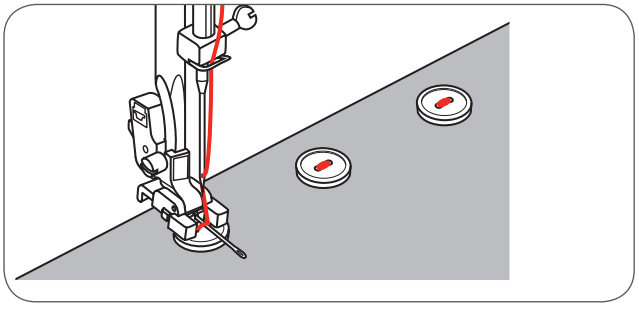


- ジグザグ縫いを選択します。
- 振り幅をボタン穴の位置に合わせて、«2.5～4.5» の間でセットします。

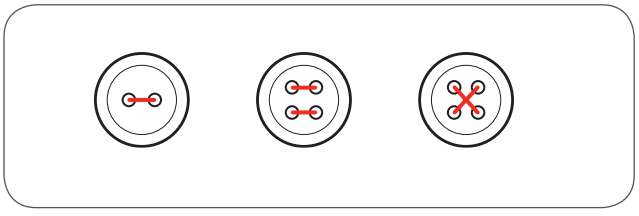
- はずみ車を回し針が左右のボタン穴に通ることを確認します。
- 縫い始める前にオートロックボタンを押すと、自動的に縫い始めと縫い終わりを止め縫いします。



- 糸足を作りたい場合には、まち針等をボタンの上において、その上を縫います。



- 4つ穴ボタンを縫い付ける場合、最初に手前の2つの穴を縫います。その後布地を手前に引いて、奥の2つの穴を縫います。

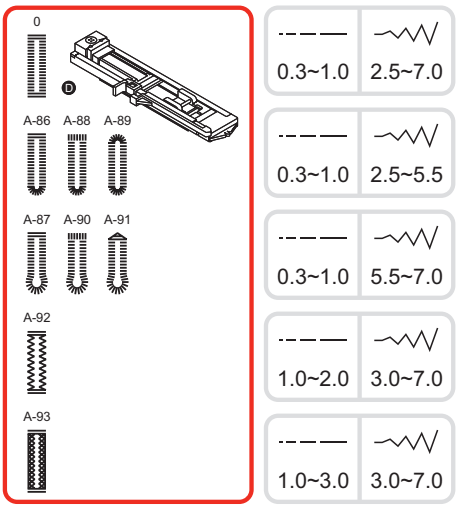


ご注意ください。

続けて通常のソーイングに移る場合は、ドロップレバーを(a)の位置へ動かし、送り歯を上げます。

ボタンホール

0　　：薄手～中厚地用
A-86：薄手～中厚地用
A-87：スーツまたはアウター用
A-88：厚地の横向きボタンホール用
A-89：薄手～中厚地用
A-90：厚地のコート用
A-91：デニム地用
A-92：目の粗いデニム地またはストレッチ素材用
A-93：ストレッチ素材用

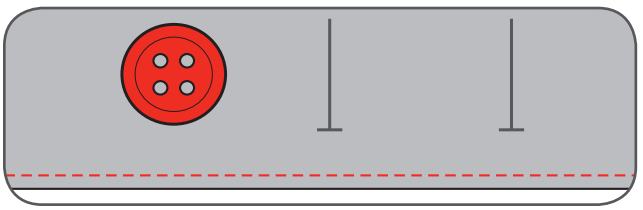


ご注意ください。

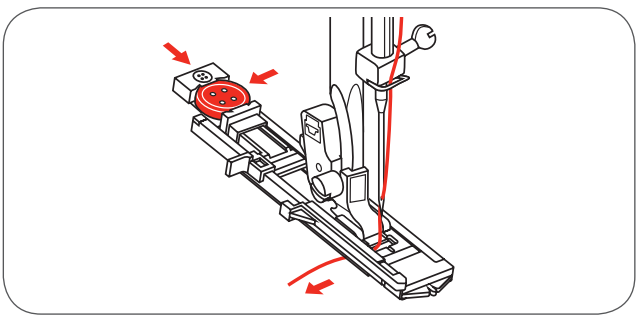
作品にボタンホールを縫う前に、必ず同じ布地の切れ端で試し縫いをしてください。

- 布地にボタンホールの位置を印付けします。

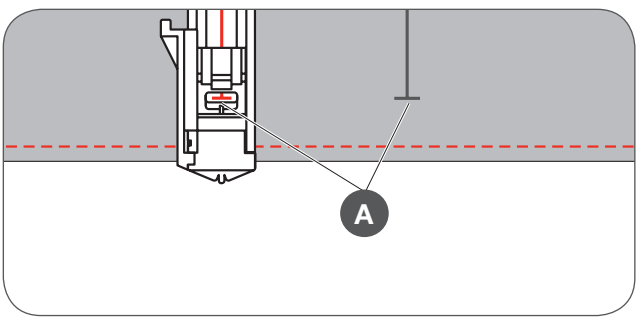
ボタンホールのサイズは、最長で3cm(1 3/16 インチ)です。(ボタンの直径+ボタンの厚み)



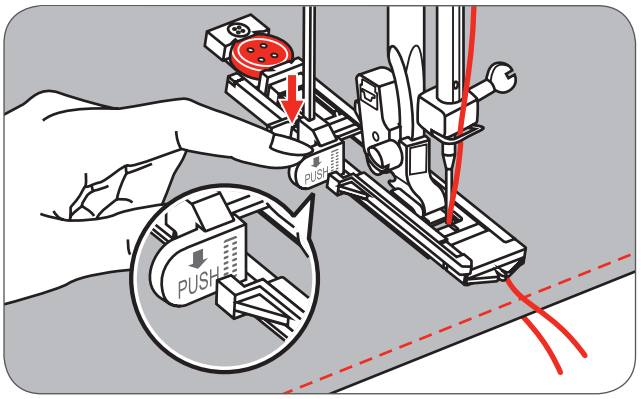
- ボタンホール押えを取り付け、ボタンホルダーを引き出して、ボタンを乗せます。
- ボタンホールの大きさは、ボタンホルダーに入れたボタンのサイズに合わせて決定されます。
- 糸はボタンホール押え金の穴に通してから、下へ引き出します。



- ボタンホールステッチを選択します。
- 必要な幅と目の密度に合わせて、振り幅と送り長さを調節します。

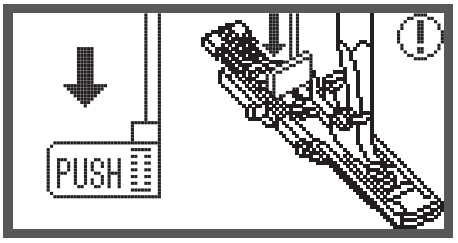


- ボタンホールの中心線が、ボタンホール押えの中心と合うように、布地をセットします。
- ボタンホールレバーを下げます。

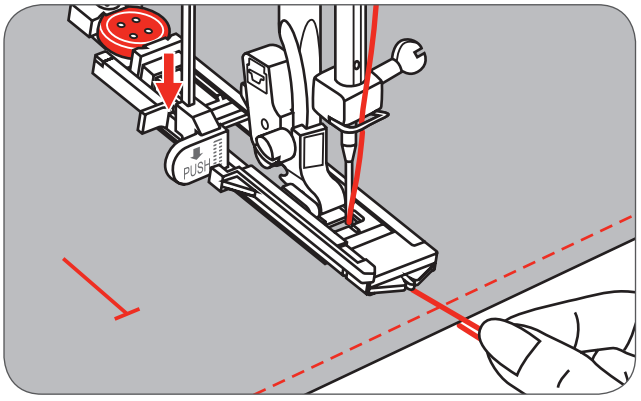


ご注意ください。

ボタンホールレバーを下げずにボタンホールステッチを選択し、スタート／ストップボタンを押した場合には、画面にエラー表示がされます。

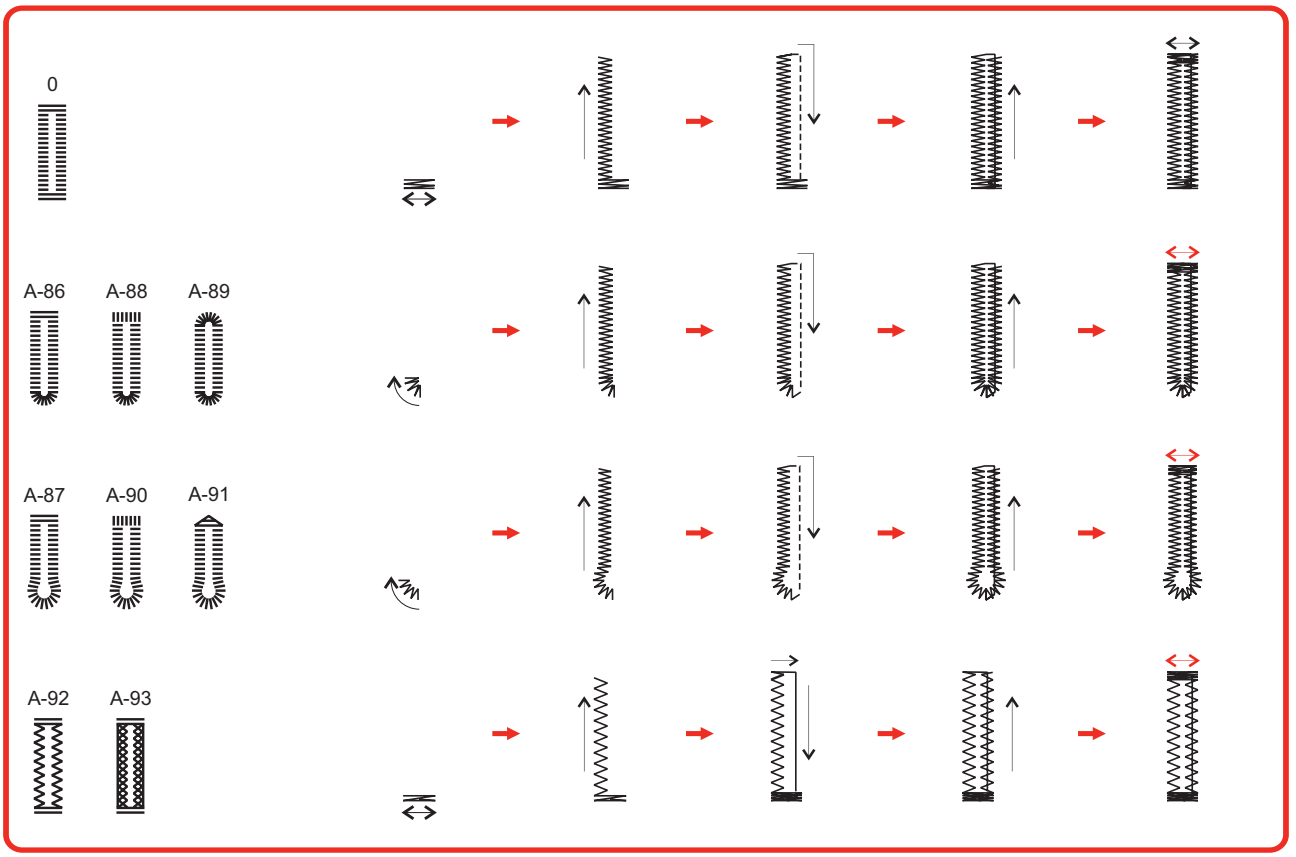


- 縫い始めの際に、上糸を軽く押えてください。



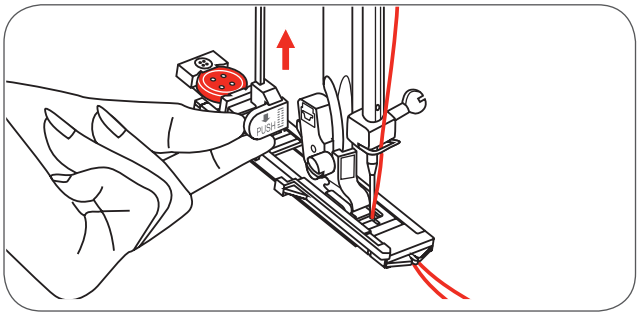
ご注意ください。

布地は手でゆっくりと送ってください。ミシンはボタンホールを縫い終わった後、自動的に止め縫いをします。



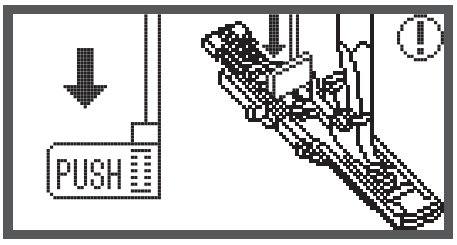
ボタンホールは図のように手前から奥へ向かって縫います。

- 押え金を上げて、糸を切ります。
- 同じボタンホールの上からもう一度縫う場合には、押え金を上げます。(押え金は元の位置に戻ります。)
- ボタンホールを縫い終わったら、ボタンホールレバーを上まで押し上げます。

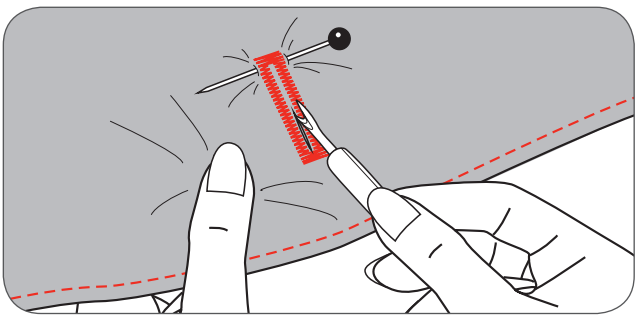


ご注意ください。

ボタンホールを縫い終わった後に、ボタンホールレバーが下がったまま、その他のステッチ(その他のボタンホール、バータックまたはつくろい縫い)を選択し、スタート／ストップボタンを押すと、画面にエラー表示がされます。



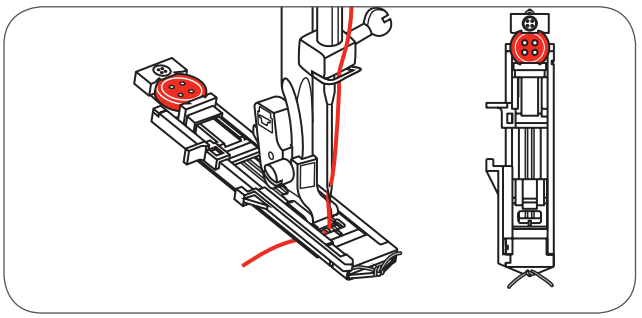
- ボタンホールの中央を、ステッチを切らないように気をつけながら、切り開きます。
- まち針をストッパーとして使用すると、切りすぎを防ぐことができます。



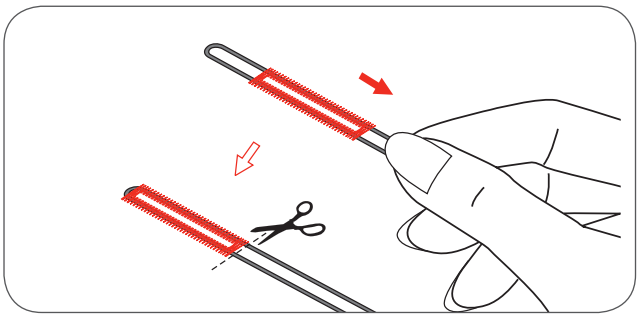
ストレッチ素材にボタンホールを縫う

ストレッチ素材にボタンホールを縫う場合には、太い糸または芯糸をボタンホール押えの下に入れます。

- ボタンホール押えを取り付けて、芯糸を押え金の奥の端に引っ掛けます。



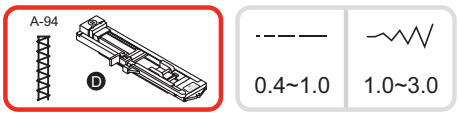
- 糸の両端を手前に持ってきて、押え金の溝に収め、軽く結びます。縫い始める前に、押え金を下げます。
- 芯糸の太さに合わせて、振り幅を調節します。.
- 縫い終わったら、芯糸を軽く引っ張り、余分な糸を切ります。



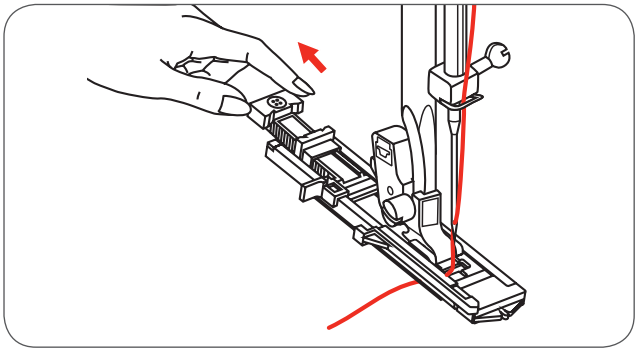
ご注意ください。

布地の裏に芯地を当てることをおすすめします。

バータックステッチ

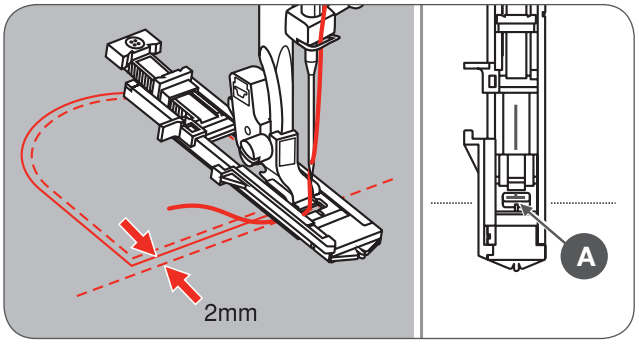


- ボタンガイドプレートをバータックの長さに調節します。
- 振り幅と送り長さを必要に応じて調節します。

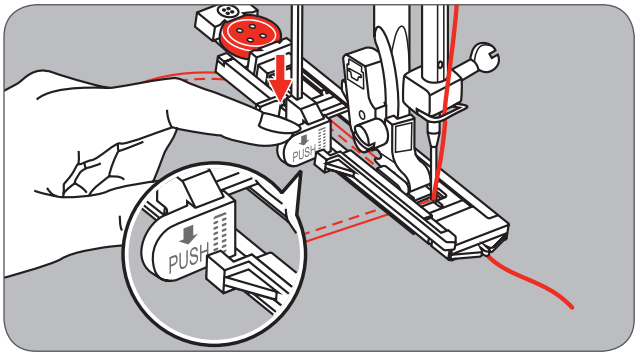


- 針がポケットの開口部の2mm(1/16 インチ) 手前に来るように、布地をセットします。押え上げを下げます。

A スタート地点

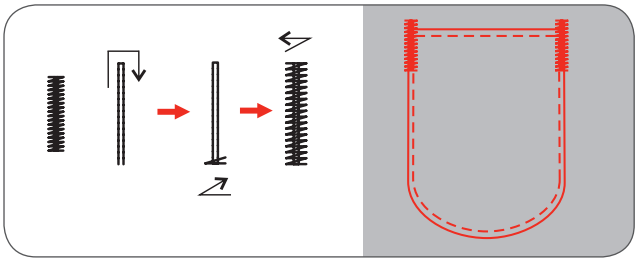


- 上糸を押え金の穴に通します。
- ボタンホールレバーを下げ、上糸を押えの後ろへ出します。
- 縫い始めに上糸を軽く押えてください。



バータックの縫い方は図のとおりです。

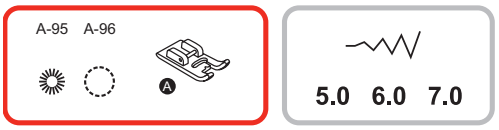
これはポケットの角のバータックの例です。



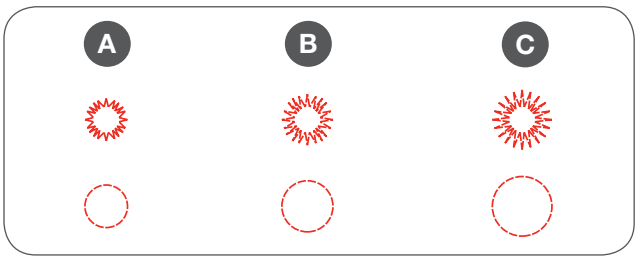
アイレットステッチ

*このミシンにアイレットパンチは 付属していません。

ステッチパターン60番のアイレットステッチを選択します。
サテンステッチ押え(A) を取り付けます。



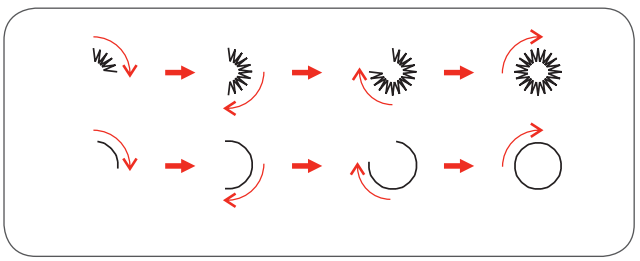
- 振り幅調節ボタンの«-» または«+» を押して、アイレットのサイズを選択します。



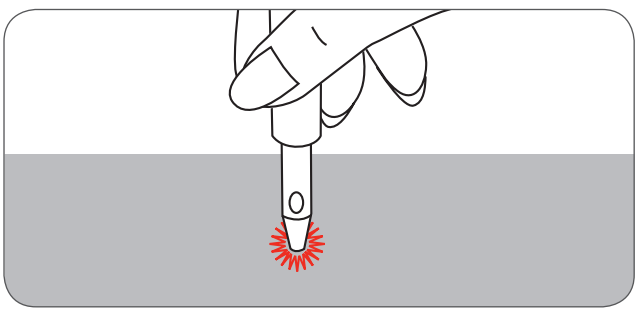
アイレットのサイズ:

A 小: 5.0mm (3/16インチ).
B 中: 6.0mm (15/64インチ).
C 大: 7.0mm (1/4インチ).

- 縫い始めに針を布地に刺してから押え金を下げます。
  – アイレットを縫い終わると、ミシンは自動的に数針留め縫いをして、停止します。



- アイレットパンチまたは目打ちを使用して、アイレットの真ん中に穴を開けます。

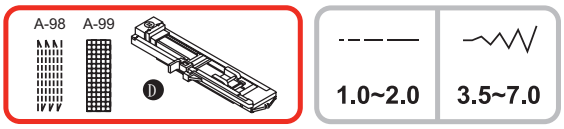


ご注意ください。

細い糸を使用すると、ステッチの目が粗くなる場合があります。そのような場合には、アイレットを二重に縫ってください。

ダーニング（つくろい縫い）

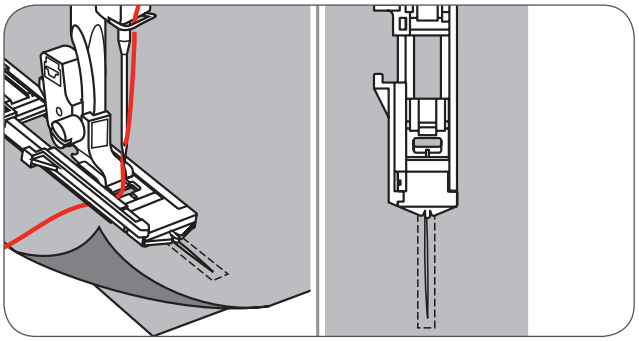
A-98: 薄手～中厚地用のシンプルなダーニングステッチ
A-99: 厚地用の補強ダーニングステッチ



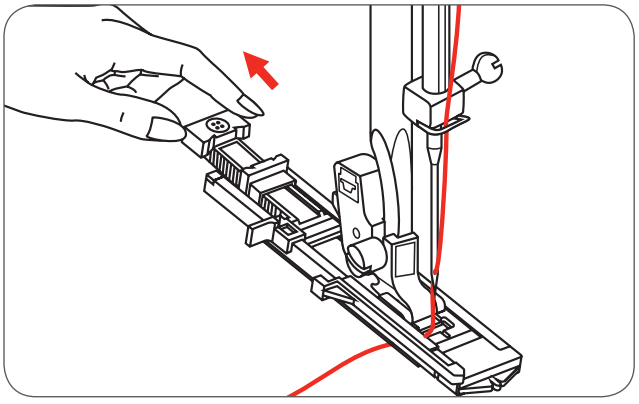
- グループAの98番または99番のダーニングステッチ（つくろい縫い）を選択します。
- ボタンホール押えを取り付けます。

布地と当て布をしつけ縫いします。

- 針基線を選択します。
- 押え金を縫う部分の中心に下げます。

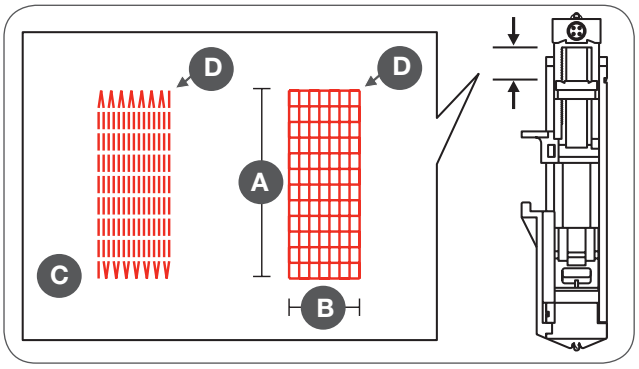


- ボタンホルダーを後ろへ引き出します。
- ボタンホール押えのボタンガイドプレートを縫う長さに合わせます。

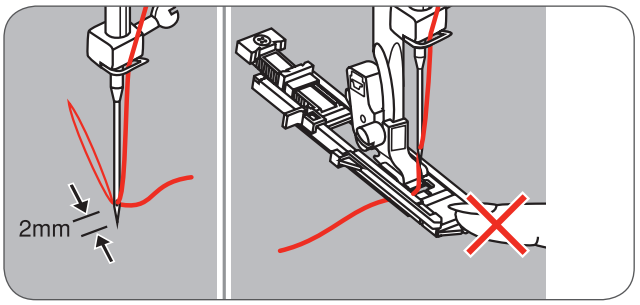


ダーニングステッチのサイズは色々選択することができます。
最大送り長さは2.6cm（1インチ）、最大振り幅は7mm（9/32インチ）です。

A　縫う部分の長さ
B　縫う部分の幅
C　始め
D　終わり



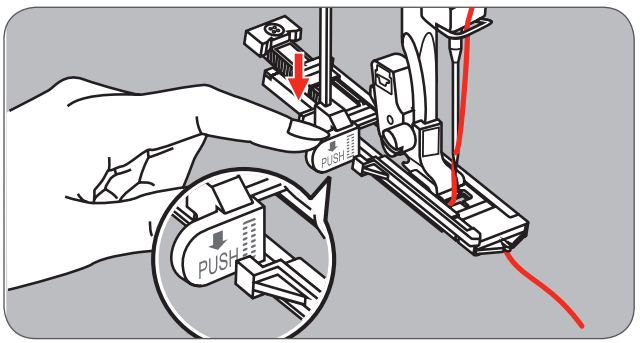
針が縫う部分より2mm（1/16インチ）手前に来るように布地をセットし、押え金を下げます。



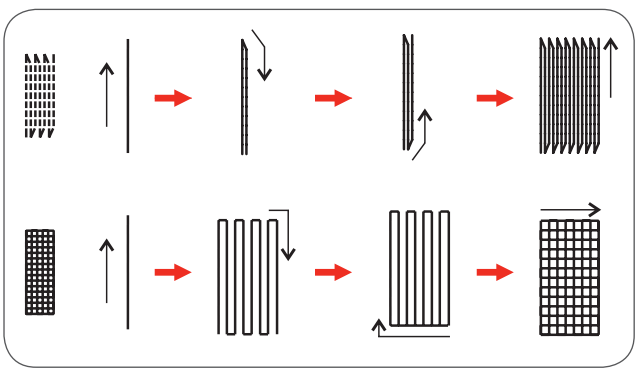
ご注意ください。

押え金を下げるときに、押えの前の部分を押し込まないように注意してください。ダーニングのサイズに間違いが生じてしまいます。

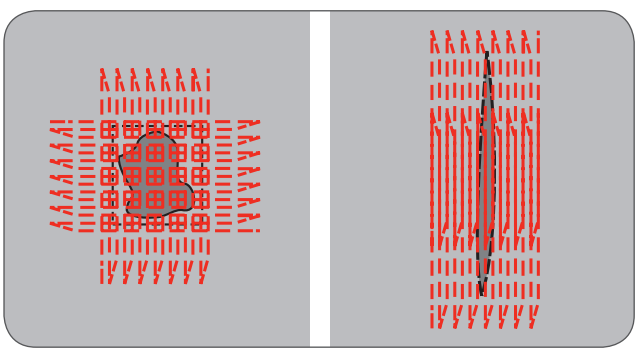
- 上糸を押え金の穴に通します。
- ボタンホールレバーを押します。
- ボタンホールレバーはボタンホール押えの留め金の後ろにあります。
- 縫い始める前に上糸を軽く押えます。



ダーニングステッチは、図のように、押え金の手前側から奥に向かって縫われます。



- 縫う範囲が広い場合には、
  - 数回重ねて縫う（または斜めに縫う）ことをおすすめします。



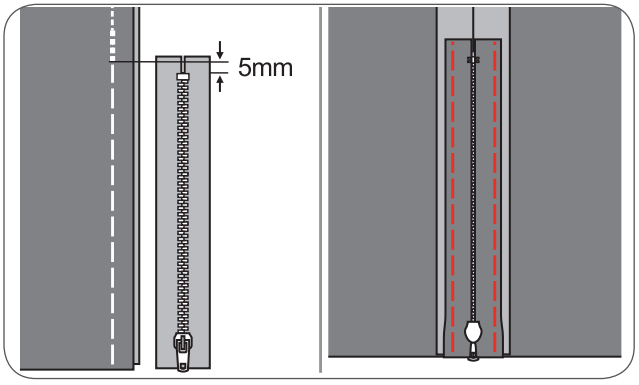
ファスナーを縫い付ける*

注意!

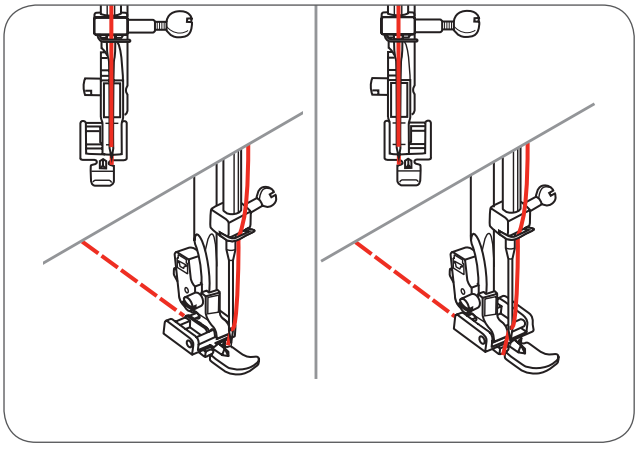
ファスナー押えは針基線が中央の直線縫いのみに使用してください。その他のステッチパターンを使用すると、針が押え金に当たって折れることがあります。

ファスナーを中央に縫い付ける。

ファスナーをつける場所をしつけ縫いします。



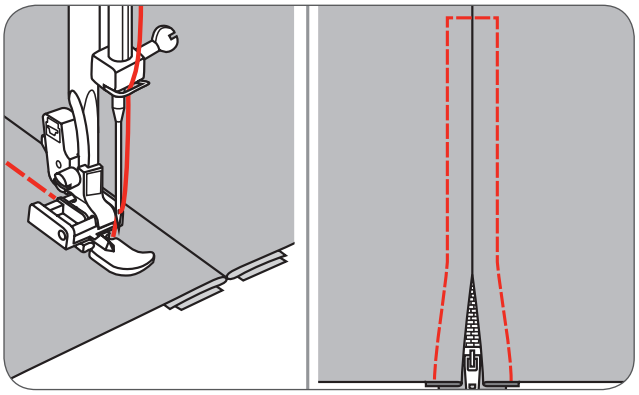
- 縫い代を開きます。
- ファスナーを裏返しにし、歯の部分がファスナー取り付け部のスリットの中央に来るように布地の上に置きます。
- ファスナー本体をしつけます。



- ファスナー押えを取り付けます。
- ファスナーの左側を縫うときは、押え金のピンの右側をホルダーに取り付けます。
- ファスナーの右側を縫うときは、押え金のピンの左側をホルダーに取り付けます。

ファスナーの左側を上から下へ縫います。

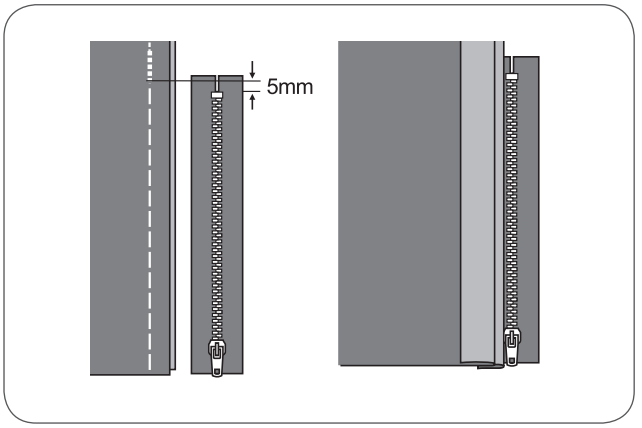
- ファスナーの下端部分を縫い、続けてファスナーの右側を縫います。
- しつけ糸を取り除き、ファスナーを閉めます。



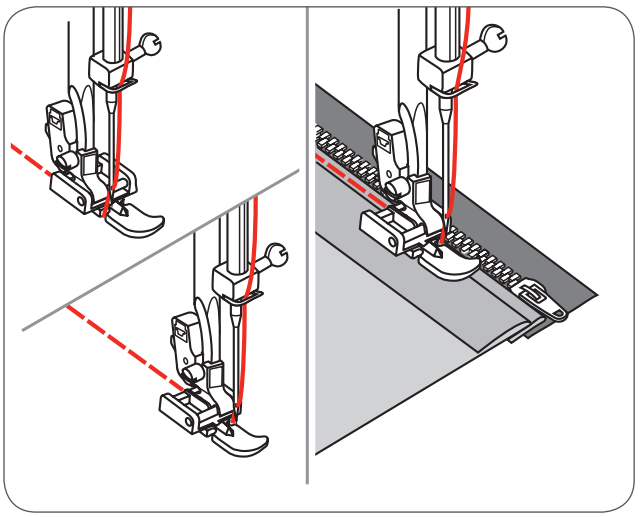
ファスナーを脇に縫い付ける

ファスナーをつける場所をしつけ縫いします。

- 左側の縫い代を後ろへ折り返します。
- 右側の縫い代を左側より3mm広くして、折り返します。

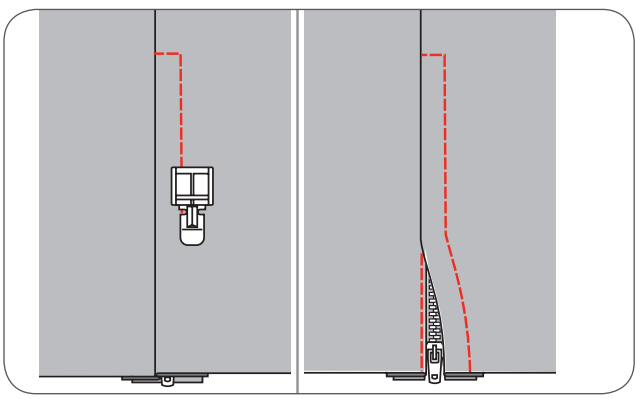


- ファスナー押えを取り付けます。
- ファスナーの左側を縫うときは、押え金のピンの右側をホルダーに取り付けます。
- ファスナーの右側を縫うときは、押え金のピンの左側をホルダーに取り付けます。



ファスナーの左側を上から下へ縫います。

- 布地を表に返します。ファスナーの下端部分を縫い、続けて右側を縫います。
- ファスナーを5cm（2 インチ）程度残して、いったん止めます。
- しつけ糸を取り除き、ファスナーを開きます。
- 残りの部分を縫い付けます。

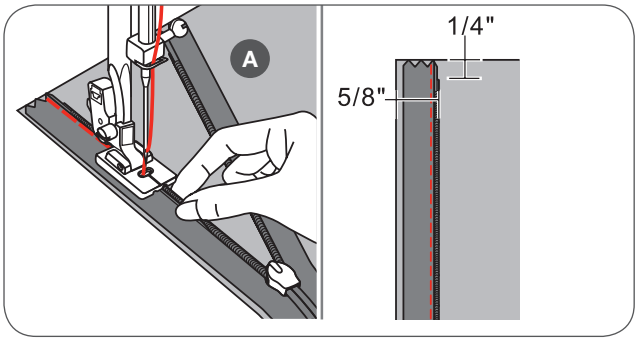


コンシールファスナーを縫い付ける

*コンシールファスナー用押えは別売りのオプションアクセサリーです。このミシンには付属されていません。

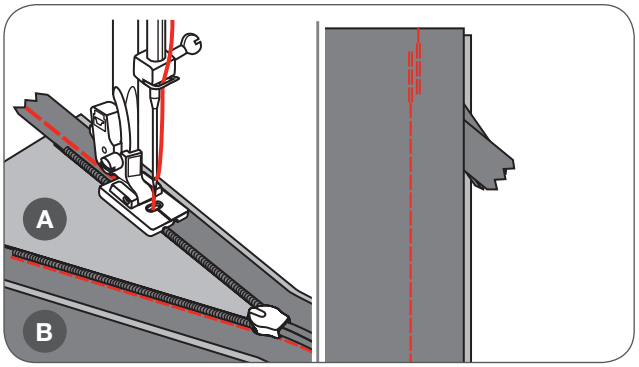
コンシールファスナー用押えを使用して、ファスナーを表側から見えないように取り付けることができます。

- コンシールファスナー用押えを取り付けます。
- 針基線を調節し、直線縫いを選択します。
  - 送り長さは布地によって
- 1.0～3.0mmにセットします。
- ファスナーを開き、裏返して、図のように布地の表側に置きます。
- 布端は、針板の5/8インチの印に合わせます。
- ファスナーを布地の端から約6mmのところへ合わせます。
- 押え金の右側の溝がファスナーの歯の上を通るように合わせ、ムシ部分までファスナーに沿って縫います。
- 布地をミシンから外します。



もう片方の布端を、図のように針板の5/8インチの印にあわせます。
押え金の左側の溝がファスナーの歯の上を通るように合わせ、ムシ部分までファスナーに沿って縫います。

- ファスナーを閉じます。
- 図のようにファスナーが右側にはみ出すように布地を折ります。
- まち針で布地をとめます。
- 標準の押え金を取り付け、直線縫いでできるだけファスナーの近くを縫います。
- 最後に前後に数針ずつ返し縫いをして、止めます。

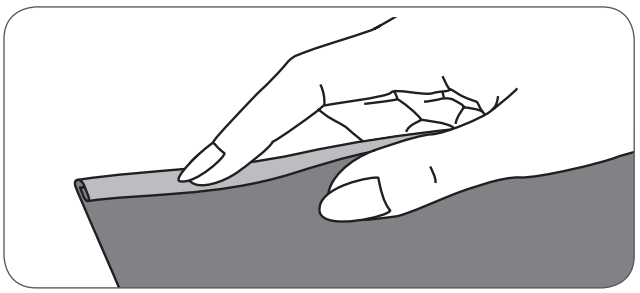


A　裏
B　表側

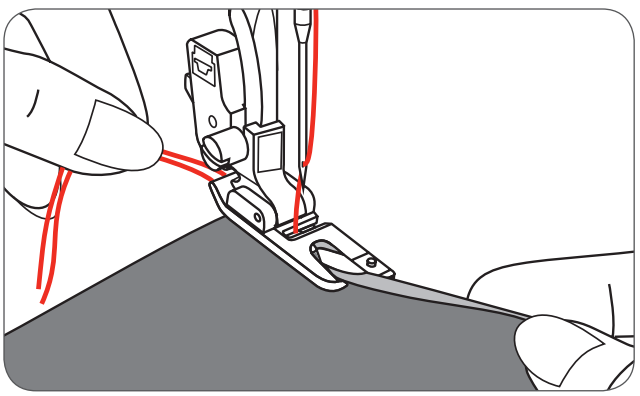
幅の狭い巻き縫い

*巻き縫い押えは別売りのオプションアクセサリーです。このミシンには付属されていません。

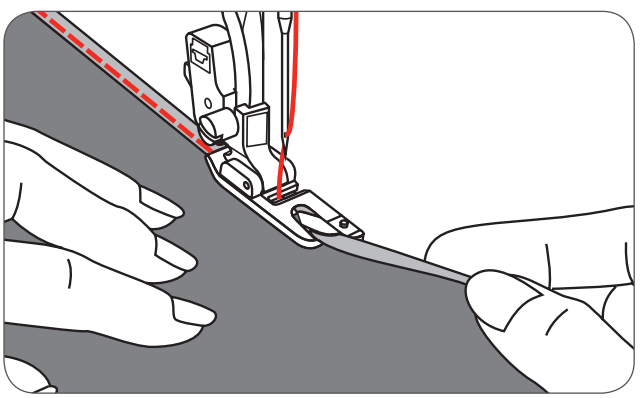
- 布の端を約3mm幅で、5cm程度のところまで二重に折り返します。



- はずみ車を（手前に）回し、針を内側の折り目ぎりぎりに刺し、押え金を下ろします。
- 数針縫った後、押え金を上げます。
- 巻き縫い押えの溝に折った布端を挿入します。
- 布端が巻いた形になるまで、布地を前後に数回引きます。



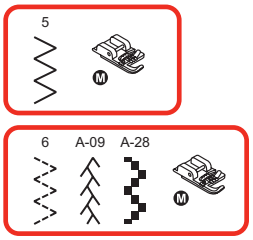
- 押え金を下ろし、ゆっくり縫い始めます。布端を押え金の溝に均等に入れていきます。



コーディング

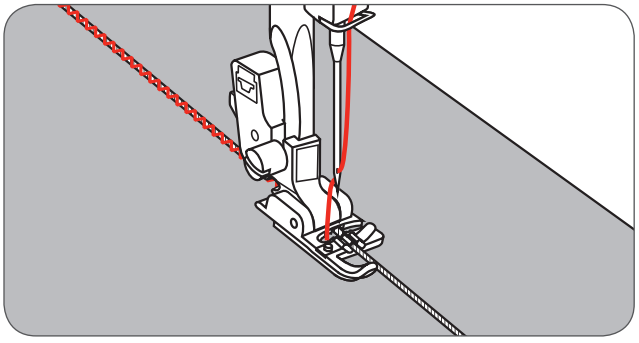
*コーディング押えは別売りのオプションアクセサリーです。このミシンには付属されていません。

コーディングをすると、ジャケットやベストなどにきれいな模様を縫ったり、三本取りにして、飾り縫いをすることができます。パールコットン、メリヤス糸、刺しゅう糸、紐や細い毛糸などが使用できます。



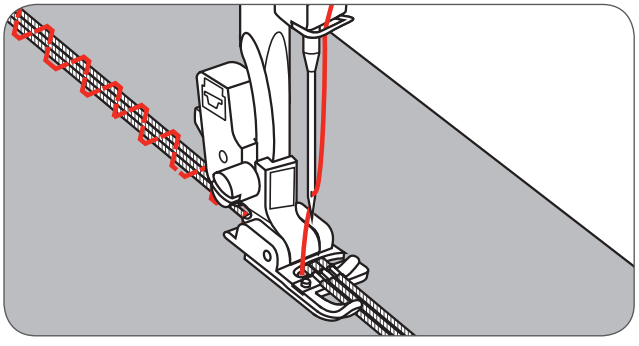
一本取りのコーディング

- 布地にデザインを描きます。コードを押え金の右側の穴から、中央の溝に通します。
- コードを5cm(2インチ)ほど、押え金の後ろへ引き出します。
- 押え金の下の溝は、コードの上を縫うときに、コードの位置を正しく調節する役割をします。
- ステッチパターンを選択し、コードが隠れるように、振り幅を調節します。
- 押え金を下げて、コードをデザインの上に誘導しながら縫います。

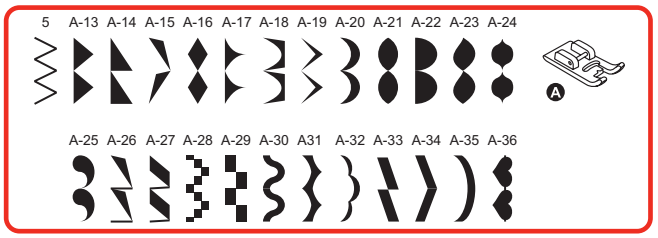


三本取りのコーディング

- 縫い糸を左に寄せて、3本のコードを押え金の溝に入れます。
- それぞれのコードを5cmほど、押え金の後ろに引き出します。
- ステッチパターンを選択し、コードが隠れるように、振り幅を調節します。
- 押え金を下げ、コードをゆっくりと誘導しながら縫います。

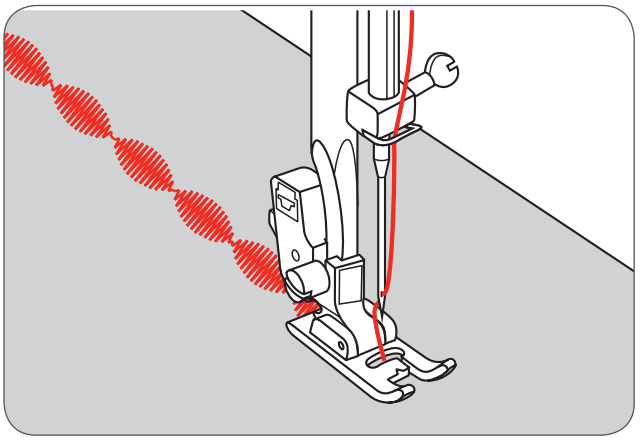


サテンステッチ



0.3~2.0	2.5~7.0

サテンステッチおよび飾り縫いには、サテンステッチ押えを使用します。押え金の底に隙間が開いており、ステッチの厚みのある部分を楽に押さえ、布を均に送ることができるようになっています。目の詰まったジグザグ縫いをすると、ステッチに厚みが出ます。



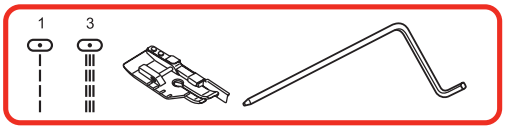
- サテンステッチまたは飾り縫いをする際には、送り長さや振り幅を（送り長さ調節ボタン、振り幅調節ボタンを押して）用途に応じて調節します。
  - お好みのステッチができるように、布の切れ端を利用して、送り長さや振り幅の調節をしてください。

ご注意ください。

薄地を縫う場合には、布地の裏に芯地を当てて縫うことをおすすめします。

キルティング

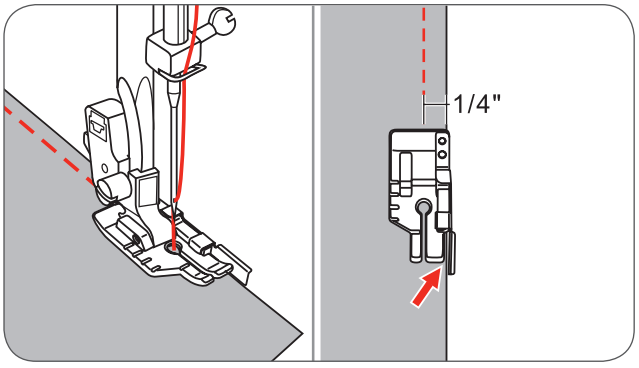
＊ 1/4インチ(8mm)パッチワーク押えは別売りのオプションアクセサリーです。このミシンには付属されていません。



1.0~3.0	3.5

パッチワークを縫う

布地の端を押え金のガイドの内側の端に合わせます。布端から正確に1/4インチ(8mm)の幅で縫うことができます。



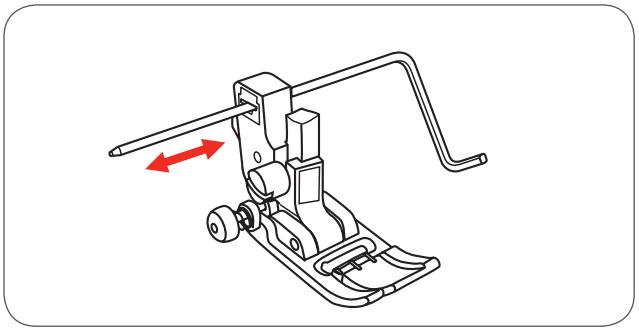
ご注意ください。

針基線が中央の直線縫いにのみ使用できます。

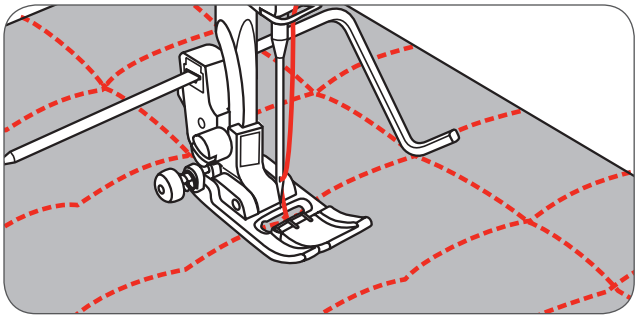
押え金の内側部分が正確なシームガイドになります。1/8インチ(4mm)
押え金には、針の前後に1/4インチ(8mm)の印が付いています。コーナー部分を正確に回す為に使用します。

シーム／キルティングガイドの使い方

- シーム／キルティングガイドを図のように押え金ホルダーに差し込んで、必要な幅に調節します。



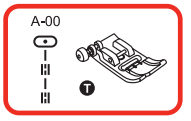
- 最初の一列を縫ったら、その目にガイドが合うように布をセットし、次の列を縫います

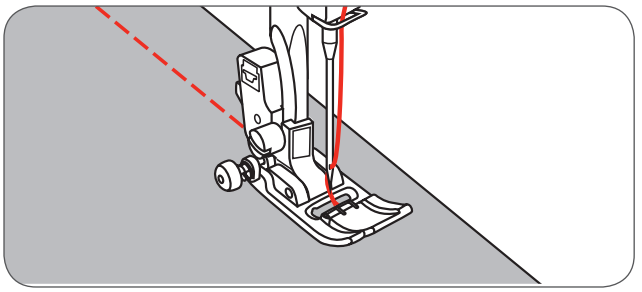


手縫い風キルティング

上糸に透明糸、下糸に30番または40番の木綿糸を使用して、上糸の調子を強めると、手縫い風のキルティングステッチを縫うことができます。

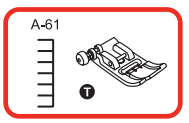
糸調子は、キルト芯の厚みに応じて決めます。

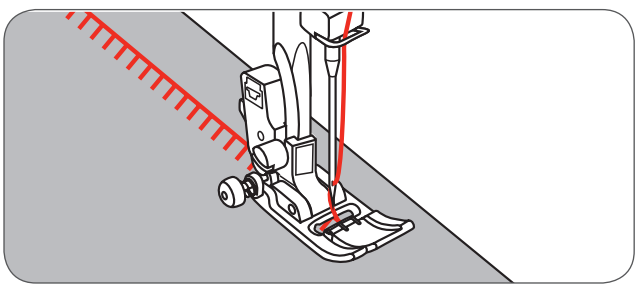




ブランケットステッチ（キルティングアップリケ）

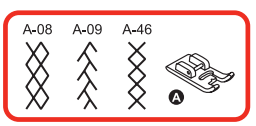
布地、作品の種類を問わず、使用できます。

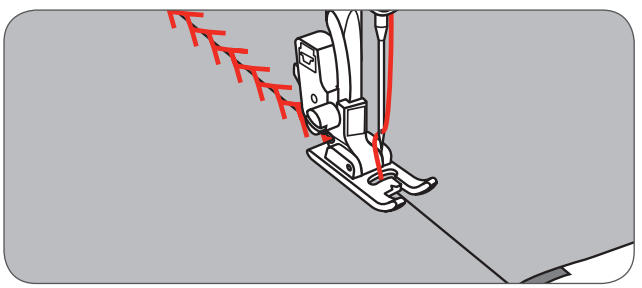




パッチワークを縫う

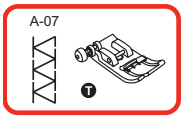
- 2枚の布地を中表に合わせて、直線縫いをします。
- 縫い代を開いて平らにします。布地の表側が上に来るようにセットします。
- 押え金の中心を2枚の布地の縫い目に合わせて、縫い目の上を縫っていきます。





ファゴティング

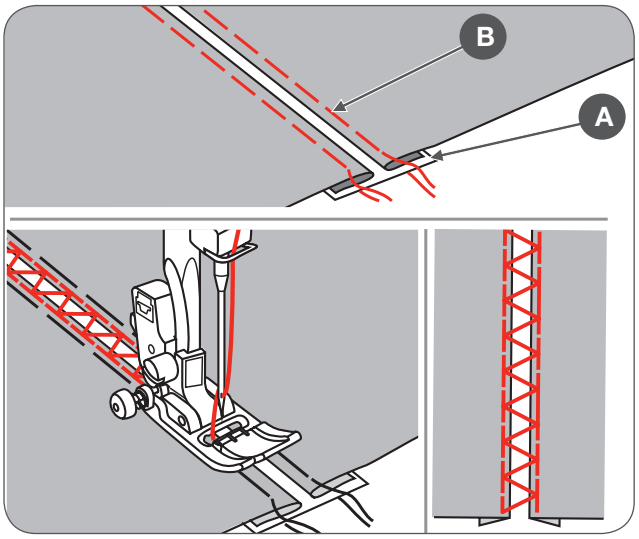
端を折り込んだ2枚の布地を4mm(1/8インチ) ほどの間をあけて並べ、薄い紙または水溶性の安定紙の上にしつけ縫いします。



押え金の中心を、布の間の中央に合わせて縫います。

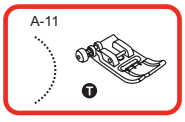
縫い終わったら、紙を取り外します。

A　薄い紙
B　しつけ縫い

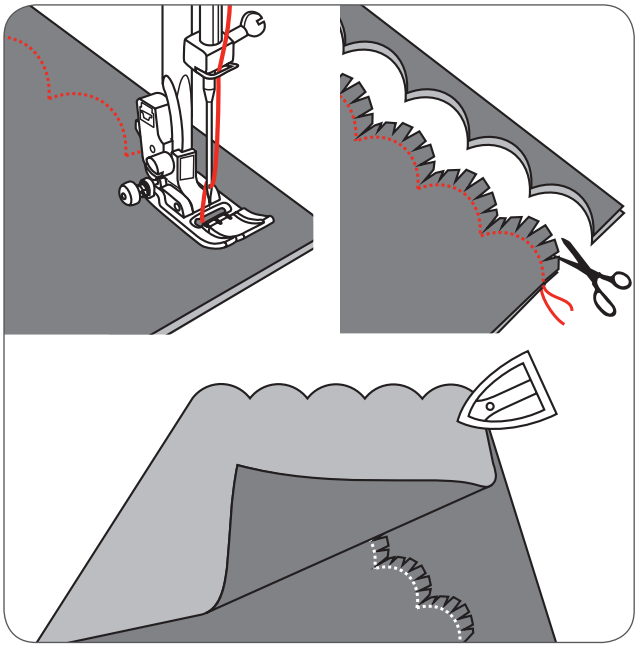


スカラップステッチ(布端)

- 布端に沿って縫っていきます。その際布端を超えて縫わないように注意してください。
  - 縫う前にスプレー糊をかけ、アイロンで伸ばしておくと、きれいに仕上がります。



- 余分な布をステッチに沿って切り落とします。
- ステッチを切ってしまわないように注意してください。

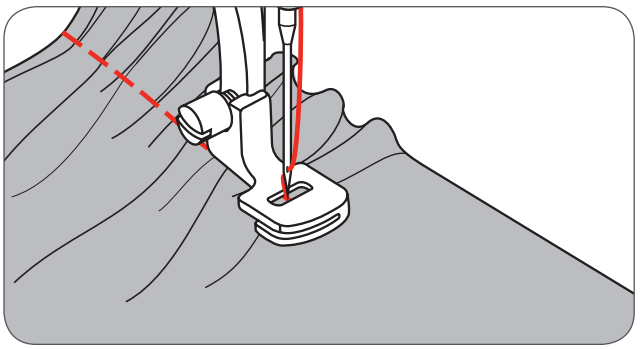


ギャザリング

*ギャザリング押えは別売りのオプションアクセサリーです。このミシンには付属していません。

ギャザーを寄せた布地

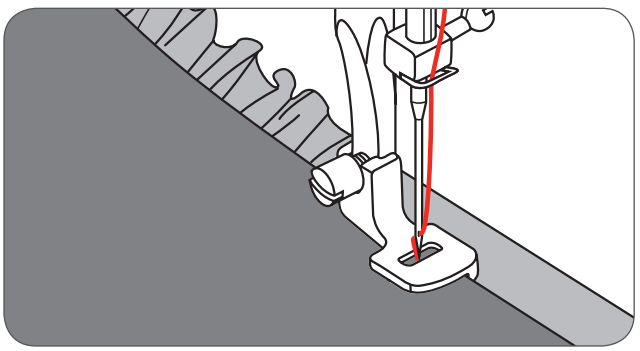
- 押え金ホルダーを外し、ギャザリング押えを取り付けます。糸調子は2以下に設定します。
- ギャザーを寄せたい布地を押え金の右下へセットします。
- 布端を押え金の右端に合わせながら、縫っていきます。
  - 布地に自動的にギャザーが寄ります。
  - 薄地～中厚地の布地に使用できます。

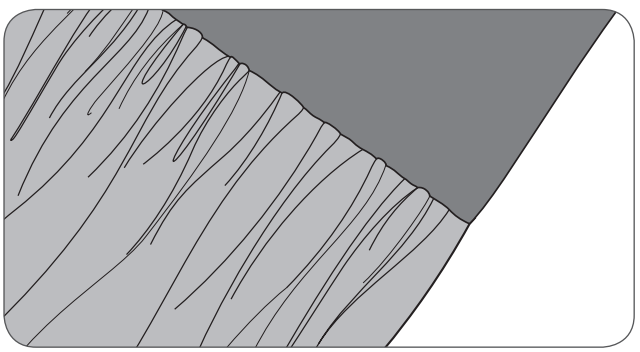


布地にギャザーを寄せると同時に、他の布地に縫い付ける

ギャザリング押えの下側に水平な溝があります。
この溝を使用すると、重なった2枚の布地の下の布地にギャザーを寄せると同時に、上の布地に縫い付けることができます。(例:ワンピースのウエスト部分等に)

- 押え金ホルダーを取り外し、ギャザリング押えを取り付けます。
- ギャザーを寄せたい布地を表を上にして押え金の下へセットします。
- 上の布地の裏を上にして、押え金の溝に差し込みます。
- 図のように2枚の布を縫い合わせていきます。

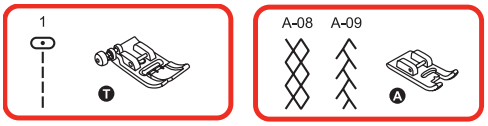




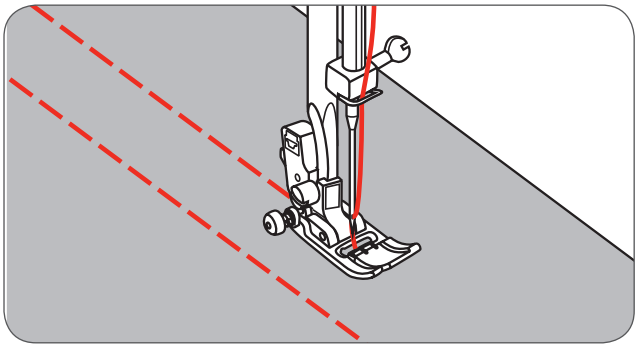
ご注意ください。

ギャザーの試し縫いするときには、布地、縁布、ゴムなどに10インチ(25cm)の余裕を持たせてください。これだけの余裕があると、実寸法に対してにどのくらいの布地が必要になるかわかりやすくなります。試し縫いの際には、必ず作品と同じ布地を同じ布目で使用してください。横地でギャザーを寄せる方が、縦地で寄せるよりもきれいに仕上がります。きれいにギャザーを寄せるためには、遅～中くらいのスピードで縫ってください。

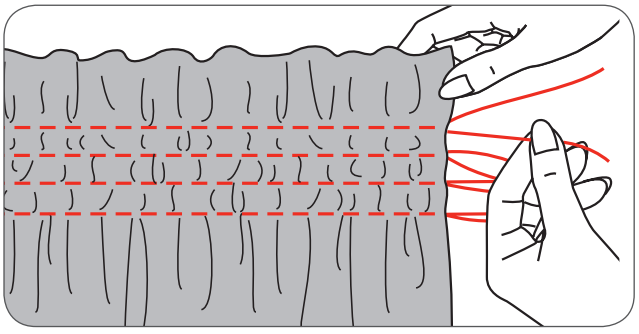
スモッキング



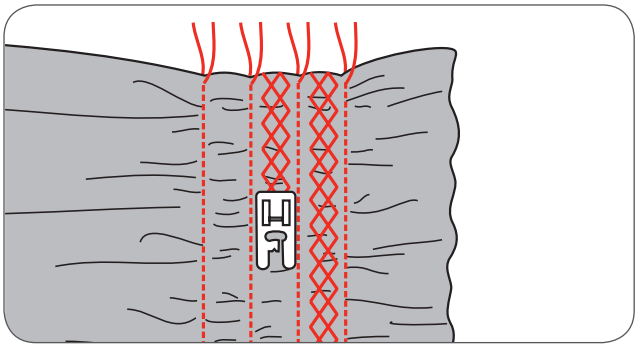
- 送り長さを4mmに設定し、糸調子を緩めます
- ジグザグ縫い押えを使用し、スモッキングをしたい部分の上を1cm（3/8 インチ）の間隔で直線縫いします。



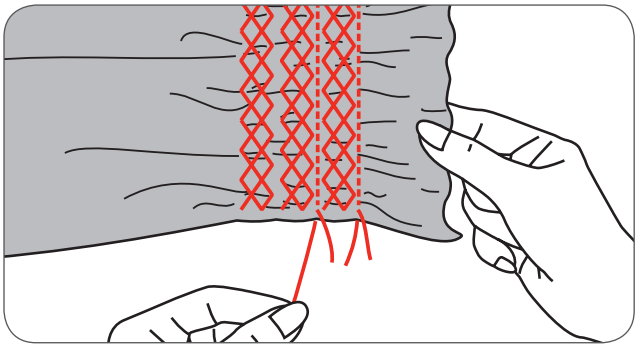
- 片方の糸端を結びます。
- 下糸を引いて、ギャザーを均等に寄せます。もう片方の糸端を結びます。



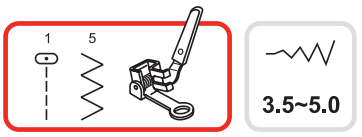
- 必要に応じて糸調子を緩め、縫い目の間に飾り縫いをします。



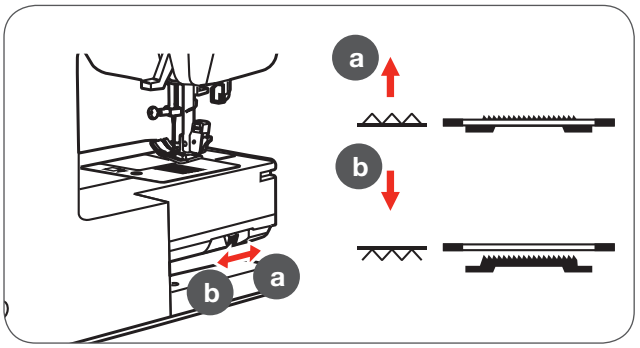
- ギャザリングステッチを引き抜きます。



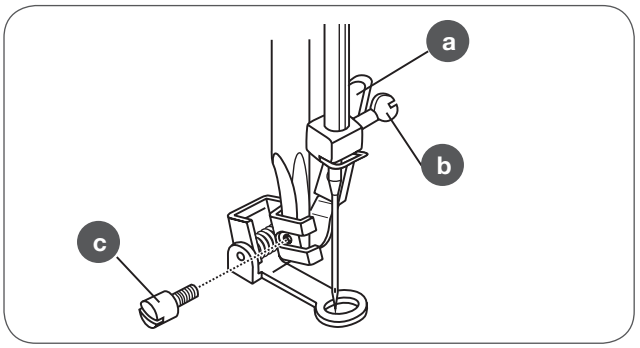
フリーモーションダーニング（つくろい縫い）、刺しゅう、モノグラミング



- 送り歯のドロップレバーを(b)へ動かして、送り歯を下げます。

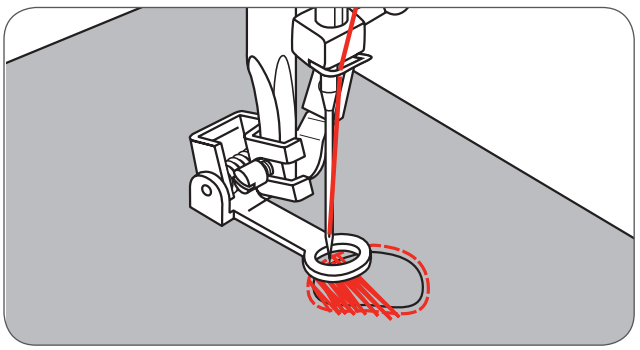


- 押え金ホルダーを取り外して、つくろい縫い押えを直接押え棒に取り付けます。
- レバー(a)が、針止めネジ(b)　の後に来るようにセットします。つくろい縫い押さえを後ろから人差し指で強く押し込んで、ネジ(c) を締めます。



ダーニング（つくろい縫い）

- まず始めに穴の周りを縫います。(ほつれを補強するため)
- 左から右へ、穴の上をバランスよく、むらのないように縫っていきます。
- 布地を90度回転させて、ステッチが重ならないように、また離れすぎないように、最初に縫ったステッチの上ゆっくりとを縫っていきます。

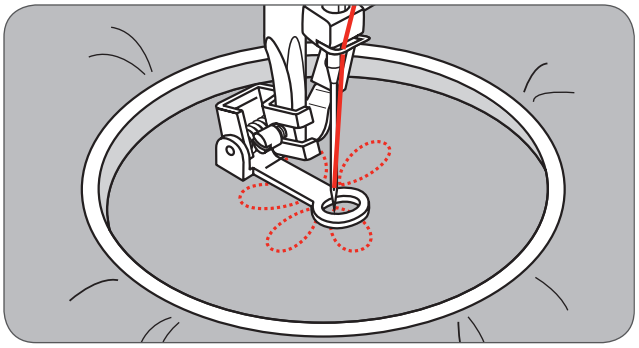


ご注意ください。

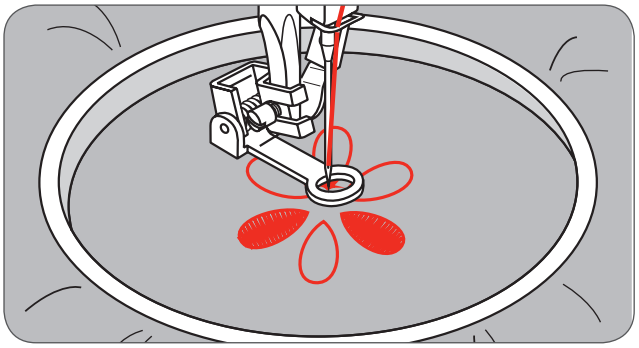
フリーモーションダーニングでは、送り歯を使用しません。布地は縫う方の加減で動かします。ミシンのスピードと、布地の動きを合わせるようにしてください。

*刺しゅう枠はこのミシンには付属していません。

刺しゅうをする



- ジグザグ縫いを選択し、振り幅をお好みの幅に調節します。
- 刺しゅうモチーフのアウトラインに沿って、刺しゅう枠を動かしながら縫っていきます。
  - 一定のソーイングスピードを保つようにしてください。

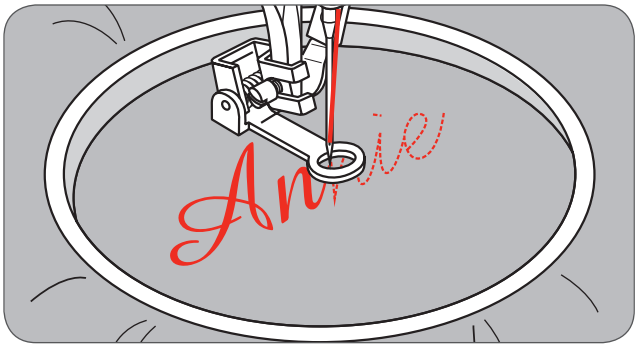


- アウトラインから内側に向けて、モチーフの内側を埋めていきます。
  - ステッチの間隔をつめて縫います。

刺しゅう枠を速く動かすと、ステッチが長くなり、ゆっくり動かすと、短くなります。

- モチーフが完成したら、オートロックボタンを押して、止め縫いをします。

モノグラミング

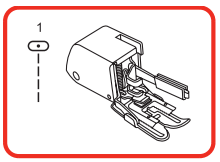


- ジグザグ縫いを選択し、振り幅をお好みの幅に調節します。
- 刺しゅう枠を文字のデザインに沿って、ゆっくりと動かしながら、一定のスピードで縫います。

- 文字が完成したら、オートロックボタンを押して、止め縫いをします。

ウォーキング押え

*ウォーキング押えは別売りのオプションアクセサリーです。このミシンには付属していません。



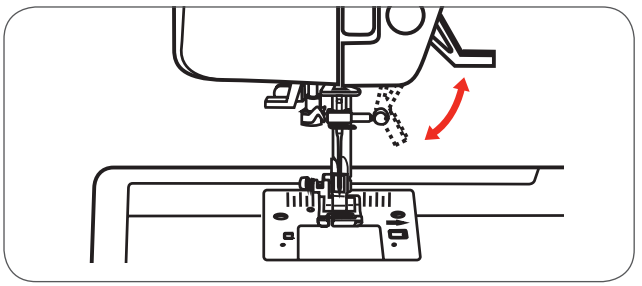
まず最初に、ウォーキング押えを使わずに縫ってみます。どうしても必要な場合にのみ使用してください。

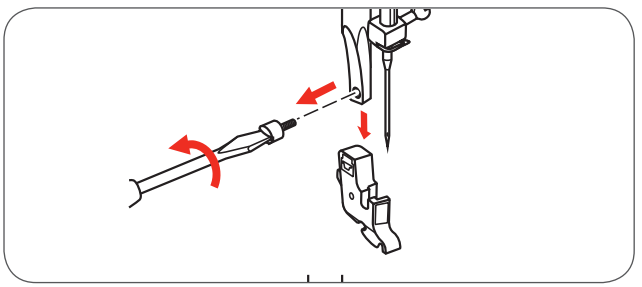
通常、標準押えを使用したほうが、布地のコントロールやステッチの確認がしやすくなっています。

このミシンではデリケートなシフォン素材から、何重にも重なったデニム生地まで、様々な種類の布地をきれいに縫うことができます。

ウォーキング押えは、上下の布地の送りを均一にするので、チェック柄やストライプ等の模様合わせに便利です。またデリケートな布地を縫う際の、送りのばらつきを防ぐことができます。

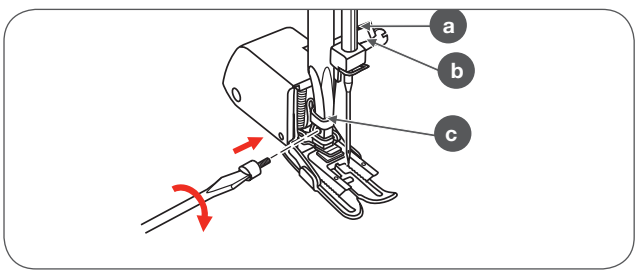
- 押え上げを上げ、押え棒を上げます。
- 押え棒のネジを反時計回りに回し、押え金ホルダーを取り外します。

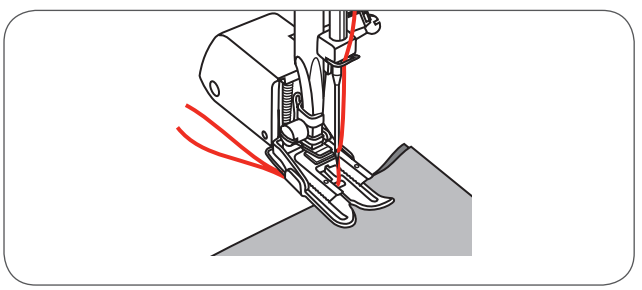




ウォーキング押えを以下の要領で取り付けます。

- アーム(a) は針止めネジと留め金(b) の上に合わせます。
- プラスチックの取り付けヘッド(c)　を、左から右へスライドさせ、押え棒に取り付けます。
- 押え棒を下げます。
- 押え金取り付けネジを時計回りに締めて固定します。
- 針止めネジと、押え金取り付けネジの両方がしっかりと締まっていることを確認してください。
- 下糸を引き上げて、上糸と一緒にウォーキング押えの後ろに引き出します。.





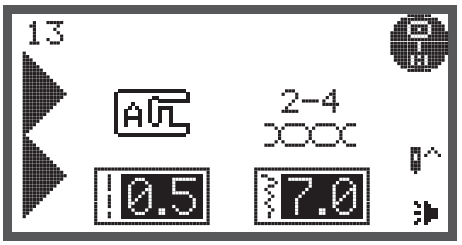
ステッチパターンの反転

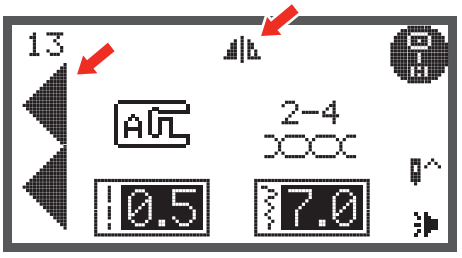
ご注意ください。

ダイレクトグループの0番とグループAの86～99番のステッチパターンは反転することができません。

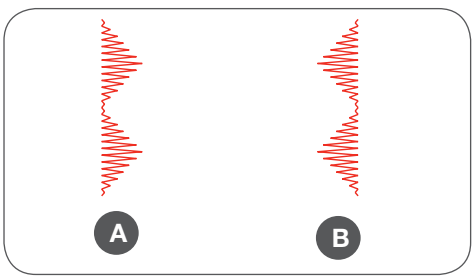
- 使用したいステッチパターンを選択します。
- 反転ボタンを押します。
  - 画面に反転の表示がされます。

ミシンは、反転ボタンをもう一度押すか、その他のステッチパターンを選択するまで、現在選択されているステッチパターンを反転させて縫います。

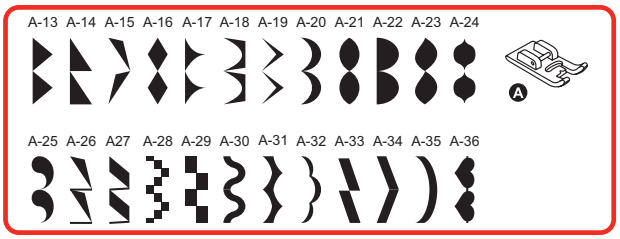




A　通常のステッチパターンを縫う
B　反転させたステッチパターンを縫う

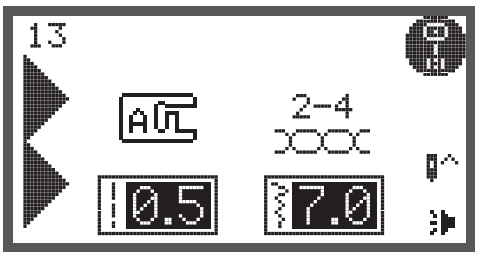


引き伸ばし

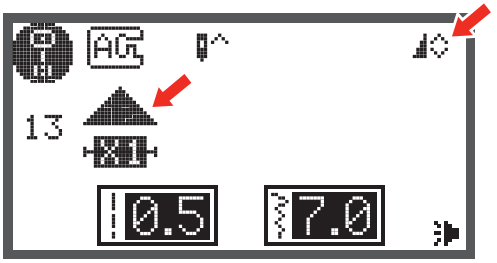


ステッチパターンを通常の5倍まで引き伸ばすことができます。その際に引き伸ばしボタンを押します。

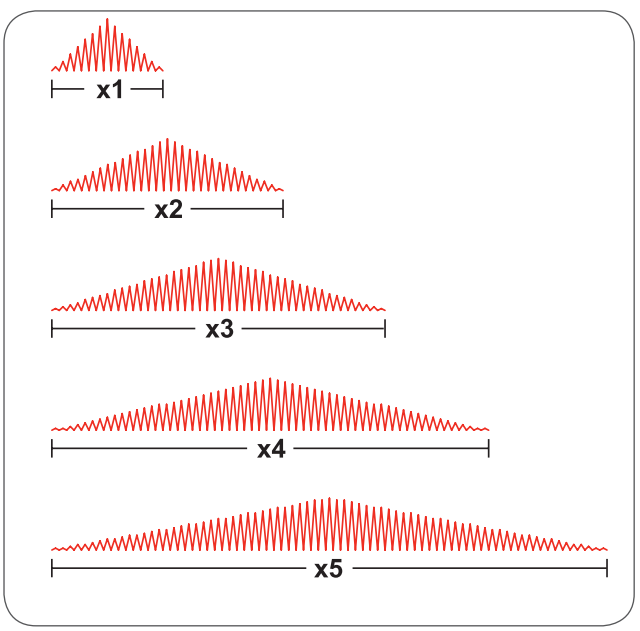
- 使用したいステッチパターンを選択します。



- 引き伸ばしボタンを押します。
  - 画面に引き伸ばしの表示がされます。
- 引き伸ばしボタンを数回押して、必要な長さを設定します。
- ミシンは、引き伸ばしボタンをもう一度押すか、その他のステッチパターンを選択するまで、現在のステッチパターンを選択した長さで縫い続けます。



振り幅または送り長さを変更することによって、多彩なステッチパターンを縫うことができます。



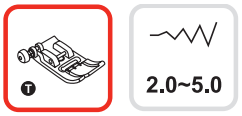
ご注意ください。

グループAの13～36番のステッチパターンは引き伸ばしと反転を同時にすることができます。

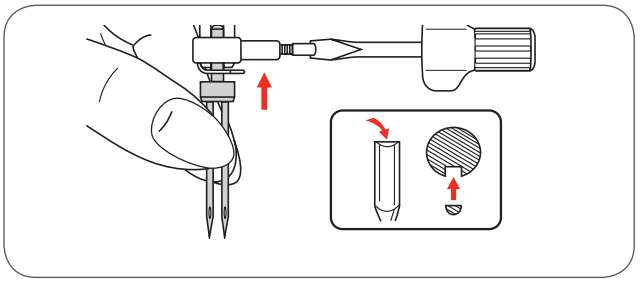
二本針を使用して縫う

ご注意ください。

二本針は別売りのオプションアクセサリーです。このミシンには付属していません。



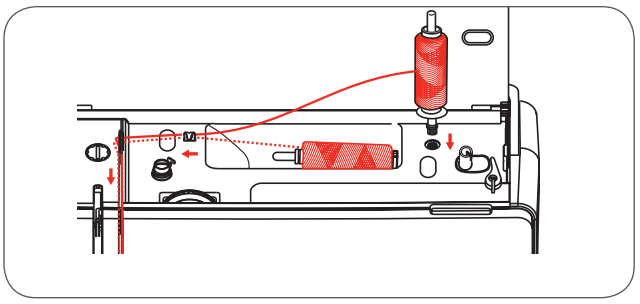
- 二本針をセットします。

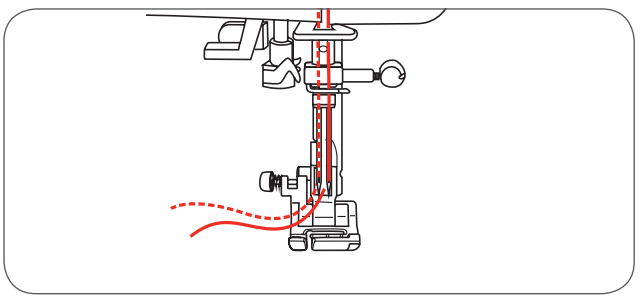


注意!

二本針を使用する場合には、必ずジグザグ縫い押えを使用してください。

- 二本針は、最大2mm幅までのものを使用してください。(例:バーネット 部品番号 502020.62.91).
- 水平糸立て棒に糸をセットし、一本針と同じ要領で上糸をセットします。
- 左の針に糸を通します。
- 追加の糸立て棒(付属品)をミシンの上の糸立て棒用の穴にセットします。)
- 同様に上糸をセットします。その際、針元糸ガイドに糸を通すのを忘れないようにし、右の針に糸を通します。.
- それぞれの針には別々の糸を通します。

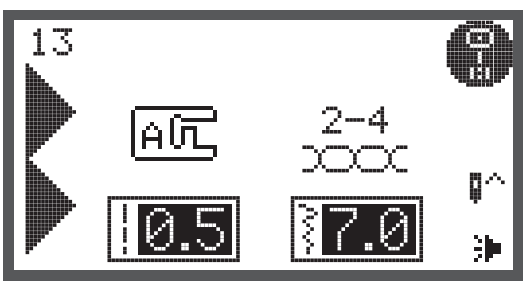




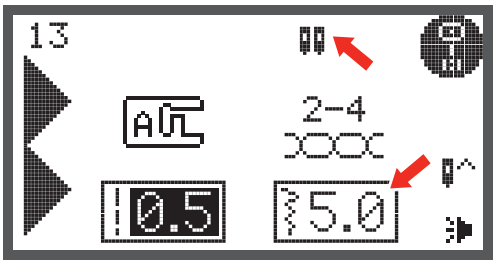
ご注意ください。

二本針には同じ太さの糸を使用してください。糸の色は別々でもかまいません。

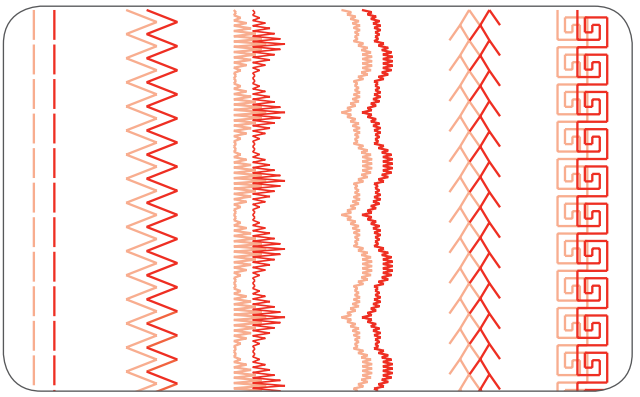
- ステッチパターンを選択します。(例:グループAの13番)
- ダイレクトグループの0番、グループAの86～99番以外のすべてのステッチパターンを二本針を使用して縫うことができます。-99.

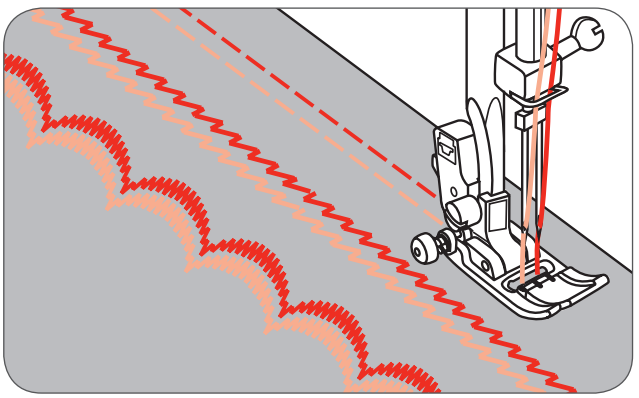


- 二本針ボタンを押します。
  - 画面に二本針の表示がされ、ミシンは自動的に振り幅を最大2mmに設定します。



- ミシンは同じステッチを2本平行に縫います。





ご注意ください。

二本張りで縫う場合には、2本のステッチを同じように仕上げるために、ゆっくり縫ってください。

二本針機能を選択すると、その他のステッチパターンを選択した場合でも、機能は継続します。二本針ボタンをもう一度押すと、二本針機能はオフになります。

メモリー機能

メモリー機能を使って、複数のステッチパターンを組み合わせることができます。

- 組み合わせたステッチパターンは、何度も使えるよう、保存することができます。
- ミシンの電源を切っても、メモリーはそのまま残ります。

ご注意ください。

ステッチパターングループから様々なステッチパターンを選択し、組み合わせることができます。

グループAのステッチパターン

グループBのステッチパターン

ブロック体アルファベット（グループC1）

筆記体アルファベット（グループC2）

ダイレクトグループとグループAの86～99番のステッチパターンは、メモリー機能にプログラムすることができません。

このミシンには4つのメモリーがあり、それぞれのメモリーに最大20個のステッチパターンを保存することができます。

メモリー機能のすべてのファイルを以下の機能で編集することができます。送り長さの調節、振り幅の調節、引き伸ばし、反転、オートロック。ただし、二本針を使用する場合を除きます。

メモリー入力モードについて

メモリーボタン

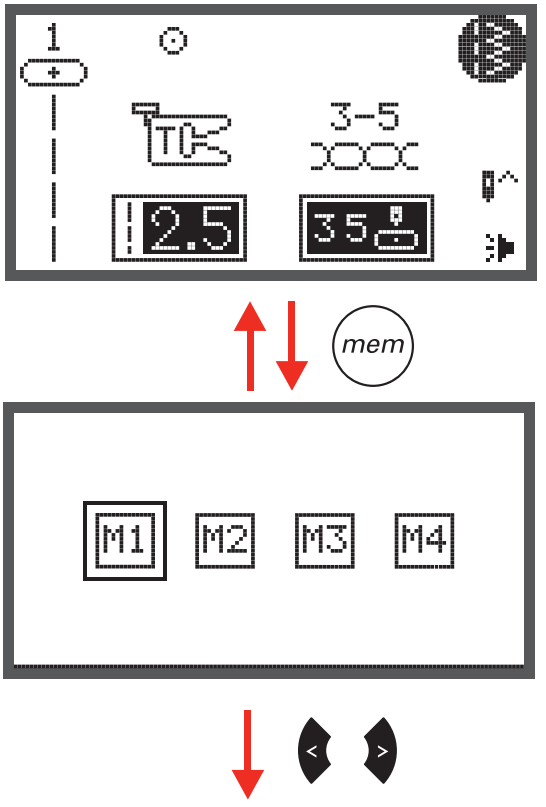
プログラムする

→ 連続してステッチパターンをプログラムする／保存したパターンの組み合わせを縫う

メモリーモードで連続したステッチパターンをプログラムする

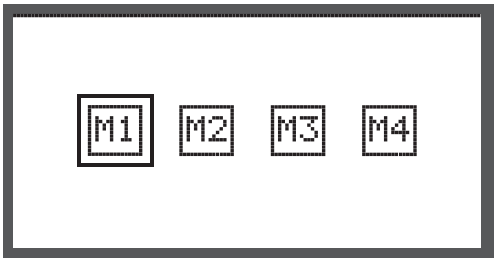
ご注意ください。

条件：メモリーが空（メモリーを消去する→83ページ）

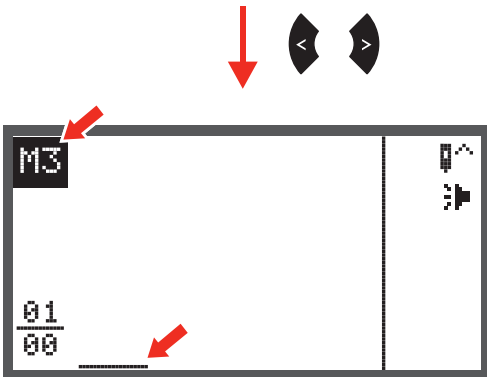


- メモリーボタンを押して、メモリーモードを開きます。
- 矢印キーを押して、保存フォルダーの番号を選択します。
- OKボタンを押して、保存フォルダーを開きます。カーソルが、プログラムする最初のステッチパターンの保存場所を

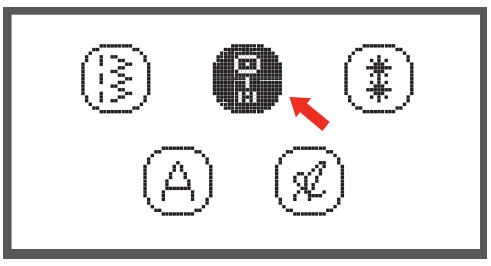
指します。



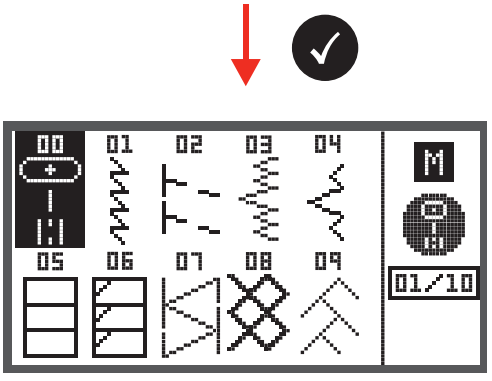
画面の左上に保存フォルダーの番号が表示されます。



- ステッチパターン選択ボタンを押して、ステッチパターン選択画面を開きます。
- パターングループを選択します。(例:グループAのステッチパターン)



- OKボタンを押して、ステッチパターン検索プログラムを開きます 選択したパターングループのステッチパターンが表示されます。



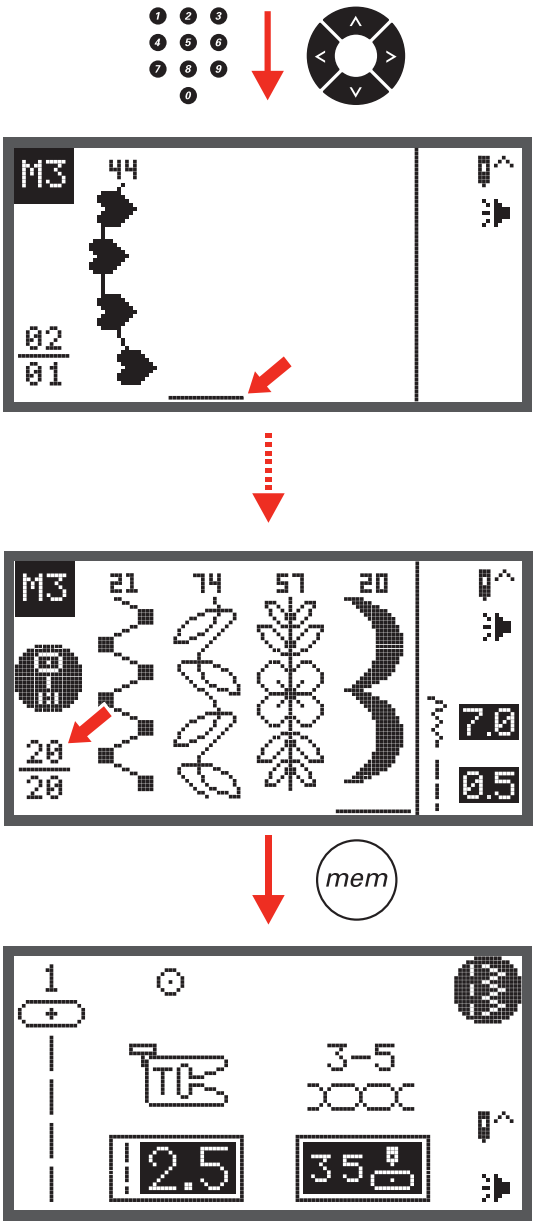
- 使用したいステッチパターン番号を押すか、矢印キーでステッチパターンを選択します。
- 矢印キーでステッチパターンを選択する場合には、OKボタンを押すと、ステッチがプログラムされます。
  - 画面に選択したステッチパターンが表示され、カーソルが次の保存場所に移ります。

- 数字キーでステッチ番号を入力した場合には、そのステッチパターンが自動的にミシンに保存されます。画面に選択したステッチパターンが表示され、カーソルが次の保存場所に移ります。

- 以上の作業を繰り返し、複数のステッチパターンをプログラムします。

選択したステッチパターンが20個になると、保存フォルダーはいっぱいになります。フォルダーがいっぱいの状態で、さらにステッチパターンを選択すると、エラーをお知らせする警告音がなります。

プログラムしたステッチパターンを縫うには、スタート／ストップボタンを押すか、フットコントローラーを踏んでください。



ご注意ください。

ステッチパターンを選択した後に、もう一度メモリーボタンを押さずにミシンの電源を切ってしまうと、選択したステッチパターンは消去されてしまいます。

メモリー確認／編集モードについて

メモリーボタン

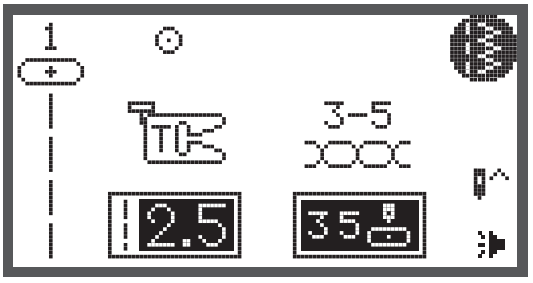
確認／編集モード

- プログラムされたステッチパターンについて 73ページ
- 標準ソーイングモードへの切り替え／プログラムされたステッチパターンを縫う 75ページ
- 編集機能 76～82ページ
  - 連続したステッチパターンを追加する（メモリーモードに切り替える）76ページ
  - プログラムされたステッチパターンやその設定内容を変更する 78ページ
  - ステッチパターンを追加する 79～80ページ
  - プログラムされたステッチパターンを消去する 81ページ
  - 全消去する 82ページ

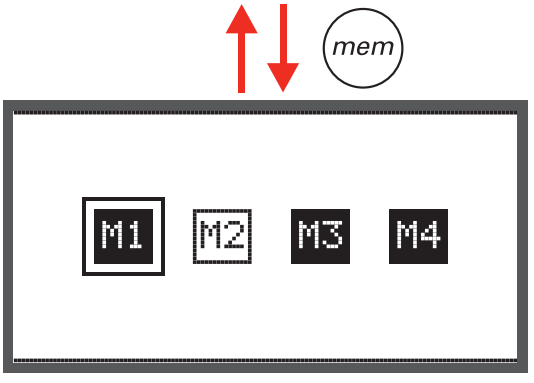
プログラムされたステッチパターンについて

ご注意ください。

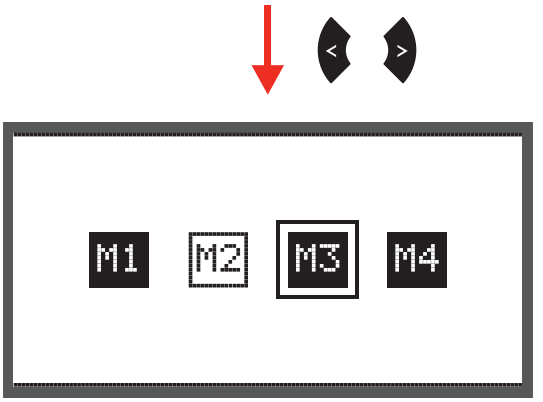
条件：ステッチパターンがメモリーに保存されている



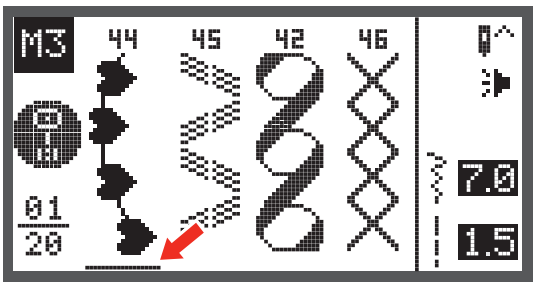
- メモリーボタンを押して、メモリーモードを開きます。



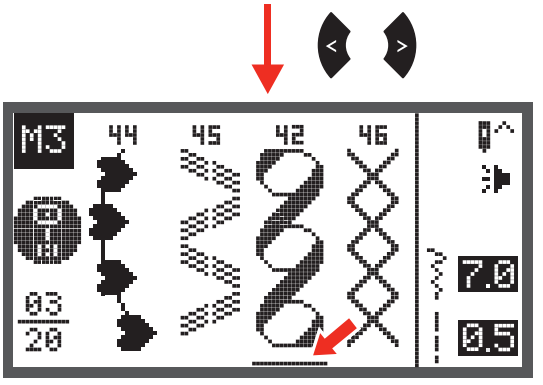
- 矢印キーを押して、使用する保存フォルダを選択します。



- OKボタンを押して、選択した保存フォルダーを開きます。カーソルが最初の保存場所を示します。



- 矢印キーを押して、カーソルの位置を移動させます。



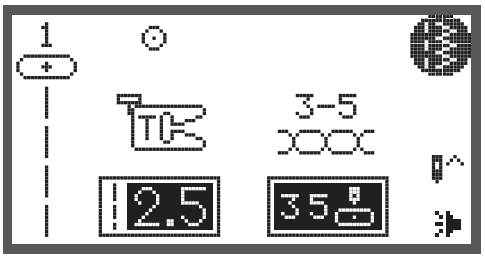
ご注意ください。

スタート／ストップボタンを押すか、フットコントローラーを踏むと、現在選択されている保存場所のステッチパターンから引き続き縫うことができます。

メモリーモードから通常モードへ切り替える

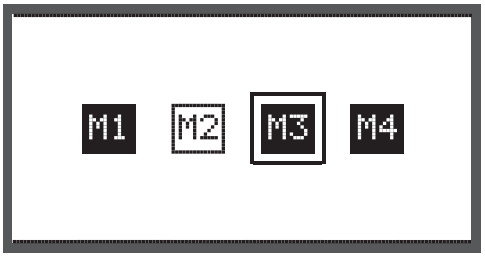
メモリーモードが起動しているときに

- メモリーボタンを押すと、メモリーモードを終了して、通常モードへ戻ります。

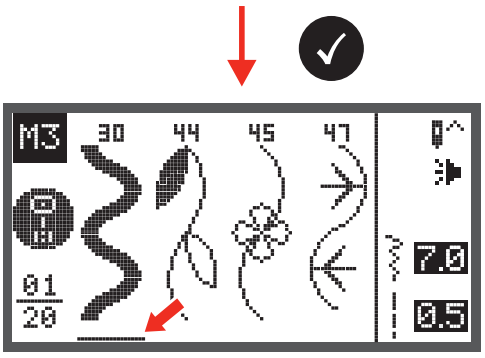


プログラムされたステッチパターンを縫う

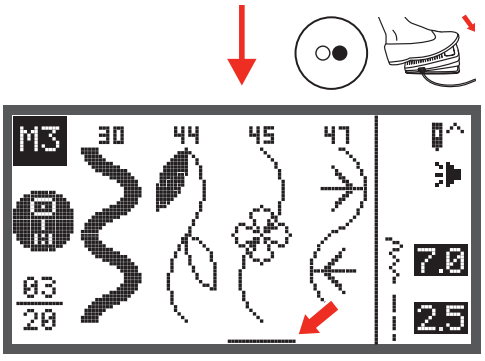
- メモリーボタンを押して、メモリーモードを開きます。
- 矢印キーを押して、使用する保存フォルダを選択します。

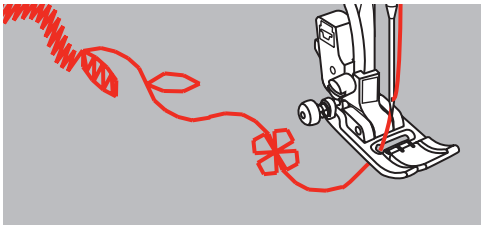


- OKボタンを押して、選択した保存フォルダを開きます。
  - カーソルが最初の保存場所を示します。



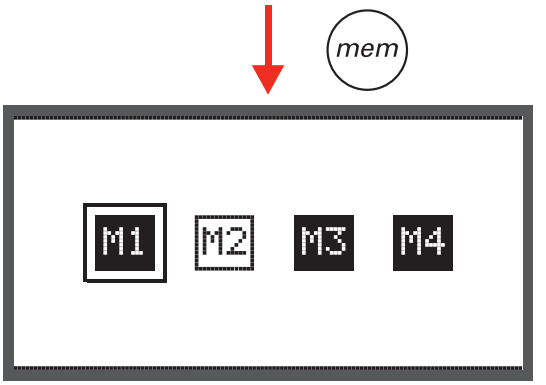
- スタート／ストップボタンを押すか、フットコントローラーを踏んで、プログラムされたステッチパターンを縫います。



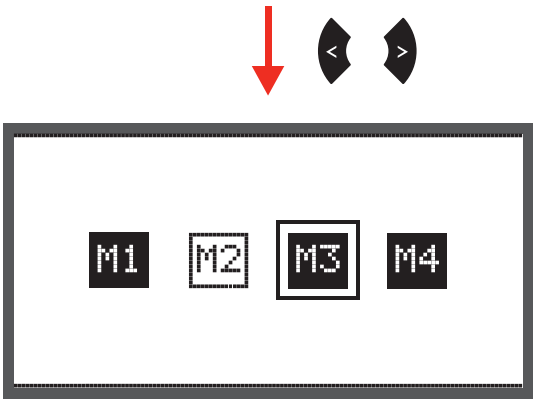


メモリー編集機能－連続したステッチーパターンを追加する

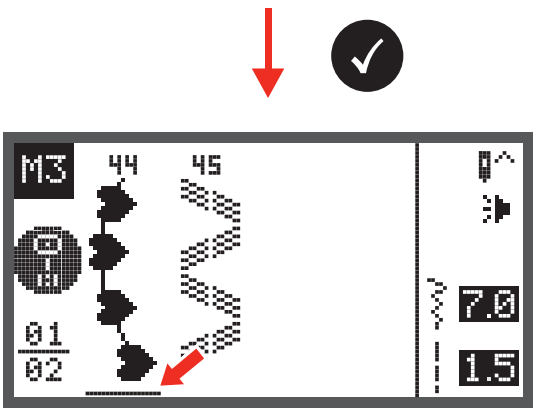
- メモリーボタンを押して、メモリーモードを開きます。



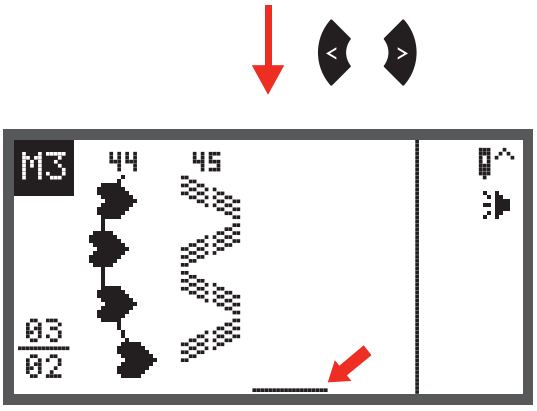
- 矢印キーを押して、保存フォルダ番号を選択します。(例：M3)



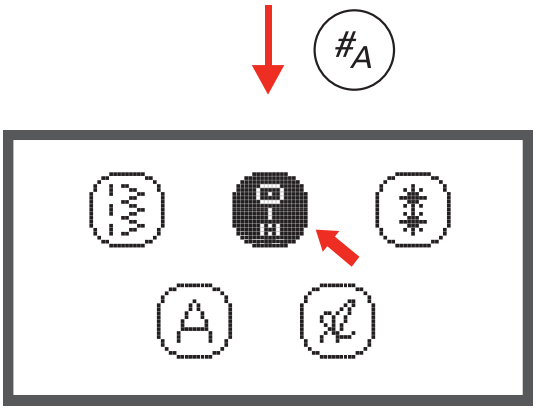
- OKボタンを押して、保存フォルダーを開きます。カーソルが最初の保存場所を示します。



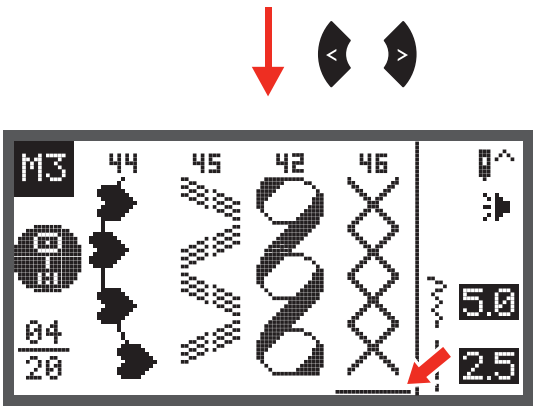
- 矢印キーを押して、カーソルを次に空いている保存場所へ移動します。



- パターングループ選択ボタンを押して、パターングループ選択画面を開きます。



- 73ページを参照して、新しいステッチパターンを追加します。

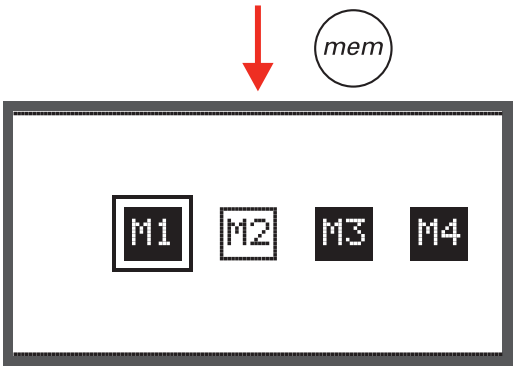


メモリー編集機能−プログラムされたステッチパターンやその設定内容を変更する

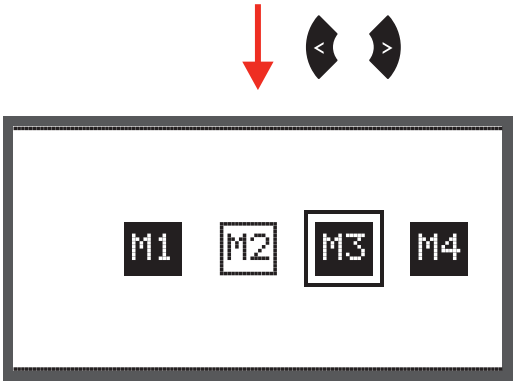
ご注意ください。

条件：ステッチパターンがメモリーに保存されている

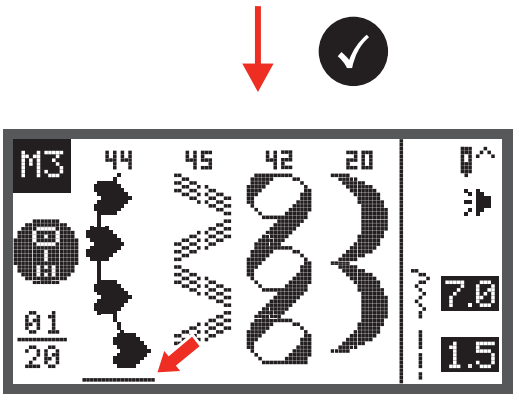
- メモリーボタンを押して、メモリーモードを開きます。



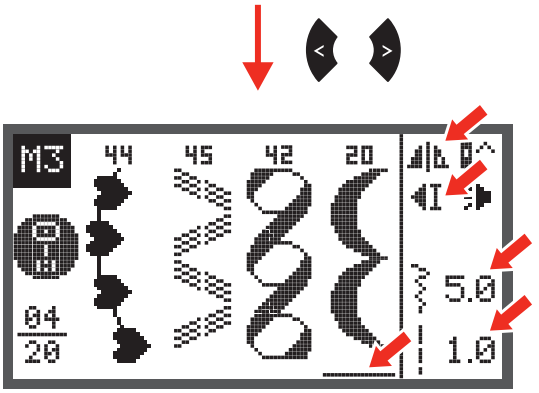
- 矢印キーを押して、使用する保存フォルダを選択します。



- OKボタンを押して、保存フォルダーを開きます。
  – カーソルが最初の保存場所を示します。



- 矢印キーを押して、置き換えたい、または設定内容を変更したいステッチパターンを選択します。
- ステッチパターンを変更するにはクリアーボタン（Clr）を押して、ステッチパターン選択ボタンで新しいステッチを選択してください。
- ステッチパターンの設定内容を変更するには、送り長さ、振り幅、反転、二本針、引き伸ばし等、それぞれのボタンを押してください。

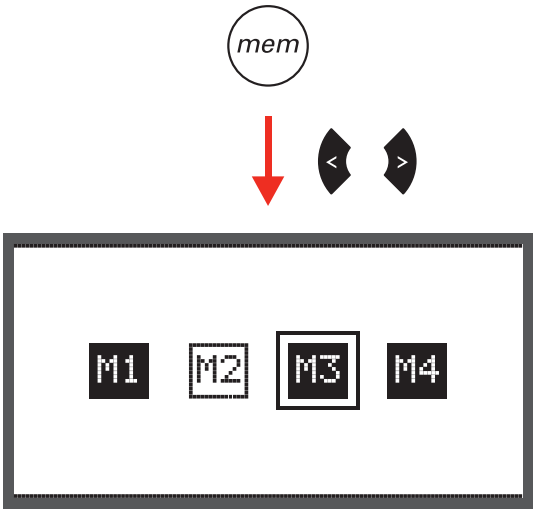


メモリー編集機能– ステッチパターンを追加する

ご注意ください。

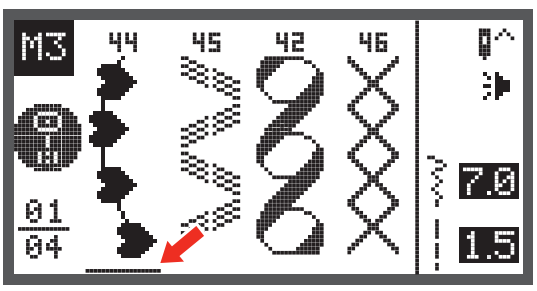
条件：ステッチパターンがメモリーに保存されている

- メモリーボタンを押して、メモリーモードを開きます。

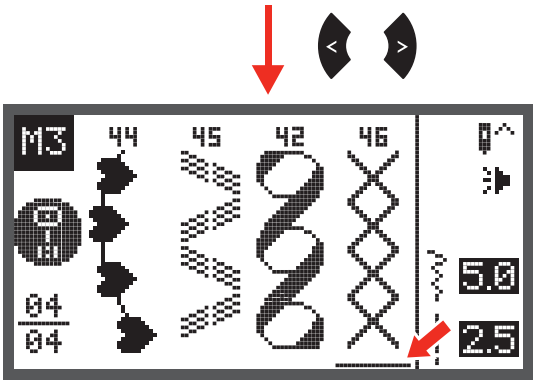


- 矢印キーを押して、使用する保存フォルダを選択します。

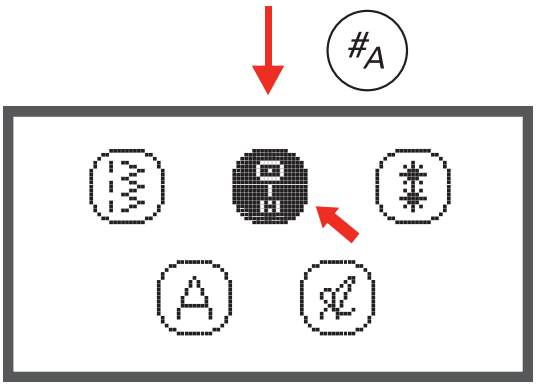
- OKボタンを押して、保存フォルダーを開きます。
  – カーソルが最初の保存場所を示します。



- 矢印キーを押して、新しいステッチパターンを追加したい場所に、カーソルを移動します。

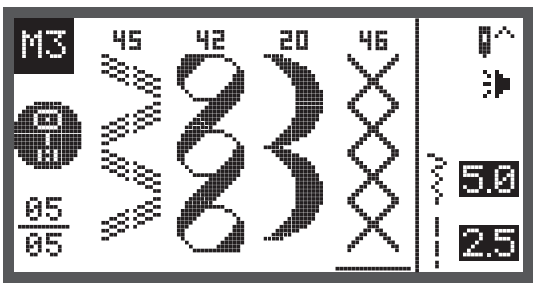


- パターングループ選択ボタンを押して、検索プログラムを開き、新しいステッチパターンを選択します。



ご注意ください。

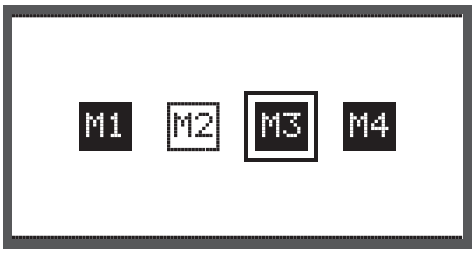
選択されたステッチパターンの送り長さ、振り幅、反転、二本針、引き伸ばしなどの設定内容を、それぞれのボタンを押して、変更することができます。



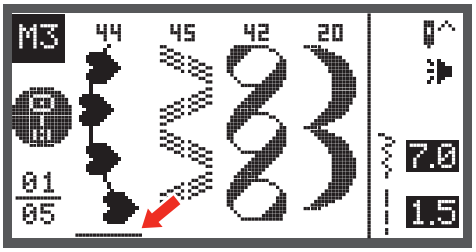
メモリー編集機能－ステッチパターンを消去する

- メモリーボタンを押して、メモリーモードを開きます。

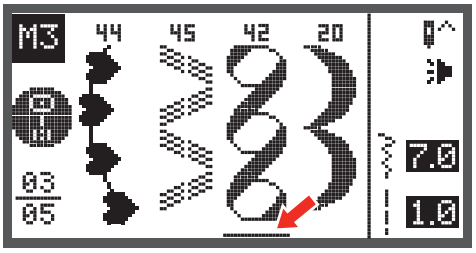
- 矢印キーを押して、使用する保存フォルダを選択します。



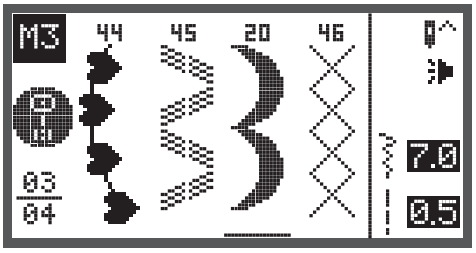
- OKボタンを押して、保存フォルダーを開きます。
  - カーソルが最初の保存場所を示します。



- 矢印キーを押して、消去するステッチパターンを選択します。

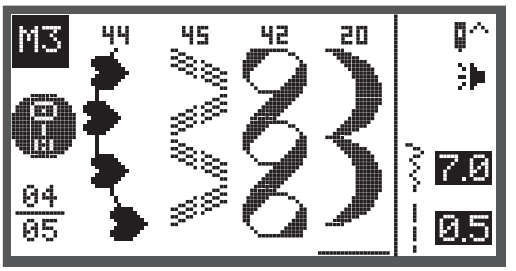


- クリアーボタン（Clr）を押して、ステッチパターンを消去します。消去した後のステッチパターンの保存場所が、ひとつずつ前に移動します。



メモリー編集機能－全消去する

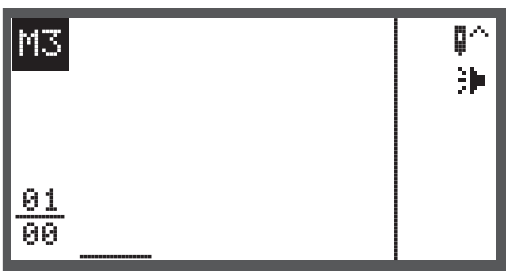
- 《ステッチパターンを消去する》の手順で進みます。



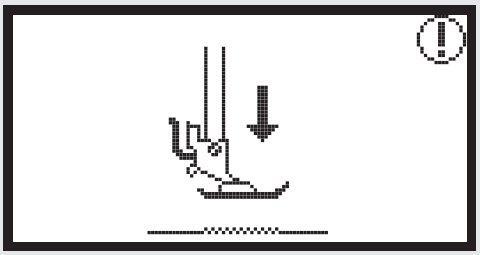
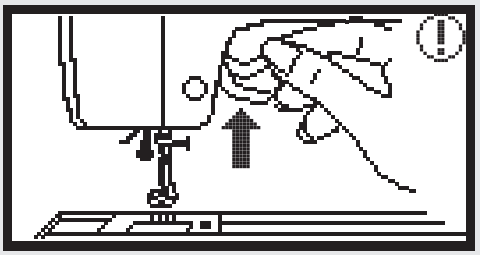
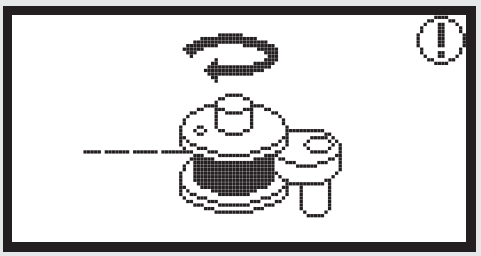
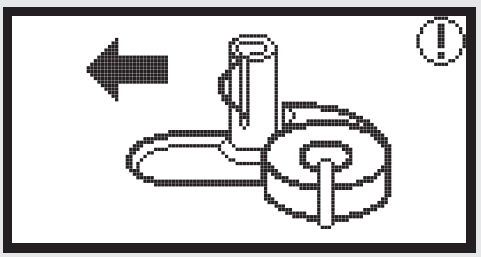
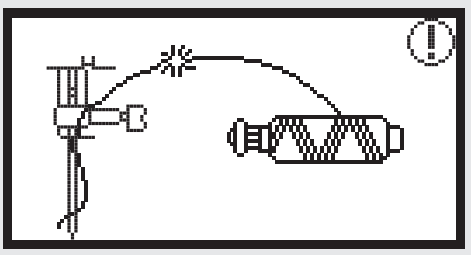
- 全消去の表示が出るまで、クリアーボタンを数秒間押し続けます。

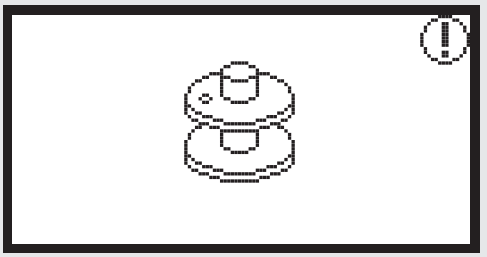
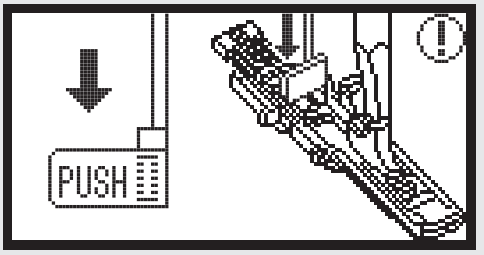
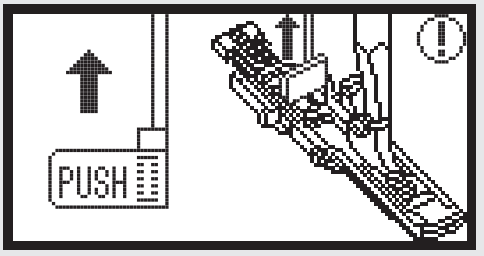
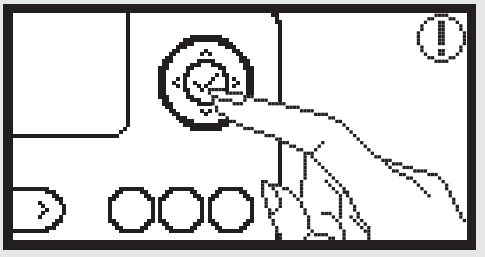
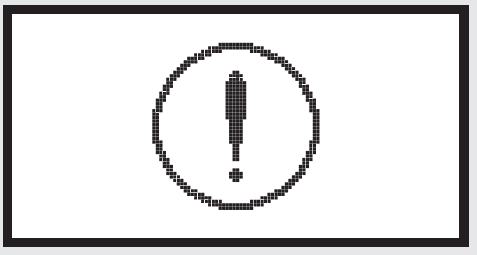
- OKボタンを押すと、ステッチパターンは全て消去され、空になった保存フォルダーへ戻ります。

- 全消去をしない場合には、クリアーボタンを押すと、元のフォルダーに戻ります。



警告機能

警告メッセージ	警告画面
押え金が下がっていません 押え金を上げたままで、スタート／ストップボタンまたは針上／下停止ボタンを押すと、このお知らせが表示されます。	
押え金が上がっていません 刺しゅう機が初期化を始めるときに、刺しゅう押えが下がったままでいると、このお知らせが表示されます。	
ボビン 下糸を巻いているときに、このお知らせが表示されます。	
糸巻き軸を左に押してください 糸巻き軸の位置が右のままのとき、このお知らせが表示されます。	
上糸が切れました 上糸が切れたときに、このお知らせが表示されます。 • 上糸を確認して、もう一度通してください。	

警告メッセージ	警告画面
下糸がなくなりました 下糸がなくなりそうになると、このお知らせが表示されます。	
ボタンホールレバーが下がっていません ボタンホールレバーが上がったまま、ボタンホールステッチまたはつくろい縫いを選択して、スタート／ストップボタンを押したときに、このお知らせが表示されます。	
ボタンホールレバーが上がっていません ボタンホールレバーが下がったまま、ボタンホールステッチまたはつくろい縫い以外のステッチを選択して、スタート／ストップボタンを押したときに、このお知らせが表示されます。	
確認して、OKボタンを押します。	
ミシンに異常が発生しました 糸がよじれたり、引っかかったりしている場合、布地が厚すぎて、はずみ車が回らない場合にこのお知らせが、感嘆符 (!) とともに表示されます。 問題を解決するには88－90ページの“トラブルシューティング一覧”をご覧ください。	

警告音

- 正しい操作をしたとき:
  - ブザーが1回
- メモリーに20個のパターンが保存され、いっぱいになったとき:
  - 短いブザーが3回
- 間違った操作をしたとき:
  - 短いブザーが3回
- ミシンに問題が生じて、縫うことができないとき:
  - 短いブザーが3回

糸がよじれたり、引っかかったりしている場合、布地が厚すぎて、はずみ車が回らない場合に、警告音が鳴ります。問題を解決するには、“故障かなと思ったら”をご覧ください。問題が解決すると、ミシンが再び動きます。

ご注意ください。

問題が解決しない場合は、専門の業者にお尋ねください。

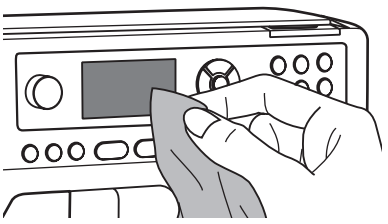
注意!

ソーイング中に、糸が釜に引っかかると、針の動きを阻害します。さらにフットコントローラーを踏み続けると、安全装置が働き、ミシンが完全に停止します。電源を一度切って、もう一度入れ直してください。

ディスプレイを掃除する

注意!

感電によるけがを防ぐため、ディスプレイやミシンの本体を掃除する際には、電源プラグをコンセントから抜いてください。



ミシンの本体が汚れている場合には、乾いた柔らかい布で拭いてください。
シンナー、ベンジンなどの有機溶剤をお手入れに使用しないでください。

ミシンの表面を掃除する

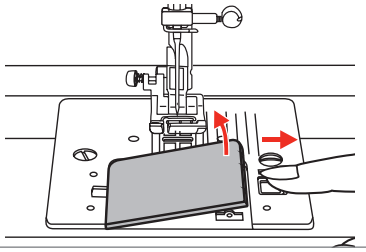
ミシンの表面が汚れている場合には、中性洗剤を軽く含ませ、固く絞ったやわらかい布で拭きとってください。仕上げに乾いた布で拭いてください。

注意!

このミシンには100mwのLED電球を使用しています。電球を交換する際には、専門の業者にお尋ねください。

釜を掃除する

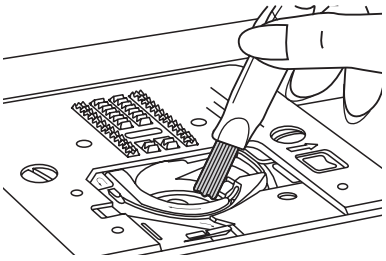
釜に糸くずやほこりがたまっていると、ミシンのスムーズな動きを阻害します。釜や針周りは定期的に確認し、掃除するようにしてください。



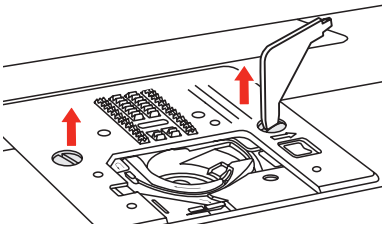
注意!

メンテナンスを行う前に、電源プラグをコンセントから抜いてください。

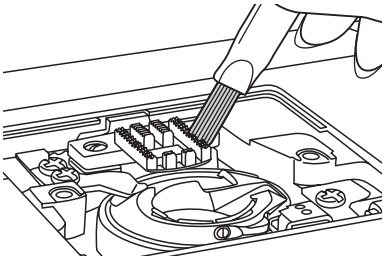
- ボビンホルダーをブラシで掃除します。



- 針、押え金、押え金ホルダーを取り外します。
- 釜カバーを取り外します。
- 針板止めネジを緩め、針板を取り外します。



- 送り歯とボビンケースをブラシで掃除します。乾いた柔らかい布もお使いいただけます。



環境保護について

ベルニナは環境保護に準じることを宣言しています 当社は製品の製造に当たって、製品デザインの改良、技術革新などによって製品が環境に与える影響を最小限にする努力を常に行っております。当製品がご不要になった場合には、家庭用ごみとして廃棄しないようにご注意ください。お住まいの市町村のルールに従って処分していただきますようお願いいたします。詳しくは、お住まいの市町村へお尋ねください。
電化製品を間違った方法で処分すると、有害物質が地下水に入り込むことによって、食物連鎖を崩壊させ、結果的に私たちの健康を阻害することになります。
古くなったミシンを新しく買い換える場合には、専門店が古くなったミシンを無料で引き取り処分する義務があります。

故障かなと思ったら

修理を依頼する前に、以下の項目をチェックしてください。それでも解決しない場合には、お買い上げのお店、またはお近くの取扱店にご連絡ください。

問題点	原因	解決方法	ページ
上糸が切れる	• ミシンの糸かけが間違っている。	– 糸かけを正しくやり直してください。	12
	• 上糸調子が強すぎる。	– 上糸調子を緩めてください。(小さい数値にする)	16
	• 糸が針に対して太すぎる。	– 大きいサイズの針を取り付けてください。	19
	• 針が正しく取り付けられていない。	– 針を取り外し、もう一度付け直してください。(平らな面を後ろにします。)	15
	• 糸が糸立て棒に絡まってしまった。	– 糸こまを取り外して、絡んだ糸を巻き取ってください。	12
	• 針に損傷がある。	– 針を交換してください。	15
下糸が切れる	• ボビンケースが正しくセットされていない。	– ボビンケースを取り出し、もう一度セットし直してから、糸を引っ張ってください。糸がスムーズに引けるか確認してください。	11
	• ボビンケースに糸が正しく通っていない。	– ボビンおよびボビンケースを確認してください。	11
針目がとぶ	• 針が正しく取り付けられていない。	– 針を取り外し、もう一度付け直してください。(平らな面を後ろにします。)	15
	• 針に損傷がある。	– 針を交換してください。	15
	• 針のサイズが間違っている。	– 針と糸のサイズを合わせてください。	19/20
	• 押え金が正しく取り付けられていない。	– 押え金を確認して、正しく取り付けてください。	92-97
	• ミシンの糸かけが間違っている。	– 糸かけを正しくやり直してください。	12
	• 押え圧が弱い。	– 押え圧を調節してください。	17

問題点	原因	解決方法	ページ
針が折れる。	• 針に損傷がある。	– 針を交換してください。	15
	• 針が正しく取り付けられていない。	– 針を取り外し、もう一度付け直してください。(平らな面を後ろにします。)	15
	• 布地に対して針が合っていない。	– 布地に合った針を選んでください。	19/20
	• 目的の違う押え金が取り付けられている。	– 正しい押え金を取り付けてください。	21
	• 針止めネジが緩んでいる。	– ドライバーでネジをきつく締めてください。	15
	• ステッチと押え金が合わない。	– ステッチに合った押え金を選び、取り付けてください。	21
	• 上糸調子が強すぎる。	– 上糸調子を緩めてください。	16
糸締りが悪い	• ミシンの糸かけが間違っている。	– 糸かけを確認してください。	12
	• ボビンケースに糸が正しく通っていない。	– 図のとおりにボビンケースに正しく糸を通してください。	11
	• 針／布地／糸の組み合わせが間違っている。	– 針のサイズが布地と糸に合ったものを使用してください。	19/20
	• 糸調子が間違っている。	– 糸調子を調節してください。	16
縫い目が縮むまたは折り目ができる	• 布地に対して針が太すぎる。	– 細めの針に交換してください。	19/20
	• 送り長さが合っていない。	– 送り長さを調節してください。	29
	• 糸調子が強すぎる。	– 糸調子を緩めてください。	16

問題点	原因	解決方法	ページ
布地にしわがよる	• 上糸調子が強すぎる。	– 上糸調子を緩めてください。	16
	• 上糸が正しくかけられていない。	– 上糸をかけなおしてください。	12
	• 布地に対して針が太すぎる。	– 針のサイズが布地と糸に合ったものを使用してください。	19/20
	• 布地に対して、送り長さが長すぎる。	– 送り長さを調節してください。	29
	• 押え圧が合っていない。	– 押え圧を調節してください。	17
ステッチパターン／刺しゅうモチーフがゆがむ	• 間違った押え金が取り付けられている。	– 用途に合った正しい押え金を使用してください。	92-97
	• 上糸調子が強すぎる。	– 上糸調子を緩めてください。	16
ミシンが止まってしまった	• 糸が釜に絡まっている。	– 上糸とボビンケースを取り外し、はずみ車を手で前後に回し、絡まった糸を取り除いてください。	86-87
	• 送り歯にほこりや糸くずが詰まっている。		
ミシンの音が高い	• 釜や糸棒にほこりや糸くずが絡まっている。	– 説明に従って、釜と送り歯を掃除してください。	86-87
	• 針に損傷がある。	– 針を交換してください。	15
	• モーターからブンブンと音がする。	– 上糸とボビンケースを取り外し、はずみ車を手で前後に回し、絡まった糸を取り除いてください。	86-87
	• 糸が釜に絡まっている。		
	• 送り歯にほこりや糸くずが詰まっている。		
ステッチが均等でない、送りが均等でない	• 糸の品質が悪い。	– 品質のよい糸を使用してください。	19/20
	• ボビンケースに糸が正しく通っていない。	– ボビンケースからボビンをを取り外し、糸をかけ直してください。	11
	• 布地が引っ張られる。	– ミシンが布地を送るので、ソーイング中に布地を引っ張らないようにしてください。	

問題点	原因	解決方法	ページ
ミシンが動かない	• ミシンの電源が入っていない。	– 電源を入れてください。	7
	• ミシンのプラグが接続されていない。	– プラグをコンセントに差し込んでください。	7

Aグループのステッチパターン

ステッチパターン		幅(mm)		長さ (mm)		糸調子	押え金	◎ 返し縫い • 留め縫い	オートロック(L) 自動停止(S)	◎ 模様反転 / T　押え金	二本針 / T　押え金	MEM
		オート	マニュアル	オート	マニュアル							
00		3.5	0.0~7.0 (0.5)	2.5	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	T	◎	L	◎	2.0~5.0 (0.5)	◎
01		2.0	1.0~7.0 (0.5)	2.5	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	◎	3.0~4.0 (0.5)	◎
02		5.0	2.5~7.0 (0.5)	2.5	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
03		3.5	2.5~7.0 (0.5)	1.0	0.5~4.5 (0.5)	3 - 5	F	•	S	◎ / T	2.5~5.0 (0.5) /T	◎
04		3.5	2.5~7.0 (0.5)	1.5	0.5~4.5 (0.5)	3 - 5	F	•	S	◎ / T	2.5~5.0 (0.5) /T	◎
05		5.0	2.5~7.0 (0.5)	2.5	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
06		5.0	2.5~7.0 (0.5)	3.0	2.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
07		5.0	2.5~7.0 (0.5)	2.5	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
08		7.0	2.5~7.0 (0.5)	2.5	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
09		5.0	2.5~7.0 (0.5)	2.5	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
10		5.0	2.5~7.0 (0.5)	2.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
11		7.0	2.5~7.0 (0.5)	1.5	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
12		7.0	2.5~7.0 (0.5)	2.5	1.0~4.5 (0.5)	3 - 5	T	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
13		7.0	2.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
14		7.0	2.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
15		7.0	2.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
16		7.0	2.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
17		7.0	2.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
18		7.0	2.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
19		7.0	2.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
20		7.0	2.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
21		7.0	2.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
22		7.0	2.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
23		7.0	2.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
24		7.0	2.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
25		7.0	2.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
26		7.0	2.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
27		7.0	2.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
28		7.0	2.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
29		7.0	2.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
30		7.0	2.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
31		7.0	2.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
32		7.0	2.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎

ステッチパターン		幅(mm)		長さ (mm)		糸調子	押え金	◎ 返し縫い • 留め縫い	オートロック(L) 自動停止(S)	◎ 模様反転 / T　押え金	二本針 / T　押え金	MEM
33		7.0	2.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
34		7.0	2.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
35		7.0	2.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
36		7.0	2.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
37		7.0	2.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
38		7.0	2.5~7.0 (0.5)	1.5	1.5~3.0 (0.5)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
39		7.0	2.5~7.0 (0.5)	1.5	1.5~2.0 (0.5)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
40		7.0	4.0~7.0 (0.5)	1.5	1.5~3.0 (0.5)	2 - 4	A	•	S	◎	4.0~5.0 (0.5)	◎
41		7.0	2.5~7.0 (0.5)	1.5	1.5~3.0 (0.5)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
42		7.0	2.5~7.0 (0.5)	1.0	1.0~2.0 (0.5)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
43		7.0	2.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
44		7.0	3.5~7.0 (0.5)	1.5	1.0~3.0 (0.5)	2 - 4	A	•	S	◎	3.5~5.0 (0.5)	◎
45		7.0	3.0~7.0 (0.5)	1.5	1.5~3.0 (0.5)	2 - 4	A	•	S	◎	3.0~5.0 (0.5)	◎
46		5.0	2.5~7.0 (0.5)	2.5	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
47		6.0	3.0~7.0 (0.5)	1.0	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	◎	3.0~5.0 (0.5)	◎
48		6.0	2.5~7.0 (0.5)	1.0	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	◎	5.0 (0.5)	◎
49		4.0	3.0~7.0 (0.5)	1.0	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	◎	3.0~5.0 (0.5)	◎
50		4.0	3.0~7.0 (0.5)	1.0	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	◎	3.0~5.0 (0.5)	◎
51		6.0	3.0~7.0 (0.5)	1.0	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	◎	3.0~5.0 (0.5)	◎
52		6.0	5.0~7.0 (0.5)	1.0	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	◎	5.0 (0.5)	◎
53		6.0	3.0~7.0 (0.5)	1.5	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	◎	3.0~5.0 (0.5)	◎
54		6.0	3.0~7.0 (0.5)	1.0	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	◎	3.0~5.0 (0.5)	◎
55		6.0	5.0~7.0 (0.5)	1.0	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	◎	5.0 (0.5)	◎
56		5.0	4.0~7.0 (0.5)	2.5	1.0~4.5 (0.5)	3 - 5	T	•	S	◎	4.0~5.0 (0.5)	◎
57		3.0	2.0~7.0 (0.5)	3.0	3.0~4.5(0.25)	3 - 5	T	•	S	◎	2.0~5.0 (0.5)	◎
58		5.0	2.5~7.0 (0.5)	2.0	1.0~4.5 (0.5)	3 - 5	T	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
59		4.0	2.5~7.0 (0.5)	2.0	1.0~4.5 (0.5)	3 - 5	T	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
60		3.5	2.5~7.0 (0.5)	2.5	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
61		3.5	2.5~7.0 (0.5)	2.5	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
62		3.5	2.5~7.0 (0.5)	2.5	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
63		3.5	2.5~7.0 (0.5)	2.5	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
64		6.0	3.0~7.0 (0.5)	2.0	1.0~4.5 (0.5)	3 - 5	T	•	S	◎	3.0~5.0 (0.5)	◎
65		7.0	3.0~7.0 (0.5)	1.5	1.0~4.5 (0.5)	3 - 5	T	•	S	◎	3.0~5.0 (0.5)	◎
66		6.0	3.0~7.0 (0.5)	2.0	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	◎	3.0~5.0 (0.5)	◎

ステッチパターン		幅(mm)		長さ (mm)		糸調子	押え金	◎ 返し縫い • 留め縫い	オートロック(L) 自動停止(S)	◎ 模様反転 / T　押え金	二本針 / T　押え金	MEM
67		5.0	3.0~7.0 (0.5)	2.0	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	◎	3.0~5.0 (0.5)	◎
68		4.0	2.5~7.0 (0.5)	1.5	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
69		6.0	3.5~7.0 (0.5)	1.5	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	◎	3.5~5.0 (0.5)	◎
70		5.0	3.5~7.0 (0.5)	1.5	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	◎	3.5~5.0 (0.5)	◎
71		7.0	1.0~7.0 (0.5)	2.0	1.0~4.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
72		6.0	3.0~7.0 (0.5)	1.5	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	◎	3.0~5.0 (0.5)	◎
73		6.0	2.5~7.0 (0.5)	1.0	1.0~3.0 (0.5	3 - 5	T	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
74		5.0	2.5~7.0 (0.5)	1.0	1.0~4.5 (0.5)	3 - 5	T	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
75		7.0	2.5~7.0 (0.5)	1.5	1.0~3.0 (0.5	3 - 5	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
76		6.0	2.5~7.0 (0.5)	1.5	1.0~3.0 (0.5	3 - 5	T	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
77		4.5	2.5~7.0 (0.5)	2.0	1.0~3.0 (0.5	3 - 5	T	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
78		7.0	2.5~7.0 (0.5)	2.0	1.0~3.0 (0.5	3 - 5	T	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
79		7.0	2.5~7.0 (0.5)	2.5	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
80		5.0	2.5~7.0 (0.5)	2.0	1.0~3.0 (0.5	3 - 5	T	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
81		6.0	2.5~7.0 (0.5)	3.0	1.0~3.0 (0.5	3 - 5	T	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
82		5.0	2.5~7.0 (0.5)	2.0	1.0~3.0 (0.5	3 - 5	T	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
83		4.0	2.5~7.0 (0.5)	2.0	1.0~3.0 (0.5	3 - 5	T	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
84		5.0	2.5~7.0 (0.5)	2.0	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	◎	2.5~5.0 (0.5)	◎
85		5.0	4.0~7.0 (0.5)	2.5	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	◎	4.0~5.0 (0.5)	◎
86		5.0	2.5~5.5 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	D	—	—	—	—	—
87		7.0	5.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	D	—	—	—	—	—
88		5.0	2.5~5.5 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	D	—	—	—	—	—
89		5.0	2.5~5.5 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	D	—	—	—	—	—
90		7.0	5.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	D	—	—	—	—	—
91		7.0	5.5~7.0 (0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	2 - 4	D	—	—	—	—	—
92		6.0	3.0~7.0 (0.5)	1.0	1.0~2.0 (0.5)	2 - 4	D	—	—	—	—	—
93		6.0	3.0~7.0 (0.5)	1.5	1.0~3.0 (0.5)	2 - 4	D	—	—	—	—	—
94		2.0	1.0~3.0 (0.5)	0.5	0.5~1.0 (0.1)	2 - 4	D	—	—	—	—	—
95		7.0	7.0, 6.0, 5.0	—	—	2 - 4	A	—	—	—	—	—
96		7.0	7.0, 6.0, 5.0	—	—	2 - 4	A	—	—	—	—	—
97		3.5	3.5~4.5 (0.5)	—	—	2 - 4	H	—	—	—	—	—
98		7.0	3.5~7.0 (0.5)	2.0	1.0~2.0 (0.5)	3 - 5	D	—	—	—	—	—
99		7.0	3.5~7.0 (0.5)	2.0	1.0~2.0 (0.5)	3 - 5	D	—	—	—	—	—

ステッチパターン グループB

ステッチパターン		幅(mm)		長さ (mm)		糸調子	押え金	◎ 返し縫い • 留め縫い	オートロック(L) 自動停止(S)	◎ 模様反転 / T 押え金	二本針 / T 押え金	MEM
		オート	マニュアル	オート	マニュアル							
00		7.0	3.0~7.0 (0.5)	3.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	3.0~5.0 (0.5)	◎
01		6.0	4.5~7.0 (0.5)	2.5	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	4.5~5.0 (0.5)	◎
02		7.0	4.0~7.0 (0.5)	2.5	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	4.0~5.0 (0.5)	◎
03		5.0	2.5~7.0 (0.5)	2.5	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	2.5~5.0 (0.5)	◎
04		6.0	2.5~7.0 (0.5)	3.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	2.5~5.0 (0.5)	◎
05		5.0	3.5~7.0 (0.5)	2.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	3.5~5.0 (0.5)	◎
06		7.0	2.5~7.0 (0.5)	2.0	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	2.5~5.0 (0.5)	◎
07		7.0	2.5~7.0 (0.5)	2.5	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	2.5~5.0 (0.5)	◎
08		7.0	2.5~7.0 (0.5)	2.5	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	2.5~5.0 (0.5)	◎
09		5.0	2.5~7.0 (0.5)	2.5	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	2.5~5.0 (0.5)	◎
10		7.0	4.0~7.0(0.5)	1.5	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	4.0~5.0 (0.5)	◎
11		5.0	2.5~7.0 (0.5)	2.5	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	2.5~5.0 (0.5)	◎
12		6.0	3.5~7.0 (0.5)	2.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	3.5~5.0 (0.5)	◎
13		6.0	3.5~7.0 (0.5)	1.5	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	3.5~5.0 (0.5)	◎
14		7.0	3.0~7.0 (0.5)	2.0	2.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	3.0~5.0 (0.5)	◎
15		5.0	2.5~7.0 (0.5)	2.5	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	2.5~5.0 (0.5)	◎
16		6.0	4.0~7.0 (0.5)	2.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	4.0~5.0 (0.5)	◎
17		5.0	4.0~7.0 (0.5)	2.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	4.0~5.0 (0.5)	◎
18		5.0	2.5~7.0 (0.5)	1.5	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	2.5~5.0 (0.5)	◎
19		6.0	3.5~7.0 (0.5)	2.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	3.5~5.0 (0.5)	◎
20		6.0	4.5~7.0 (0.5)	1.5	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	4.5~5.0 (0.5)	◎
21		5.0	3.0~7.0 (0.5)	2.0	2.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	3.0~5.0 (0.5)	◎
22		5.0	4.0~7.0 (0.5)	1.5	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	4.0~5.0 (0.5)	◎
23		7.0	4.0~7.0 (0.5)	3.0	2.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	4.0~5.0 (0.5)	◎
24		7.0	2.5~7.0 (0.5)	2.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	2.5~5.0 (0.5)	◎
25		7.0	5.0~7.0 (0.5)	2.0	1.5~4.5(0.5)	3 - 5	A	•	S	—	5.0 (0.5)	◎
26		7.0	3.5~7.0 (0.5)	3.0	2.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	3.5~5.0 (0.5)	◎
27		7.0	4.0~7.0 (0.5)	2.0	1.0~3.0(0.5)	3 - 5	A	•	S	—	4.0~5.0 (0.5)	◎
28		3.0	1.5~7.0 (0.5)	3.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	2.0~5.0 (0.5)	◎
29		6.0	4.0~7.0 (0.5)	2.5	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	4.0~5.0 (0.5)	◎
30		3.5	0.0~7.0 (0.5)	2.0	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	2.0~5.0 (0.5)	◎
31		5.0	3.5~7.0 (0.5)	2.0	2.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	3.5~5.0 (0.5)	◎

ステッチパターン		幅(mm)		長さ (mm)		糸調子	押え金	○ 返し縫い • 留め縫い	オートロック(L) 自動停止(S)	○ 模様反転 / T 押え金	二本針 / T 押え金	MEM
32		5.0	2.5~7.0 (0.5)	1.5	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	2.5~5.0 (0.5)	○
33		5.0	2.5~7.0 (0.5)	2.0	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	2.5~5.0 (0.5)	○
34		7.0	3.5~7.0 (0.5)	2.0	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	3.5~5.0 (0.5)	○
35		7.0	3.5~7.0 (0.5)	1.0	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	3.5~5.0 (0.5)	○
36		5.0	2.5~7.0 (0.5)	2.0	2.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	2.5~5.0 (0.5)	○
37		5.0	2.5~7.0 (0.5)	2.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	2.5~5.0 (0.5)	○
38		5.0	3.0~7.0 (0.5)	1.5	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	3.0~5.0 (0.5)	○
39		7.0	2.5~7.0 (0.5)	2.0	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	2.5~5.0 (0.5)	○
40		7.0	2.5~7.0 (0.5)	3.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	2.5~5.0 (0.5)	○
41		7.0	2.5~7.0 (0.5)	2.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	2.5~5.0 (0.5)	○
42		7.0	4.0~7.0(0.5)	2.5	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	4.0~5.0 (0.5)	○
43		6.0	4.0~7.0(0.5)	2.0	2.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	4.0~5.0 (0.5)	○
44		7.0	2.5~7.0 (0.5)	2.5	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	2.5~5.0 (0.5)	○
45		7.0	3.5~7.0 (0.5)	2.5	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	3.5~5.0 (0.5)	○
46		7.0	3.5~7.0 (0.5)	2.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	3.5~5.0 (0.5)	○
47		7.0	3.0~7.0 (0.5)	2.5	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	3.0~5.0 (0.5)	○
48		7.0	2.5~7.0 (0.5)	2.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	2.5~5.0 (0.5)	○
49		7.0	3.0~7.0 (0.5)	2.5	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	3.0~5.0 (0.5)	○
50		7.0	3.5~7.0 (0.5)	1.5	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	3.5~5.0 (0.5)	○
51		5.0	3.0~7.0 (0.5)	1.5	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	3.0~5.0 (0.5)	○
52		7.0	3.5~7.0 (0.5)	1.5	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	3.5~5.0 (0.5)	○
53		7.0	5.0~7.0 (0.5)	2.5	2.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	5.0 (0.5)	○
54		7.0	3.0~7.0 (0.5)	2.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	3.0~5.0 (0.5)	○
55		7.0	3.0~7.0 (0.5)	2.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	3.0~5.0 (0.5)	○
56		5.0	3.5~7.0 (0.5)	1.5	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	3.5~5.0 (0.5)	○
57		7.0	4.0~7.0 (0.5)	3.0	2.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	4.0~5.0 (0.5)	○
58		7.0	4.5~7.0 (0.5)	2.0	2.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	4.5~5.0 (0.5)	○
59		7.0	3.5~7.0 (0.5)	1.5	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	3.5~5.0 (0.5)	○
60		7.0	3.0~7.0 (0.5)	2.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	3.0~5.0 (0.5)	○
61		7.0	5.0~7.0 (0.5)	3.0	2.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	5.0 (0.5)	○
62		7.0	4.0~7.0 (0.5)	2.5	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	4.0~5.0 (0.5)	○
63		7.0	4.0~7.0 (0.5)	1.5	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	4.0~5.0 (0.5)	○
64		7.0	4.5~7.0 (0.5)	2.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	4.5~5.0 (0.5)	○
65		7.0	4.0~7.0 (0.5)	2.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	4.0~5.0 (0.5)	○

ステッチパターン		幅(mm)		長さ (mm)		糸調子	押え金	○ 返し縫い • 留め縫い	オートロック(L) 自動停止(S)	○ 模様反転 / T　押え金	二本針 / T　押え金	MEM
66		7.0	3.0~7.0 (0.5)	2.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	3.0~5.0 (0.5)	○
67		7.0	3.0~7.0 (0.5)	3.0	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	3.0~5.0 (0.5)	○
68		7.0	4.0~7.0 (0.5)	2.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	4.0~5.0 (0.5)	○
69		7.0	5.0~7.0 (0.5)	2.5	2.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	5.0 (0.5)	○
70		7.0	3.5~7.0 (0.5)	2.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	3.5~5.0 (0.5)	○
71		6.0	3.0~7.0 (0.5)	3.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	3.0~5.0 (0.5)	○
72		7.0	3.0~7.0 (0.5)	2.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	3.0~5.0 (0.5)	○
73		7.0	2.5~7.0 (0.5)	1.5	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	2.5~5.0 (0.5)	○
74		5.0	3.5~7.0 (0.5)	1.0	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	3.5~5.0 (0.5)	○
75		7.0	4.0~7.0 (0.5)	2.5	2.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	4.0~5.0 (0.5)	○
76		7.0	4.0~7.0 (0.5)	1.5	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	4.0~5.0 (0.5)	○
77		7.0	4.0~7.0 (0.5)	2.0	1.5~2.5 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	4.0~5.0 (0.5)	○
78		7.0	5.0~7.0(0.5)	0.5	0.3~1.0 (0.1)	3 - 5	A	•	S	—	5.0 (0.5)	○
79		6.0	2.5~7.0 (0.5)	1.5	1.0~2.5 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	2.5~5.0 (0.5)	○
80		3.5	1.5~7.0 (0.5)	3.0	2.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	2.0~5.0 (0.5)	○
81		5.0	2.0~7.0 (0.5)	2.5	1.5~2.5 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	2.0~5.0 (0.5)	○
82		7.0	3.0~7.0 (0.5)	2.0	1.0~2.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	3.0~5.0 (0.5)	○
83		7.0	4.0~7.0 (0.5)	1.5	1.5~4.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	4.0~5.0 (0.5)	○
84		5.0	2.5~7.0 (0.5)	2.0	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	2.5~5.0 (0.5)	○
85		5.0	4.0~7.0 (0.5)	2.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	4.0~5.0 (0.5)	○
86		7.0	5.0~7.0 (0.5)	3.0	2.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	5.0 (0.5)	○
87		5.0	2.5~7.0 (0.5)	2.0	1.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	2.5~5.0 (0.5)	○
88		5.0	4.0~7.0 (0.5)	2.5	1.5~2.5 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	4.0~5.0 (0.5)	○
89		5.0	3.5~7.0 (0.5)	3.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	3.5~5.0 (0.5)	○
90		5.0	2.5~7.0 (0.5)	2.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	2.5~5.0 (0.5)	○
91		6.0	5.0~7.0 (0.5)	2.5	2.0~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	5.0 (0.5)	○
92		5.0	2.5~7.0 (0.5)	3.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	A	•	S	—	2.5~5.0 (0.5)	○
93		5.0	2.5~7.0 (0.5)	2.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	2.5~5.0 (0.5)	○
94		5.0	4.5~7.0 (0.5)	2.0	2.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	4.5~5.0 (0.5)	○
95		7.0	5.0~7.0 (0.5)	2.0	2.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	5.0 (0.5)	○
96		7.0	4.5~7.0 (0.5)	3.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	4.5~5.0 (0.5)	○
97		7.0	3.5~7.0 (0.5)	2.5	2.0~2.5 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	3.5~5.0 (0.5)	○
98		6.0	3.5~7.0 (0.5)	2.5	2.0~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	3.5~5.0 (0.5)	○
99		5.0	3.5~7.0 (0.5)	2.0	1.5~3.0 (0.5)	3 - 5	T	•	S	—	3.5~5.0 (0.5)	○

bernette
sublime

JP – 06/2014 – 1. 版権
502020.89.90 / 021H1G0403
© ベルニナインターナショナル株式会社
スイス、シュテックボルン www.bernina.com

更に詳しい情報はホームページをご覧ください。
www.mybernette.com